

政策公約対応事業の 取組状況 (任期1期目)

令和7年7月 24 日(第5回)

八戸市

対応事業の見方

- ・令和7年5月末を基準日として掲載しています。
- ・対応事業の記載内容は以下のとおりです。

<事業名称を記載しています>

事業00: ※熊谷市長就任以降、新規事業の場合は【新規】と記載しています(拡充事業は含まれていません)。

事業内容	<事業の内容を簡潔に記載しています>
担当課	<担当課を記載しています>
取組詳細	<事業内容に掲げた事項を実現するための、具体的な取組を簡潔に記載しています>



各期間の取組実績・成果	1年目	<市長就任(R3.11.17)から令和4年7月末までの実績や得られた成果を記載しています。> <年度ごとの決算額、予算額を記載しています(単位:千円)>
	2年目	<令和4年8月から令和5年7月末までの実績や得られた成果を記載しています。> <年度ごとの決算額、予算額を記載しています(単位:千円)>
	3年目	<令和5年8月から令和6年7月末までの実績や得られた成果を記載しています。> ※8月以降の実施予定(確定しているもの)についても記載しています。 <年度ごとの決算額、予算額を記載しています(単位:千円)>
	4年目	<令和6年8月から令和7年5月末までの実績や得られた成果を記載しています。> ※5月以降の実施予定(確定しているもの)についても記載しています。 <年度ごとの決算額、予算額を記載しています(単位:千円)>

政策 1	迅速かつ適切な新型コロナ対策
------	----------------

重点施策 1-1

医療提供体制の充実・強化に向けて、入院病床や宿泊療養施設の確保に努めると共に、クラスター発生時の保健所機能・PCR 検査体制の強化、迅速なワクチン接種、わかりやすい情報提供に努めるなど、新型コロナ感染症対策に全力を尽くします。

事業 1： 入院病床・宿泊療養施設確保事業

事業内容	保健・医療体制の維持・強化を図るため、新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じ、県や医療機関と連携して、病床及び宿泊療養施設を確保する。
担当課	保健予防課
取組詳細	○県の計画に基づき、病床・宿泊療養施設を確保



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・宿泊施設 県内計 5 施設 660 床 (圏域別数値非公表) ・入院病床数 市内計 4 医療機関 102 床 →圏域病床使用率 43.9% (市内数値非公表) R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・宿泊施設 県内計 2 施設 190 床 (圏域別数値非公表) (R5.5.7 時点) ・入院病床数 市内計 4 医療機関 66 床 (R5.7 月末時点) ※参考値 →圏域病床使用率 30.3% (市内数値非公表 (R5.7 月末時点) ※参考値 ※感染症の位置づけ変更に伴い、令和 5 年 5 月 7 日をもって終了 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業 2： 保健所機能強化事業

事業内容	感染拡大時においても保健所機能を維持するため、新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルを策定するとともに、必要な人材や機材等を確保する。
担当課	保健予防課
取組詳細	○新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和 3 年 12 月 17 日） ○マニュアルの運用及び検証 ○必要に応じた見直し



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	・新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和 3 年 12 月 17 日） ・保健所への本庁職員派遣数 延べ 4,495 人 ・保健所一般事務に従事する会計年度任用職員の採用 3 人（令和 4 年度から） ・派遣社員の活用 1 日あたり 21 人（令和 4 年度から） R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	・保健所への本庁職員派遣数 延べ 5,687 人 ・保健所一般事務に従事する会計年度任用職員の採用 0 人 ・派遣社員の活用 1 日あたり 5 人 R4 年度決算額 67,951 千円 R5 年度予算額 90,843 千円
	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	・令和 4 年 12 月の感染症法の改正に伴い、今般の新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、保健所体制の整備を計画的に進めるため、保健所設置市において、予防計画の策定が義務づけられたことから、令和 6 年 3 月に策定した。 R5 年度決算額 117,155 千円 R6 年度予算額 272 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	・令和 6 年度青森県 IHEAT 研修会への参加（令和 6 年 11 月） 参加者 6 人 ・青森県感染症対策連携協議会全体会議への参加（令和 7 年 1 月） 参加者 1 人 ・感染症法に基づく検査措置協定の締結（令和 7 年 1 月） 件数 1 件 ・市感染症予防計画に基づく保健所職員の研修・訓練の実施（令和 7 年 1 月） 参加者 17 人 R6 年度決算額 9 千円 R7 年度予算額 311 千円

事業 3： PCR 等検査体制強化事業

事業内容	必要な検査需要に的確に対応するため、医療機関等と連携し PCR 等検査体制を強化する。
担当課	保健予防課
取組詳細	○市内医療機関での検査 ○民間検査機関での検査 ○濃厚接触者を対象とした保健所による PCR 検査 ○有症状者を対象とした抗原検査キットの配付（令和 4 年 8 月 3 日から）



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・市内医療機関での検査数 約 53,300 件 ・民間検査機関での検査数 約 20,500 件 ・保健所による PCR 検査数 約 24,000 件 R3 年度決算額 457,354 千円 R4 年度予算額 71,931 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・市内医療機関での検査数 約 93,100 件 ※感染症の位置づけ変更に伴い、令和 5 年 5 月 7 日をもって公費負担終了 ・民間検査機関での検査数 約 14,500 件 ※感染症の位置づけ変更に伴い、令和 5 年 5 月末日をもって終了 ・保健所による PCR 検査数 約 130 件 ※抗原検査キット配付に切り替え、令和 4 年 8 月 2 日をもって終了 ・抗原検査キット配付実績 約 37,200 個 ※感染症の位置づけ変更に伴い、令和 5 年 5 月 7 日をもって終了 R4 年度決算額 620,504 千円 R5 年度予算額 209,574 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業4：新型コロナウイルスワクチン接種事業

事業内容	新型コロナウイルスワクチン接種を希望する方が適切な時期に確実に接種できるよう、接種体制を整備する。
担当課	保健予防課
取組詳細	○初回接種（1・2回目）の実施 ※乳幼児のみ計3回接種 ○追加接種の実施 ・第1期追加接種（3回目）の実施 ・第2期追加接種（4回目）の実施 ・令和4年秋開始接種（3～5回目）の実施 ・令和5年春開始接種（3～6回目）の実施 ・令和5年秋開始接種（3～7回目）の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・第1期追加接種（3回目）の開始（令和3年12月から） ・第2期追加接種（4回目）の開始（令和4年5月から） ・接種率 初回接種 89.35%（12歳以上） 第1期追加接種 74.02%（12歳以上） 第2期追加接種 33.87%（60歳以上） R3年度決算額 2,207,477千円 R4年度予算額 909,562千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・令和4年秋開始接種（3～5回目）の開始（令和4年9月から） ・令和5年春開始接種（3～6回目）の開始（令和5年5月から） ・接種率 初回接種 91.41%（12歳以上） 令和4年秋開始接種 57.95%（12歳以上） 令和5年春開始接種 53.74%（65歳以上） R4年度決算額 2,676,066千円 R5年度予算額 1,634,554千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・令和5年秋開始接種（3～7回目）の開始（令和5年9月から） ・接種率 初回接種 91.61%（12歳以上） 令和5年秋開始接種 54.00%（65歳以上） 令和6年3月をもって特例臨時接種が終了したため、事業完了 R5年度決算額 600,397千円 R6年度予算額 0千円
	4年目 (R7.5月末時点)	R6年度決算額 0千円 R7年度予算額 0千円

事業5：【新規】市民へのフォローアップ推進事業

事業内容	市民が安心して日常生活や経済社会活動を行うため、国・県等で定める対策や対処方針に基づく要請事項等について、速やかに分かりやすい情報発信を行う。
担当課	保健総務課
取組詳細	○国・県の要請事項等に関する速やかな情報発信



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・国・県の対処方針と乖離が生じることは、市民の混乱を招くため、市独自のガイドラインは制定しない方針。 ・国・県で定める対処方針に基づく要請事項等について、速やかに情報発信・注意喚起を実施。 →情報発信実績：市長記者会見(R3.12月～R4.7月(定例会見含)) 18回 そのほか、市公式 SNS や市 HP による情報発信を実施 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う、国・県の対処方針や段階的に移行される医療提供体制等についての情報発信を実施。 ・市民が安心して日常生活・経済社会活動を行うための国・県等からの各種通知や必要な情報について、速やかに分かりやすく情報発信を実施。 →情報発信実績：市長記者会見(R4.8月～定例会見及び対策本部含) 7回 そのほか、市公式 SNS や市 HP による情報発信を実施 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・次なる感染症危機に備えるため策定した、感染症法等に基づく「八戸市感染症予防計画」の公開のほか、市民が感染症予防に必要な注意を払うことができるような情報について、適切に情報発信を実施。 →情報発信実績：市ホームページ及び市公式 SNS 等により計 17 回実施 (R5.8月～R6.7月) R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・次なる感染症危機に備えるため策定した、感染症法等に基づく「八戸市感染症予防計画」の市ホームページでの周知を継続したほか、市民が感染症予防に必要な注意を払うことができるような情報について、適切に情報発信を実施。 →情報発信実績：市ホームページ及び市公式 SNS 等により計 16 回実施 (R6.8月～R7.5月) R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

重点施策 1-2

自宅療養者・宿泊療養者への健康観察等の適切な対応を図るとともに、潜在的保健師・看護師を登録する人材バンクの活用等により保健所の体制整備に努めます。

事業 1： 自宅療養者等対応強化事業

事業内容	全ての自宅療養者等が速やかに健康観察等のフォローアップを受けられる体制を整備し、適切な対応を行う。
担当課	保健予防課
取組詳細	○自宅療養者への支援継続及び保健所業務の負担軽減を図るため、外部委託により食品セットを調達し、希望する方に対し食品セット配付を実施 ○自宅療養が難しい陽性者に対し、状況に応じて宿泊療養の調整を実施



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	・食品セット支援数 約 13,200 セット (1 セット=3 食×5 日分) ・宿泊療養調整 約 960 件 (R3.11~R4.7) R3 年度決算額 44,285 千円 R4 年度予算額 1,400 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	・食品セット支援数 【3 食×5 日分】 約 4,600 セット (R4.8~9) 【3 食×3 日分】 約 1,500 セット (R4.9~R5.5) ・宿泊療養調整 約 340 件 (R4.8~R5.5) ※感染症の位置づけ変更に伴い、令和 5 年 5 月 7 日をもって終了 R4 年度決算額 143,472 千円 R5 年度予算額 12,833 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業 2： 【新規】 潜在保健師・看護師人材バンク活用事業

事業内容	感染拡大時においても迅速かつ的確な対応を行うため、必要に応じて、人材バンクを活用し、健康観察業務等を行う専門職を確保する。
担当課	保健予防課
取組詳細	○人材バンク等の活用 ○専門職の臨時的確保



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	・健康観察、相談業務対応専門職会計年度任用職員 延べ 8 名雇用 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 2,086 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	・健康観察、相談業務対応専門職会計年度任用職員 延べ 9 名雇用 (R4.8～R5.5) ※新型コロナウイルス感染症の位置づけ変更に伴い、令和 5 年 5 月 7 日をもって終了 R4 年度決算額 2,086 千円 R5 年度予算額 2,844 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

重点施策 1-3

必要に応じて、高齢者施設、繁華街の飲食店の一斉検査（スクリーニング検査）を行うほか、医療機関、高齢者施設、保育園等への抗原簡易キットを活用するなど、検査体制の強化を図ります。

事業 1：【新規】クラスター対策事業

事業内容	集団感染を未然に防ぐため、クラスター対策が必要な団体・施設等に対し一斉検査等を実施する。
担当課	保健予防課
取組詳細	○PCR 検査キットの配付 対象施設：飲食店、教育・保育関係施設、高齢者施設、障害者施設等 ○抗原検査キットの配付（令和 4 年 8 月から） 対象施設：高齢者施設、障害者施設、保育関係施設



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月 末時点)	・ PCR 検査キット配付実績 約 20,600 個（令和 4 年 1 月から 3 月実施） R3 年度決算額 140,874 千円 R4 年度予算額 13,663 千円
	2 年目 (R5.7 月 末時点)	・ 抗原検査キット配付実績 約 117,400 個（令和 4 年 8 月から） ※感染症の位置づけ変更後も、重症化リスクの高い高齢者施設、障害者施設については継続 R4 年度決算額 31,912 千円 R5 年度予算額 57,013 千円
	3 年目 (R6.7 月 末時点)	・ 抗原検査キット配付実績 約 1,900 個（令和 5 年 8 月から 3 月実施） ※ハイリスク施設への行政検査取扱終了に伴い、令和 6 年 3 月 31 日をもって終了 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

重点施策 1-4

新型コロナ禍の影響が大きい観光関連事業者等に対して、事業存続に向けた適切な支援を行うほか、観光・飲食等の需要回復支援に取り組みます。

事業 1：【新規】八戸市商業団体等販売促進支援事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、各種団体が実施する市民の消費喚起を促進する事業や販売促進事業などの経済対策事業に要する経費の一部を助成する。
担当課	商工課
取組詳細	○商業団体等が行う販売促進等の経済対策事業への助成 <R4 年度（当初募集・追加募集）> ・補助率：9/10 ・上限額：一般枠 5,000 千円、特別枠 10,000 千円 ・交付予定件数：一般枠 50 件、特別枠 2 件（商工会議所、商工会） <R5 年度（商工団体追加募集）> ・補助率：9/10 ・上限額：商工会議所 20,000 千円、商工会 10,000 千円 ・交付予定件数：2 件（商工会議所、商工会） <R5 年度（一般枠募集）> ・補助率：9/10 ・上限額：5,000 千円 ・交付予定件数：20 件 <R7 年度（商工団体募集）> ・補助率：10/10 ・上限額：商工会議所 30,000 千円、商工会 15,000 千円 ・交付予定件数：2 件（商工会議所、商工会） ○イベント等の情報発信



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点) ○当初募集 ・申請受付（令和 4 年 4 月 28 日～令和 4 年 5 月 31 日） ・交付決定：【一般枠】30 件／126,791 千円 【特別枠】2 件／20,000 千円 計 32 件／146,791 千円 ○追加募集（一般枠のみ） ・申請受付（令和 4 年 7 月 27 日～令和 4 年 10 月 31 日） ・申請件数：1 件 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 268,337 千円
-------------	---

	2 年目 (R5.7 月 末時点)	<R4 年度> ○当初募集 ・申請受付（令和 4 年 4 月 28 日～令和 4 年 5 月 31 日） ・交付実績：【一般枠】 27 件／111,782 千円 【特別枠】 2 件／ 19,409 千円 ○追加募集（一般枠のみ） ・申請受付（令和 4 年 7 月 27 日～令和 4 年 10 月 31 日） ・交付実績：【一般枠】 24 件／104,929 千円 ○当初募集＋追加募集 ・交付実績：【一般枠】 51 件／216,711 千円 【特別枠】 2 件／ 19,409 千円 <u>計 53 件／236,120 千円</u> <R5 年度> ○商工団体追加募集（特別枠のみ） ・交付決定：【特別枠】 2 件／ 27,961 千円 R4 年度決算額 236,120 千円 R5 年度予算額 130,000 千円
	3 年目 (R6.7 月 末時点)	<R5 年度> ○商工団体追加募集（特別枠のみ） ・交付実績：【特別枠】 2 件／ 26,042 千円 ○一般枠募集 ・申請受付（令和 5 年 9 月 26 日～令和 5 年 10 月 13 日） ・交付実績：【一般枠】 23 件／ 98,099 千円 ○商工団体追加募集＋一般枠募集 ・交付実績：【一般枠】 23 件／ 98,099 千円 【特別枠】 2 件／ 26,042 千円 <u>計 25 件／124,141 千円</u> R5 年度決算額 124,141 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	<R7 年度> ○商工団体募集（特別枠のみ） ・交付予定：【特別枠】 2 件／ 45,000 千円 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 45,000 千円

事業2：【新規】八戸市プレミアム食事券事業

事業内容	新型コロナウイルスの影響により売上が低迷している市内飲食店を支援するため、プレミアム食事券を発行する。
担当課	商工課
取組詳細	○プレミアム食事券の発行・販売 食事券概要：500円券×13枚綴り=6,500円 1セット5,000円で販売（1人5セットまで予約可） プレミアム率：30% 発行総数：80,000セット 発行総額：5億2,000万円（6,500円×80,000セット） プレミアム総額：1億2,000万円（1,500円×80,000セット） 購入対象者：制限なし 実施主体：八戸市プレミアム食事券実行委員会 （八戸市、八戸商工会議所、八戸商店街連盟で組織） ○参加店の募集



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○プレミアム食事券の発行・抽選・販売 購入申込期間：R4.6.24(金)～R4.7.15(金) 購入申込方法：特設ウェブサイト又は専用ハガキでの申込み (80,000セットに対し以下のとおり申込みがあり、抽選を実施。) <table><tr><td><申込者数・申込セット数></td><td>30,193名</td><td>123,156セット</td></tr><tr><td><抽選結果></td><td></td><td></td></tr><tr><td>〔当選者〕</td><td>19,591名</td><td>80,000セット</td></tr><tr><td>〔落選者〕</td><td>9,826名</td><td>40,167セット</td></tr><tr><td>〔対象外〕</td><td>776名</td><td>2,989セット</td></tr></table> 購入引換期間：R4.7.29(金)～R4.8.28(日) 販売所：八戸市内のショッピングセンター、スーパーほか計11箇所 販売(引換)率：34.9%(R4.7末時点) 利用期間：R4.7.29(金)～R5.1.23(月) ○参加店の募集 募集期間：R4.6.1(水)～R5.1頃まで 参加店舗数：461店舗(R4.7末時点) R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 180,000千円	<申込者数・申込セット数>	30,193名	123,156セット	<抽選結果>			〔当選者〕	19,591名	80,000セット	〔落選者〕	9,826名	40,167セット	〔対象外〕	776名	2,989セット
	<申込者数・申込セット数>	30,193名	123,156セット														
<抽選結果>																	
〔当選者〕	19,591名	80,000セット															
〔落選者〕	9,826名	40,167セット															
〔対象外〕	776名	2,989セット															
2年目 (R5.7月末時点)	○プレミアム食事券の発行・抽選・販売 購入引換期間：R4.7.29(金)～8.28(日)【追加購入引換期間】R4.9.10(土)～9.20(火) 販売所：八戸市内のショッピングセンター、スーパーほか計11箇所 販売(引換)率：100% 利用期間：R4.7.29(金)～R5.1.23(月) ○参加店の募集 募集期間：R4.6.1(水)～R5.1頃まで随時受付 参加店舗数：477店舗 換金率：99.6%(1,035,952枚、517,976,000円) 2年目(令和5年3月)で一切の事務が完結したため、事業完了 R4年度決算額 173,149千円 R5年度予算額 0千円																

	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業3：【新規】八戸市プレミアム商品券事業

事業内容	コロナ禍や原油価格・物価の高騰により経営環境が悪化する事業者を支援するとともに、家計の負担軽減を図るため、プレミアム商品券を発行する。
担当課	商工課
取組詳細	○プレミアム商品券の発行 商品券概要：1,000円券×15枚綴り=15,000円（うち原油・物価高騰特別加算分2,000円） 1セット10,000円で販売（1人1セットまで購入可） <15枚の内訳> 全店共通券 全参加店舗で利用可能 1,000円券×9枚 地元応援券 市内に本店がある事業者の参加店舗で利用可能 1,000円券×6枚 プレミアム率：50% 発行総数：22万2千セット（住基人口：221,818人_7.31時点） 発行総額：33億3,000万円（15,000円×222,000セット） プレミアム総額：11億1,000万円（5,000円×222,000セット） 購入対象者：R4.7.31に八戸市の住民基本台帳に登録されている方 （10月上旬に八戸市から全世帯の世帯主宛に購入引換券を郵送予定） 実施主体：八戸市プレミアム商品券実行委員会 （八戸市、八戸商工会議所、八戸商店街連盟で組織） ○参加店の募集



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○プレミアム商品券の発行 販売開始：令和4年秋頃 利用開始：令和4年秋頃 ○参加店の募集 募集期間：R4.8.15(月)～R5.1.13(金) R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 1,250,000千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○プレミアム商品券の発行 販売期間：R4.10.14(金)～R4.12.13(火)（61日間） 利用期間：R4.10.14(金)～R5.2.13(月)（123日間） 販売実績：18億8,634万円（購入率85%） （引換券送付済22万1,818人、購入18万8,634人） 引換所：八戸市内のショッピングセンター、郵便局ほか計45箇所 発行総額：28億2,951億円（購入18万8,634人×15,000円分） 引換率：85.0% ○参加店の募集 市内（南郷地区を含む。）で営業する店舗（金融、風俗、公序良俗に反する事業者等、本事業の趣旨に沿わないものを除く。） 商品券の券種：全店共通券（全参加店舗）及び地元応援券（市内に本店（個人事業主は住所）のある事業者の参加店舗及び市内でガソリンスタンドを営業する参加店舗（本店所在地は不問）） 募集期間：R4.8.15(月)～R5.1.13(金) 申込方法：特設ウェブサイト又は書面の郵送若しくはファックスで申込 参加料：無料 精算方法：月2回程度銀行振込にて支払。換金手数料無料。 参加店舗数：1,305店舗 換金状況：28億2,004万2,000円（換金率99.7%） （共通券1,692,173枚（換金率99.7%）、応援券1,127,869枚（換金率99.7%）） 2年目（令和5年3月）で一切の事務が完結したため、事業完了 R4年度決算額 1,045,521千円 R5年度予算額 0千円

	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業4：【新規】八戸市観光おもてなしクーポン事業

事業内容	新型コロナウイルスの感染拡大により、経済的に大きな影響を受けている観光関連事業者を支援するため、当市に宿泊する観光客等を対象にしたクーポンを発行する。
担当課	観光課
取組詳細	○市内の飲食店やお土産店で利用できるクーポンを交付 対象者：本事業の登録宿泊施設に宿泊する観光客・ビジネス客等 クーポン：2,000円（1,000円×2枚）／1名1泊 発行枚数：合計60,000枚（総額60,000,000円）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・事業実施に向けた検討 R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 75,000千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・参加宿泊施設：31施設 ・参加飲食店：251店舗 ・参加お土産店：20店舗 ・クーポン配布枚数：29,961枚 ・クーポン換金額：28,391,000円 2年目（令和5年3月）で一切の事務が完結したため、事業完了 R4年度決算額 40,434千円（事務費12,043千円含） R5年度予算額 0千円
	3年目 (R6.7月末時点)	R5年度決算額 0千円 R6年度予算額 0千円
	4年目 (R7.5月末時点)	R6年度決算額 0千円 R7年度予算額 0千円

事業5：【新規】マチニワイベント支援事業

事業内容	街の賑わい創出と地域経済の活性化を図るため、マチニワで市内の複数事業者が共同で飲食や物販を含むイベントを開催する場合に、会場使用料を減免する。
担当課	八戸ポータルミュージアム
取組詳細	令和4年5月28日支援事業開始（申請受付5月2日開始） ○令和4年度 マチニワ使用料の免除 対象：マチニワを会場とした飲食や物販を含むイベント ○令和5年度～ マチニワ使用料の一部減免 対象：マチニワを会場とした飲食や物販を含むイベント



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	※R4.5月～ ・支援対象イベント申請受付件数 15件 ・イベント実施済件数 7件 ・イベント来場者総数 2,740人 R3 年度決算額 0千円 R4 年度予算額 0千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・支援対象イベント申請受付件数 20件 ・イベント実施済件数 23件 ・イベント来場者総数 10,302人 八戸商工会議所青年部による中心街の活性化、広域地域ブランドの認知度向上を目的とした「三八肉サミット」、八戸近郊の若手農家が主体となり消費者との新しい輪を創り出す「三八ファーマーズマルシェ」などのイベントがマチニワで開催された。 R4 年度決算額 0千円 R5 年度予算額 0千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・支援対象イベント申請受付件数 13件 ・イベント実施済件数 10件 ・イベント来場者総数 4,700人 青森県清酒製造協同組合による青森県産日本酒の需要回復と PR、中心街の活性化を目的とした「あおもりの地酒 SUMER FES in 八戸 2024」、あたたかい郷土料理や地酒で八戸を盛り上げる「はちのヘアツアツ大集合」などのイベントがマチニワで開催された。 R5 年度決算額 0千円 R6 年度予算額 0千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・支援対象イベント申請受付件数 23件 ・イベント実施済件数 19件 ・イベント来場者総数 9,000人 地域の方の健康意識向上を目的とした「美と健康フェスティバル」や「ヘルスケアチェックデー」、歌や踊りなどのステージイベントで中心街のにぎわいを創出する「歌と踊りのわくわくステージ」などのイベントがマチニワで開催された。 R6 年度決算額 0千円 R7 年度予算額 0千円

重点施策 1-5

新型コロナ禍の長期化により懸念される、高齢者フレイル（心身の虚弱）などの健康二次被害の予防と対策に取り組めます。

事業 1： 介護予防センター運営事業

事業内容	高齢者が住み慣れた地域で健康に暮らすため、介護予防センターの各種事業を周知すると共に、高齢者が主体的に介護予防に取り組むことができるよう、各種介護予防事業を行う。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○介護予防センター運営事業の周知 ○介護予防（フレイル予防）事業の実施 ○認知症支援事業の実施 ○家族介護支援事業の実施及び社会資源の情報提供 ○圏域を対象とした利用促進事業の実施（令和 4 年度開始）



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	○介護予防センター運営事業の周知 ・広報はちのへ、新聞及び雑誌の掲載 5 回、BeFM 放送 6 回、出前講座 1 回 ・市内各所へチラシの設置（イトーヨーカドー八戸沼館店、福祉公民館、総合福祉会館） ・フレイル予防チラシ（介護予防センター休館中、週刊）「コロナに負けるな」全 16 種類作成、配布 ○介護予防（フレイル予防）事業の実施 ・体力測定 4 人、もの忘れチェック 11 人、栄養相談 2 人、介護予防相談 80 人、介護予防教室 63 人、回想法延べ 60 人、体操会延べ 1,291 人、集いの場延べ 910 人 ○認知症支援事業の実施 ・本人のつどい延べ 3 人、認知症の人を抱える家族のつどい 27 人、認知症カフェ 11 人 ○家族介護支援事業の実施及び社会資源の情報提供 ・家族介護教室 17 人 R3 年度決算額 17,631 千円 R4 年度予算額 18,891 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	○介護予防センター運営事業の周知 ・広報はちのへ、新聞及び雑誌の掲載 4 回、BeFM 放送 7 回、出前講座 2 回 ・市内各所へチラシの設置のほか、デジタルサイネージを活用した事業の周知 ○介護予防（フレイル予防）事業の実施 ・体力測定 13 人、もの忘れチェック 19 人、栄養相談 4 人、介護予防相談 116 人、介護予防教室 104 人、回想法延べ 91 人、体操会延べ 2,291 人、集いの場延べ 1,964 人 ○認知症支援事業の実施 ・本人のつどい 0 人、認知症の人を抱える家族のつどい 70 人、認知症カフェ 12 人 ○家族介護支援事業の実施及び社会資源の情報提供 ・家族介護教室 21 人、認知症フォーラム（委託）85 人 ○連携中枢都市圏連携事業として運用開始（R4 年 8 月～、連携町村利用者 20 人） R4 年度決算額 15,689 千円 R5 年度予算額 18,060 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	○介護予防センター運営事業の周知 ・広報はちのへ及び新聞の掲載6回、BeFM放送8回、出前講座2回 ・市内各所へチラシの設置のほか、デジタルサイネージを活用した事業の周知 ○介護予防（フレイル予防）事業の実施 ・介護予防相談63人、介護予防教室168人、回想法延べ39人、体操会延べ4,915人、集いの場延べ4,149人 ○認知症支援事業の実施 ・認知症の人を抱える家族のつどい61人、認知症カフェ95人 ○家族介護支援事業の実施及び社会資源の情報提供 ・家族介護教室18人、認知症フォーラム（委託）195人 ○連携中枢都市圏事業利用者77人 R5 年度決算額 16,641 千円 R6 年度予算額 21,357 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	○介護予防センター運営事業の周知 ・広報はちのへ及び新聞の掲載5回、BeFM放送4回、出前講座1回 ・市内各所へチラシの設置のほか、デジタルサイネージを活用した事業の周知 ○介護予防（フレイル予防）事業の実施 ・介護予防相談45人、介護予防教室169人、回想法延べ19人、体操会延べ5,805人、集いの場延べ4,617人 ○認知症支援事業の実施（令和6年8月～令和7年4月迄） ・認知症の人を抱える家族のつどい68人、認知症カフェ65人 ○家族介護支援事業の実施及び社会資源の情報提供 ・家族介護教室41人、認知症フォーラム（委託）185人 ○連携中枢都市圏事業利用者46人 R6 年度決算額 20,741 千円 R7 年度予算額 20,686 千円

事業 2： 【新規】 高齢者等バス特別乗車証無償化事業

事業内容	フレイル予防や外出支援対策のため、高齢者バス特別乗車証及び障がい者バス特別乗車証を無料で交付する。
担当課	高齢福祉課、障がい福祉課
取組詳細	○1 年間利用できる高齢者等バス特別乗車証を利用希望者に対し、令和 5 年度に限り無料で交付する。 対象者・70 歳以上の高齢者(身体障害者手帳 1～4 級・愛護手帳及び精神障害者保健福祉手帳の所持者を除く) ・身体障害者手帳 1～4 級の所持者と、愛護手帳及び精神障害者保健福祉手帳を所持している 6 歳以上の者



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	○無償化事業周知 ・広報はちのへ、BeFM 放送、対象者への勧奨通知 ○4 月～7 月交付者数 8,488 人 ※受付期間は令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月まで R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	○無償化事業周知 ・広報はちのへ、BeFM 放送、対象者への勧奨通知 ○令和 5 年 8 月～令和 6 年 3 月交付者数 14,152 人 ※受付期間は令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月まで 令和 5 年度のみの実施事業のため、事業完了 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	R6 年度決算額 千円 R7 年度予算額 千円

重点施策 1-6

感染症との共存（ウイズコロナ）時代において、市民が安心して日常生活や経済・文化・スポーツ・教育等の活動を行えるよう、市独自のガイドラインを制定し、フォロー体制を構築します。

事業 1：【新規】フォローアップ推進事業（再掲）

事業内容	市民が安心して日常生活や経済社会活動を行うため、国・県等で定める対策や対処方針に基づく要請事項等について、速やかに分かりやすい情報発信を行う。
担当課	保健総務課
取組詳細	○国・県の要請事項等に関する速やかな情報発信



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	・国・県の対処方針と乖離が生じることは、市民の混乱を招くため、市独自のガイドラインは制定しない方針。 ・国・県で定める対処方針に基づく要請事項等について、速やかに情報発信・注意喚起を実施。 →情報発信実績：市長記者会見(R3.12月～R4.7月(定例会見含)) 18回 そのほか、市公式 SNS や市 HP による情報発信を実施 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う、国・県の対処方針や段階的に移行される医療提供体制等についての情報発信を実施。 ・市民が安心して日常生活・経済社会活動を行うための国・県等からの各種通知や必要な情報について、速やかに分かりやすく情報発信を実施。 →情報発信実績：市長記者会見(R4.8月～定例会見及び対策本部含) 7回 そのほか、市公式 SNS や市 HP による情報発信を実施 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	・次なる感染症危機に備えるため策定した、感染症法等に基づく「八戸市感染症予防計画」の公開のほか、市民が感染症予防に必要な注意を払うことができるような情報について、適切に情報発信を実施。 →情報発信実績：市ホームページ及び市公式 SNS 等により計 17 回実施 (R5.8月～R6.7月) R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	・次なる感染症危機に備えるため策定した、感染症法等に基づく「八戸市感染症予防計画」の市ホームページでの周知を継続したほか、市民が感染症予防に必要な注意を払うことができるような情報について、適切に情報発信を実施。 →情報発信実績：市ホームページ及び市公式 SNS 等により計 16 回実施 (R6.8月～R7.5月) R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

重点施策 1-7

新型コロナへの対応について様々な角度から検証し、新たな「感染危機管理マニュアル」を策定します。

事業 1：【新規】保健所機能強化事業（再掲）

事業内容	感染拡大時においても保健所機能を維持するため、新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルを策定するとともに、必要な人材や機材等を確保する。
担当課	保健予防課
取組詳細	○新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和 3 年 12 月 17 日） ○マニュアルの運用及び検証 ○必要に応じた見直し



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	・新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和 3 年 12 月 17 日） ・保健所への本庁職員派遣数 延べ 4,495 人 ・保健所一般事務に従事する会計年度任用職員の採用 3 人（令和 4 年度から） ・派遣社員の活用 1 日あたり 21 人（令和 4 年度から） R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	・保健所への本庁職員派遣数 延べ 5,687 人 ・保健所一般事務に従事する会計年度任用職員の採用 0 人 ・派遣社員の活用 1 日あたり 5 人 R4 年度決算額 67,951 千円 R5 年度予算額 90,843 千円
	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	・令和 4 年 12 月の感染症法の改正に伴い、今般の新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、保健所体制の整備を計画的に進めるため、保健所設置市において、予防計画の策定が義務づけられたことから、令和 6 年 3 月に策定した。 R5 年度決算額 117,155 千円 R6 年度予算額 272 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	・令和 6 年度青森県 IHEAT 研修会への参加（令和 6 年 11 月） 参加者 6 人 ・青森県感染症対策連携協議会全体会議への参加（令和 7 年 1 月） 参加者 1 人 ・感染症法に基づく検査措置協定の締結（令和 7 年 1 月） 件数 1 件 ・市感染症予防計画に基づく保健所職員の研修・訓練の実施（令和 7 年 1 月） 参加者 17 人 R6 年度決算額 9 千円 R7 年度予算額 311 千円

政策 2	八戸圏域の特性を活かした経済活性化
------	-------------------

重点施策 2-1

ウィズコロナ・アフターコロナ時代に向けた「八戸市経済再生ビジョン」を策定し、地域経済の再生・回復を図ります。

事業 1： 【新規】八戸市経済再生ビジョン策定事業

事業内容	地域経済の再生・回復を図るため、八戸市経済再生ビジョンを新たに策定し、経済再生に向けた道筋を示す。
担当課	商工課
取組詳細	○ビジョンの策定 ○ビジョンの周知 ○ビジョンに掲げた取組の推進



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	・骨子案の作成 ・アンケート業務委託契約締結（令和 4 年 7 月 7 日契約締結） ・ビジョン策定に向けたアンケート内容全 29 問、送付先 2,000 社の確定 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 6,086 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	・ビジョン策定に向けた有識者懇談会を開催（令和 4 年 9 月、10 月の計 2 回） ・アンケートの集計及び集計結果の公表（令和 4 年 10 月） ・パブリックコメントの実施（令和 5 年 1 月～2 月） ・ビジョンの完成（令和 5 年 3 月） 【参考：ビジョン策定後の取組状況】 ・ビジョンを実現するための全 49 事業を推進（令和 5 年 4 月～） [ビジョンを実現するための事業（主なもの）] ①地域企業支援体制強化事業 ②はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業（拡充） ③ポートセールス事業 ④地元企業ファンづくりプロジェクト事業 ⑤高校生による地元企業魅力発見体験事業（R5 新規） ⑥中小企業特別保証制度保証料補助事業 ⑦青森県伴走支援型借換資金融資制度保証料補給事業（R5 新規） ⑧新商品特定随意契約制度事業者認定事業 ⑨中小企業相談所支援事業 ⑩中小企業・小規模企業振興基本条例推進事業 R4 年度決算額 2,501 千円 R5 年度予算額 0 千円

	3 年目 (R6.7月 末時点)	・八戸市中小企業・小規模企業振興会議を開催し、ビジョンに基づき、各種施策の進捗状況等を議論（令和5年7月、8月、9月の計3回） ・上記会議を踏まえ、市に対して中小企業・小規模企業振興施策に対する意見書を提出（令和5年10月） 【ビジョン策定後の取組状況】 ・ビジョンを実現するための全66事業を推進（令和6年4月～） [ビジョンを実現するための事業（主なもの）] ①地域企業課題解決支援事業 ②はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業 ③ポートセールス事業 ④地元企業ファンづくりプロジェクト事業 ⑤高校生による地元企業魅力発見体験事業 ⑥中小企業特別保証制度保証料補助事業 ⑦新商品特定随意契約制度事業者認定事業 ⑧中小企業相談所支援事業 ⑨中小企業・小規模企業振興基本条例推進事業 ⑩計画経営導入促進事業（R6新規） R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	・八戸市中小企業・小規模企業振興会議を開催し、ビジョンに基づき、各種施策の進捗状況等を議論（令和6年4月、8月、9月の計3回） ・上記会議を踏まえ、市に対して中小企業・小規模企業振興施策に対する意見書を提出（令和6年10月） R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

重点施策 2-2

水産業の未来を考える「(仮称)八戸水産アカデミー」を設置します。また、養殖事業等の「つくり育てる漁業」の推進に向けた研究会を立ち上げ、多様な水産資源の確保に努めます。

事業 1: 【新規】水産業振興事業（八戸水産アカデミー運営事業）

事業内容	水産業の発展を図るため、当市水産業の未来を考える八戸水産アカデミーを新たに設置するとともに、養殖の可能性を調査研究する研究会を新たに設置する。
担当課	水産事務所
取組詳細	○八戸水産アカデミーにおける当市水産業の再興に向けた協議・検討 ○八戸水産アカデミー「つくり育てる漁業専門部会」における養殖業についての調査・研究



各期間の取組実績・成果

1 年目 (R4. 7 月 末時点)	R4.5.11 八戸水産アカデミー設置 R4.5.24 第 1 回八戸水産アカデミー開催 テーマ「体験的八戸水産業史」参加者約 70 人 R4.6.23 養殖事業先進地視察実施 ・鳥取県境港市：弓ヶ浜水産株式会社 R3 年度決算額 59 千円 R4 年度予算額 1,168 千円																																										
2 年目 (R5. 7 月 末時点)	○八戸水産アカデミー関係 ・講演会 <table><tr><td></td><td>開催日</td><td>テーマ</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>第 2 回</td><td>R4.8.22</td><td>養殖業の成長産業化について</td><td>約 70 人</td></tr><tr><td>第 3 回</td><td>R4.11.28</td><td>新たな資源管理について ーTAC管理を中心にー</td><td>約 60 人</td></tr><tr><td>第 4 回</td><td>R5.2.14</td><td>水産バリューチェーン構築に向けて</td><td>約 70 人</td></tr></table> ○つくり育てる漁業専門部会関係（R5. 3. 20 設置） ・養殖事業先進地視察 <table><tr><td>実施日</td><td>場所</td><td>内容（魚種等）</td></tr><tr><td rowspan="3">R4.8.2～3</td><td>福井県小浜市：福井水産振興センター</td><td>「鯖、復活」養殖効率化プロジェクト</td></tr><tr><td>福井県高浜町：高浜町役場</td><td>トラフグ海面養殖</td></tr><tr><td>鳥取県岩美町：岩美町陸上養殖センター</td><td>お嬢サバ</td></tr><tr><td>R5.6.1</td><td>今別町：日本サーモンファーム株式会社</td><td>青森サーモン 専門部会員 7 人参加</td></tr><tr><td rowspan="3">R5.6.5～6</td><td>岩手県大船渡市：元正栄北日本水産株式会社</td><td>三陸翡翠あわび</td></tr><tr><td>岩手県大槌町：弓ヶ浜水産株式会社</td><td>岩手大槌サーモン</td></tr><tr><td>岩手県普代村：普代村役場</td><td>ブルーカーボン事業</td></tr><tr><td>R5.6.26</td><td>新郷村：株式会社虹鱒屋</td><td>青い森紅サーモン</td></tr><tr><td>R5.7.6</td><td>むつ市大畑：北彩漁業生産組合</td><td>海峡サーモン</td></tr></table> R4 年度決算額 241 千円 R5 年度予算額 2,151 千円		開催日	テーマ	参加者数	第 2 回	R4.8.22	養殖業の成長産業化について	約 70 人	第 3 回	R4.11.28	新たな資源管理について ーTAC管理を中心にー	約 60 人	第 4 回	R5.2.14	水産バリューチェーン構築に向けて	約 70 人	実施日	場所	内容（魚種等）	R4.8.2～3	福井県小浜市：福井水産振興センター	「鯖、復活」養殖効率化プロジェクト	福井県高浜町：高浜町役場	トラフグ海面養殖	鳥取県岩美町：岩美町陸上養殖センター	お嬢サバ	R5.6.1	今別町：日本サーモンファーム株式会社	青森サーモン 専門部会員 7 人参加	R5.6.5～6	岩手県大船渡市：元正栄北日本水産株式会社	三陸翡翠あわび	岩手県大槌町：弓ヶ浜水産株式会社	岩手大槌サーモン	岩手県普代村：普代村役場	ブルーカーボン事業	R5.6.26	新郷村：株式会社虹鱒屋	青い森紅サーモン	R5.7.6	むつ市大畑：北彩漁業生産組合	海峡サーモン
	開催日	テーマ	参加者数																																								
第 2 回	R4.8.22	養殖業の成長産業化について	約 70 人																																								
第 3 回	R4.11.28	新たな資源管理について ーTAC管理を中心にー	約 60 人																																								
第 4 回	R5.2.14	水産バリューチェーン構築に向けて	約 70 人																																								
実施日	場所	内容（魚種等）																																									
R4.8.2～3	福井県小浜市：福井水産振興センター	「鯖、復活」養殖効率化プロジェクト																																									
	福井県高浜町：高浜町役場	トラフグ海面養殖																																									
	鳥取県岩美町：岩美町陸上養殖センター	お嬢サバ																																									
R5.6.1	今別町：日本サーモンファーム株式会社	青森サーモン 専門部会員 7 人参加																																									
R5.6.5～6	岩手県大船渡市：元正栄北日本水産株式会社	三陸翡翠あわび																																									
	岩手県大槌町：弓ヶ浜水産株式会社	岩手大槌サーモン																																									
	岩手県普代村：普代村役場	ブルーカーボン事業																																									
R5.6.26	新郷村：株式会社虹鱒屋	青い森紅サーモン																																									
R5.7.6	むつ市大畑：北彩漁業生産組合	海峡サーモン																																									

3年目 (R6.7月 末時点)	○八戸水産アカデミー関係		
	(1) 講演会		
		開催日	テーマ
	R5 年度第 1 回	R5.8.9	水産業活性化
	R5 年度第 2 回	R5.11.28	消費者ニーズ
	R5 年度第 3 回	R5.12.19	担い手確保（水産高校対象）
	R5 年度第 4 回	R6.2.19	海面養殖座談会
	(2) 若手水産関係者ジョイントミーティング関係（R6 年度新規事業）		
	若手水産関係者（漁業者、仲買人等）による異業種間、同業内での連携を促進し、水産業界全体の活性化に向けた足がかりにすることを目的に開催。		
		開催日	内容
	R6 年度第 1 回	R6.7.2	・他地域の取組事例 ・意見交換
	○つくり育てる漁業専門部会関係		
	(1) 講演会		
		開催日	テーマ
	R5 年度第 1 回	R5.11.9	サバ養殖
	R5 年度第 2 回	R6.1.23	カキ養殖、アワビ養殖
	(2) 養殖事業先進地視察		
	実施日	場所	内容（魚種等）
	R5.8.23～25	東京都：東京ビッグサイト（シーフードショー）	養殖勉強会
		東京都調布市：NTT e-City Labo	陸上養殖プラント
	R5.10.23～25	長崎県長崎市：株式会社水産未来研究所	陸上養殖（クエ）
		佐賀県唐津市：マルハニチロ AQUA 玄海事業所	海面養殖（ブリ等）
		佐賀県唐津市：水産業活性化支援センター	唐津 Q サバ
		長崎県東彼杵町：株式会社 NOMURA CLOUD NINE FARM 事業所	陸上養殖（サーモン）
	R6.5.9	鳥取県米子市：トットクライン株式会社	陸上養殖（サバ、ヒラメ、サーモン）
	R6.7.4	岩手県洋野町：株式会社北三陸ファクトリー	海面蓄養（ウニ）
	R5 年度決算額 1,692 千円		
	R6 年度予算額 28,839 千円		
	(内訳：当初 3,839 千円 補正 25,000 千円)		

4 年目
(R7.5 月
末時点)

○八戸水産アカデミー関係

(1) 講演会

	開催日	テーマ	参加者数
R6 年度第 1 回	R6.9.30	水産業活性化	54 人
R6 年度第 2 回	R7.1.27	海業（うみぎょう）	48 人

(2) 若手水産関係者ジョイントミーティング関係

若手水産関係者（漁業者、仲買人等）による異業種間、同業内での連携を促進し、水産業界全体の活性化に向けた足がかりにすることを目的に開催。

	開催日	内容	参加者数
R6 年度第 2 回	R6.8.2	ブランディング、付加価値向上	7 人
R6 年度第 3 回	R6.9.25	県事業との連携、R7 年度事業案検討	5 人
R6 年度第 4 回	R6.12.18	R7 年度事業案検討	4 人

○つくり育てる漁業専門部会関係

(1) 講演会

	開催日	テーマ	参加者数
R6 年度第 1 回	R7.1.15	ウニ養殖、水産イノベーション	55 人

(2) 養殖事業先進地視察

実施日	場所	内容（魚種等）
R6.10.27～29	大阪府大阪市：近畿大学水産研究所 グランフロント大阪店	養殖魚専門飲食店
	大阪府藤井寺市：㈱れいわ水産	陸上養殖（ウナギ）
	和歌山県和歌山市：黒潮市場	海鮮マーケット 水産観光
	和歌山県海南市：株式会社ダイニチ 海南シーフードセンター	水産加工 高鮮度出荷
	和歌山県白浜町：とれとれパーク南紀白浜	海鮮マーケット 水産観光
	和歌山県白浜町：近畿大学水産種苗センター アーマリン近大	種苗生産
R7.5.14	鳥取県境港市：三光㈱	陸上養殖（キジハタ、フサイワヅタ）

○魚市場の今後のあり方専門部会関係（R7 年度新規事業）

当市が抱える魚市場についての課題を共有し、将来にわたって魚市場を維持していくための議論の場所として、八戸水産アカデミー内に「魚市場の今後のあり方専門部会」を設置。

	開催日	テーマ
R7 年度第 1 回	R7.4.30	組織会、課題の共有
R7 年度第 2 回	R7.5.23	課題の洗い出しと共有

R6 年度決算額 27,525 千円

R7 年度予算額 5,764 千円

事業2：【新規】養殖業成長産業化支援事業

事業内容	つくり育てる漁業の推進による水産業全体の成長産業化を図るため、事業者が行う養殖の取組に対し、補助金を交付する。
担当課	水産事務所
取組詳細	○八戸水産アカデミー「つくり育てる漁業専門部会」における養殖業についての調査・研究 ○養殖業への事業者の新規参入及び既存養殖事業者の経営の安定化を支援することを目的に補助金を交付



各期間の取組実績・成果

1 年目 (R4.7 月 末時点)	<u>(事業 1：水産業振興事業から養殖業関連実績を再掲)</u>				
	R4.6.23	養殖事業先進地視察実施 ・鳥取県境港市：弓ヶ浜水産株式会社			
	R3 年度決算額	千円			
	R4 年度予算額	千円			
2 年目 (R5.7 月 末時点)	<u>(事業 1：水産業振興事業から養殖業関連実績を再掲)</u>				
	○八戸水産アカデミー関係				
	・講演会				
		開催日	テーマ	参加者数	
	第 2 回	R4.8.22	養殖業の成長産業化について	約 70 人	
	○つくり育てる漁業専門部会関係（R5.3.20 設置）				
	・養殖事業先進地視察				
	実施日	場所	内容（魚種等）		
	R4.8.2～3	福井県小浜市：福井水産振興センター	「鯖、復活」養殖効率化プロジェクト		
		福井県高浜町：高浜町役場	トラフグ海面養殖		
		鳥取県岩美町：岩美町陸上養殖センター	お嬢サバ		
	R5.6.1	今別町：日本サーモンファーム株式会社	青森サーモン 専門部会員 7 人参加		
	R5.6.5～6	岩手県大船渡市：元正榮北日本水産株式会社	三陸翡翠あわび		
		岩手県大槌町：弓ヶ浜水産株式会社	岩手大槌サーモン		
		岩手県普代村：普代村役場	ブルーカーボン事業		
	R5.6.26	新郷村：株式会社虹鱒屋	青い森紅サーモン		
	R5.7.6	むつ市大畑：北彩漁業生産組合	海峡サーモン		
		R4 年度決算額	千円		
		R5 年度予算額	千円		

3 年目 (R6. 7 月 末時点)	(事業 1：水産業振興事業から養殖業関連実績を再掲)		
	○八戸水産アカデミー関係		
	・講演会		
		開催日	テーマ
	R5 年度第 4 回	R6. 2. 19	海面養殖座談会
			参加者数
			約 60 人
	○つくり育てる漁業専門部会関係		
	(1) 講演会		
		開催日	テーマ
	R5 年度第 1 回	R5. 11. 9	サバ養殖
	R5 年度第 2 回	R6. 1. 23	カキ養殖、アワビ養殖
			参加者数
			約 70 人
			約 60 人
	(2) 養殖事業先進地視察		
	実施日	場所	内容（魚種等）
	R5. 8. 23～25	東京都：東京ビッグサイト（シーフードショー）	養殖勉強会
		東京都調布市：NTT e-City Labo	陸上養殖プラント
	R5. 10. 23～25	長崎県長崎市：株式会社水産未来研究所	陸上養殖（クエ）
		佐賀県唐津市：マルハニチロ AQUA 玄海事業所	海面養殖（ブリ等）
		佐賀県唐津市：水産業活性化支援センター	唐津 Q サバ
		長崎県東彼杵町：株式会社 NOMURA CLOUD NINE FARM 事業所	陸上養殖 （サーモン）
	R6. 5. 9	鳥取県米子市：トットクライン株式会社	陸上養殖（サバ、 ヒラメ、サーモン）
	R6. 7. 4	岩手県洋野町：株式会社北三陸ファクトリー	海面蓄養（ウニ）
	○八戸市養殖業成長産業化支援事業補助金（R6 年度新規事業）		
	気象や天然資源に左右されない養殖業の振興により当市水産業全体の成長産業化を図るため、養殖業への事業者の新規参入及び既存養殖事業者の経営の安定化を支援することを目的に補助金を交付する。 対象者：市内に主たる事業所を有し、かつ市内で養殖業を行う法人（漁業協同組合を含む）又は個人 補助率：2 分の 1（上限 300 千円） 対象経費：施設設備費、備品消耗品費、種苗費、養殖運営費（人件費を除く）等 交付状況：3 団体に対し交付決定（R6. 7 末時点）		
	R5 年度決算額 千円		
	R6 年度予算額 26, 800 千円（補助金のみ）		
	（内訳 当初 1, 800 千円 成長産業化		
	補正 25, 000 千円 陸上養殖）		

4 年目 (R7.5 月 末時点)	(事業 1：水産業振興事業から養殖業関連実績を再掲)		
	○つくり育てる漁業専門部会関係		
	(1) 講演会		
		開催日	テーマ
	R6 年度第 1 回	R7.1.15	ウニ養殖、水産イノベーション
			参加者数
			55 人
	(2) 養殖事業先進地視察		
	実施日	場所	内容（魚種等）
	R6.10.27～29	大阪府大阪市：近畿大学水産研究所 グランフロント大阪店	養殖魚専門飲食店
		大阪府藤井寺市：(株)れいわ水産	陸上養殖（ウナギ）
		和歌山県和歌山市：黒潮市場	海鮮マーケット
		和歌山県海南市：株式会社ダイニチ 海南シーフードセンター	水産観光
		和歌山県白浜町：とれとれパーク南紀白浜	水産加工
		和歌山県白浜町：近畿大学水産種苗センター アーマリン近大	高鮮度出荷
			海鮮マーケット
			水産観光
			種苗生産
	R7.5.14	鳥取県境港市：三光(株)	陸上養殖（ギジハタ、フサイワヅタ）
	○八戸市養殖業成長産業化支援事業補助金		
	R6 年度実績：5 つの団体に対して合計 1,218 千円を交付		
	R7 年度：R7.4.24 交付要綱策定。対象者、補助率、対象経費等は R6 年度と同様		
	○閉鎖循環式陸上養殖事業化支援補助金（R6 年度補正）		
	八戸市における陸上養殖ビジネスモデルの構築を図るため、五者（八戸市、嶋脇漁業株式会社、青い森信用金庫、八戸工業大学、青森県栽培漁業振興協会）で協定を締結し、産学官の連携によりヒラメ・マツカワガレイの陸上養殖に取り組むもの。令和 6 年度に陸上養殖設備を設置し、R7.6 末に本格的な養殖を開始予定。		
	対象者：嶋脇漁業株式会社		
	補助率：2 分の 1（上限 25,000 千円）		
	対象経費：機械装置費、備品費		
	交付状況：R6.10.1 交付決定（25,000 千円）		
	R6 年度決算額 26,218 千円（補助金のみ）		
	（内訳 当初 1,218 千円 成長産業化		
	補正 25,000 千円 陸上養殖）		
	R7 年度予算額 1,800 千円		

重点施策 2-3

「食のまち・八戸」をテーマとした観光振興により、八戸圏域の農業・畜産・水産資源を有効活用することで、交流人口や関係人口の増加による圏域全体の経済の活性化を図ります。

事業1：グリーン・ツーリズム推進事業

事業内容	農業観光振興を図るため、三八地方農業観光振興協議会に参画し、関係自治体と連携を図りながら、農家民泊の受入を促進する。
担当課	農業経営振興センター
取組詳細	○三八地方農業観光振興協議会への参画 ○三八地方農業観光振興協議会に対し、負担金を交付 ○八戸市観光農園振興事業補助金の交付 ○八戸圏域ファームステイ事業補助金の交付



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・三八地方農業観光振興協議会担当者会議への出席（令和4年4月13日） ・三八地方農業観光振興協議会理事会への出席（令和4年4月21日） ・三八地方農業観光振興協議会負担金 160,000 円の支払い（令和4年5月） R3 年度決算額 410 千円 R4 年度予算額 477 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・令和4年度八戸市観光農園振興事業補助金の交付（令和4年8月） 交付金額：300,000 円 ・農業体験修学旅行で1校受入れ（令和4年9月2日～7日） ・三八地方農業観光振興協議会担当者会議への出席（令和4年11月17日、令和5年2月28日） ・三八地方農業観光振興協議会理事会への出席（令和5年4月20日） ・令和5年度八戸市観光農園振興事業補助金の交付（令和5年6月） 交付金額：300,000 円 R4 年度決算額 460 千円 R5 年度予算額 477 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・三八地方農業観光振興協議会負担金 160,000 円の支払い（令和5年8月） ・農業体験修学旅行で2校受入れ（令和5年9月4日～6日、9月25日～27日） ・三八地方農業観光振興協議会担当者会議への出席（令和5年12月14日、令和6年3月14日、4月12日） ・三八地方農業観光振興協議会理事会への出席（令和6年4月18日） ・令和6年度八戸市観光農園振興事業補助金の交付（令和6年6月） 交付金額：300,000 円 ・三八地方農業観光振興協議会負担金 160,000 円の支払い（令和6年7月） ・八戸圏域ファームステイ事業補助金の交付（令和6年8月予定） R5 年度決算額 460 千円 R6 年度予算額 601 千円

	4 年目 (R7.5月 末時点) ・ 令和 6 年度八戸圏域ファームステイ事業補助金の交付（令和 6 年 8 月～9 月） ・ 農業体験学習で 1 校受入れ（令和 6 年 7 月 2 日～3 日） ・ 農業体験修学旅行で 2 校受入れ（令和 6 年 9 月 4 日～6 日、9 月 24 日～26 日） ・ 三八地方農業観光振興協議会担当者会議への出席（令和 6 年 8 月 6 日、令和 7 年 3 月 6 日、4 月 9 日） ・ 三八地方農業観光振興協議会理事会への出席（令和 7 年 4 月 17 日） ・ 三八地方農業観光振興協議会負担金 110,000 円の支払い（令和 7 年 6 月予定） ・ 令和 7 年度八戸市観光農園振興事業補助金の交付（令和 7 年 6 月予定） 交付金額：300,000 円 ・ 令和 7 年度八戸圏域ファームステイ事業補助金の交付（令和 7 年 8 月予定） R6 年度決算額 567 千円 R7 年度予算額 1,006 千円
--	--

事業2：VISIT はちのへ活動支援事業

事業内容	観光物産振興を図るため、八戸圏域版DMO「（一財）VISIT はちのへ」が取り組む各種事業を支援する。
担当課	観光課
取組詳細	○（一財）VISIT はちのへが取り組む各種事業に補助金を交付 ・「食のまち・八戸」プロモーション事業 ・圏域物産紹介販売推進事業 ・物産展・商品見本市・商談会事業 ・MICE（会議・コンベンション等誘致）事業 ・誘客推進事業 ・物産振興事業 ・情報発信事業



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点) ○令和3年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 119,719,194 円（令和4年5月18日） ○令和4年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 140,531,000 円（令和4年5月27日） ・「食のまち・八戸」関連事業分 令和3年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 3,120,987 円 ・「MICE」実績 令和3年度 MICE 誘致実績（八戸市小規模 MICE 補助金交付実績） 3 件（金額 392,000 円） ・「情報発信」事業実績 令和3年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 19,243,442 円 取組内容：デジタルマーケティング事業、SNS・HP 関連事業、広報戦略プロモーション事業 R3 年度決算額 119,719 千円 R4 年度予算額 180,000 千円
-------------	---

	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	○令和 4 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 126,505,498 円 (令和 5 年 5 月 18 日) ○令和 5 年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 185,000,000 円 (令和 5 年 5 月 26 日) ・「食のまち・八戸」関連事業分 令和 4 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 8,909,868 円 ※VISIT はちのへでは、令和 4 年から令和 7 年度の 4 か年事業として「食のまち八戸プロモーション事業」に取り組むもので、令和 4 年度は試食イベントやアンケート調査による需要分析を実施し、その結果を基に令和 5 年度以降は販路拡大のための販売促進活動を実施する予定。 ・「MICE」実績 令和 4 年度 MICE 誘致実績 (八戸市小規模 MICE 補助金交付実績) 6 件 (金額 882,000 円) ・MICE プロモーション ①令和 4 年度東北地区 MICE 誘致商談会 (主催：東北地区コンベンション推進協議会) 参加。 ②第 32 回国際 MICE エキスポ IME2023 (主催：一般社団法人日本コンGRES・コンベンション・ビューロー) に青森県ブースとして参加。 ・「情報発信」事業実績 令和 4 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 17,029,304 円 取組内容：デジタルマーケティング事業、SNS・HP 関連事業、広報戦略プロモーション事業 R4 年度決算額 126,506 千円 R5 年度予算額 185,000 千円
	3 年目 (R5. 7 月 末時点)	○令和 5 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 175,090,471 円 (令和 6 年 5 月 15 日) ○令和 6 年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 180,300,000 円 (令和 6 年 5 月 27 日) ・「食のまち・八戸」関連事業分 令和 5 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 11,881,270 円 ※VISIT はちのへでは、令和 4 年から令和 7 年度の 4 か年事業として「食のまち八戸プロモーション事業」に取り組むもので、令和 4 年度は試食イベントやアンケート調査による需要分析を実施し、令和 5 年度は地域文化として根付いた食べ方に焦点をあてた PR を実施。 ①現地見分、②提供メニュー検討、③期間限定メニュー提供、④座談会等の実施 ・「MICE」実績 令和 5 年度 MICE 誘致実績 (八戸市小規模 MICE 補助金交付実績) 6 件 (金額 789,000 円) ・「情報発信」事業実績 令和 5 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 17,547,503 円 取組内容：デジタルマーケティング事業、SNS・HP 関連事業、 広報戦略プロモーション事業 R5 年度決算額 175,091 千円 R6 年度予算額 180,300 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○令和 6 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 174,463,310 円 (令和 7 年 5 月 21 日) ○令和 7 年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 175,300,000 円 (令和 7 年 5 月 21 日) ・「食のまち・八戸」関連事業分 令和 6 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 11,716,931 円 ※VISIT はちのへでは、令和 4 年から令和 7 年度の 4 か年事業として「食のまち八戸プロモーション事業」に取り組むもので、令和 6 年度は首都圏の旅行会社・メディアを招請しての FAM トリップや都内飲食店と連携したプロモーションを実施し、首都圏等での八戸エリアの認知度の向上を図った。 ①旅行会社を招請しての現地視察会、②東京・八戸グルメスタンプラリー ③「うまい森青いもりin弘前への出展、④メディアツアー実施 ・「MICE」実績 令和 6 年度 MICE 誘致実績 (八戸市小規模 MICE 補助金交付実績) 7 件 (金額 1,413,000 円) ・「情報発信」事業実績 令和 6 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 14,594,234 円 取組内容：デジタルマーケティング事業、SNS・HP 関連事業、広報戦略プロモーション事業 R6 年度決算額 174,464 千円 R7 年度予算額 175,300 千円
--	-------------------------	---

事業3：食のまち・八戸事業（八戸都市圏交流プラザ運営事業）

事業内容	八戸圏域の認知度向上と販路拡大を目指すとともに、関係人口を増やすため、八戸都市圏交流プラザ「8base（エイトベース）」を運営し、地場産品の販売や交流事業を実施する。
担当課	観光課
取組詳細	○「8base（エイトベース）」における物産販売、飲食の提供 ○食に関連するイベント等の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	来店実績 ・令和3年度（12月～3月）60,743人 令和4年度（4月～7月）95,926人 売上実績 ・令和3年度（12月～3月）16,547千円 令和4年度（4月～7月）28,428千円 R3年度決算額 37,102千円 R4年度予算額 47,577千円
	2年目 (R5.7月末時点)	食に関連するイベント等：ファンミーティングの交流事業の他、圏域事業者による地場産品のPR等、各種イベントを計25回開催。 来店実績 ・令和4年度（8月～3月）185,842人 令和5年度（4月～6月）83,367人 売上実績 ・令和4年度（8月～3月）63,331千円 令和5年度（4月～6月）29,563千円 R4年度決算額 45,686千円 R5年度予算額 47,441千円
	3年目 (R6.7月末時点)	食に関連するイベント等：ファンミーティングの交流事業の他、圏域事業者による地場産品のPR等、各種イベントを計17回開催。 来店実績 ・令和5年度（8月～3月）185,231人 令和6年度（4月～6月）78,827人 売上実績 ・令和5年度（8月～3月）68,630千円 令和6年度（4月～6月）26,488千円 R5年度決算額 43,962千円 R6年度予算額 48,000千円
	4年目 (R7.5月末時点)	食に関連するイベント等：ファンミーティングの交流事業の他、圏域事業者による地場産品のPR等、各種イベントを計16回開催。 来店実績 ・令和6年度（8月～3月）203,489人 令和7年度（4月）24,741人 売上実績 ・令和6年度（8月～3月）79,019千円 令和7年度（4月）9,401千円 R6年度決算額 41,151千円 R7年度予算額 49,000千円

事業4：湊地区まちづくり事業

事業内容	「みなと八戸」の振興を図るため、官民連携により、陸奥湊駅前市場街の再整備に取り組む。
担当課	まちづくり推進課
取組詳細	駅前に立ち並ぶ公設及び民設の市場を、市場機能の他に滞在空間や飲食・物販機能を取り入れた施設に、エリアとして機能分担しながら民間事業者と協調して改修することで、市民や観光客に選ばれる魅力的な通りに再整備するもの。 ○みちのくみなと未来株式会社と市場再整備に係る協定締結 ○湊地区まちづくり支援事業補助金の交付 ○八戸市魚菜小売市場のリニューアル改修 ○民間市場群の再整備（複数棟改修型優良建築物等整備事業）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・みちのくみなと未来株式会社と市場再整備に係る協定締結（令和4年7月） R3 年度決算額 58,590 千円 R4 年度予算額 513,335 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・湊地区まちづくり支援事業補助金交付決定（令和4年9月29日） 再整備する民間市場の一部の建物調査や改修基本設計を実施 ・八戸市魚菜小売市場のリニューアルオープン（令和4年12月1日） 来場者 10 万人達成（令和5年4月5日） R4 年度決算額 510,142 千円 R5 年度予算額 48,432 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・湊地区まちづくり支援事業補助金交付決定（令和5年8月18日） 再整備する民間市場の一部の建物調査や改修基本設計、解体工事を実施 R5 年度決算額 26,717 千円 R6 年度予算額 125,832 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・湊地区まちづくり支援事業補助金交付決定（令和6年8月1日） ・再整備する民間市場の一部の建物調査や改修基本設計、解体工事を実施 ・八戸市魚菜小売市場の来場者 50 万人達成(2024 年 12 月 24 日) R6 年度決算額 5,233 千円 *工事費 98,520 千円は全額繰越 R7 年度予算額 230,243 千円

事業5：食のまち・八戸事業（物産販売促進事業）

事業内容	観光物産振興を図るため、地場産品を活用した料理・食文化普及活動や食に関するイベントの開催に対し、補助金を交付する。
担当課	観光課
取組詳細	○地場産品を活用した料理・食文化普及活動や食のイベントを開催する市内の団体に補助金を交付 ・1団体につき上限50万円 (ただし、補助対象経費の1/2又は50万円のいずれか低い額) ・補助対象経費 PRのためのリーフレット・チラシ・WEBサイト制作費等、コロナ対策に要する経費、消耗品費、通信運搬費、会場使用料、設営費等



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・令和3年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金（交付実績） 八戸ハマリレーションプロジェクト 350,000円 ・令和4年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金活用団体募集開始。 (令和4年6月1日～7月11日) →3団体応募あり R3年度決算額 350千円 R4年度予算額 2,000千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・令和4年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金（交付実績） 八戸せんべい汁研究所 387,500円 八戸の南部せんべいプロジェクト 420,390円 八戸ハマリレーションプロジェクト 500,000円 ・令和5年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金募集終了。 当初募集 令和5年6月1日～7月11日 2団体応募あり。 R4年度決算額 1,308千円 R5年度予算額 2,000千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・令和5年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金（交付実績） 八戸せんべい汁研究所 475,246円 八戸ハマリレーションプロジェクト 500,000円 株式会社イチカワファーム 56,636円 ・令和6年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金募集終了。 当初募集 令和6年5月8日～7月5日 ※2団体応募あり R5年度決算額 1,032千円 R6年度予算額 2,000千円
	4年目 (R7.5月末時点)	令和6年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金（交付実績） 八戸せんべい汁研究所 500,000円 八戸ハマリレーションプロジェクト 500,000円 南郷商工会 500,000円 令和7年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金 公募準備中 R6年度決算額 1,500千円 R7年度予算額 2,000千円

事業 6： 【新規】 農産物等販売促進事業

事業内容	八戸ワイン等の PR・販売促進を図るため、八戸都市圏交流プラザ「8base」等を活用した首都圏向け PR イベントを開催する。
担当課	農業経営振興センター
取組詳細	○市内ワイナリー等が 8base で実施する八戸ワインイベントへの協力（周知等） ○8base 等を活用し、八戸ワインの販売促進に向けた PR イベントを開催（年 2 回）



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・八戸ワインと郷土料理を楽しむ会（令和 3 年 12 月 25 日～26 日） 主催：金剛グループ 場所：8base 内容：東京事務所メルマガを通じて八戸市出身者等へのイベント周知を実施。 ・澤内醸造によるフリーテイスティング&販売会（令和 4 年 5 月 21 日） 主催：澤内醸造 場所：8base 内容：全国プレスリリース記事掲載依頼（広報統計課経由）。 日本ワイン JP、@PPress 等 HP で掲載有り。 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 118 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・八戸ワイン PR 試飲会 (令和 4 年 10 月 9 日～10 日、12 月 8 日～9 日、令和 5 年 2 月 4 日～5 日) 主催：市 場所：8base 内容：市とワイナリーが共同で八戸ワインの販売促進に向けた PR イベントを実施。 参加ワイナリー：八戸ワイナリー、澤内醸造 R4 年度決算額 234 千円 R5 年度予算額 90 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	・八戸ワイン PR 試飲会 (令和 5 年 11 月 25 日～26 日、12 月 9 日～10 日、令和 6 年 2 月 16 日～17 日) 主催：市 場所：8base 内容：市とワイナリーが共同で八戸ワインの販売促進に向けた PR イベントを実施。 参加ワイナリー：八戸ワイナリー、澤内醸造 R5 年度決算額 311 千円 R6 年度予算額 90 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	・八戸ワイン PR 試飲会 (令和 6 年 12 月 21 日～22 日、令和 7 年 1 月 15 日～16 日) 主催：市 場所：8base 内容：市とワイナリーが共同で八戸ワインの販売促進に向けた PR イベントを実施。 参加ワイナリー：八戸ワイナリー、澤内醸造 R6 年度決算額 220 千円 R7 年度予算額 90 千円

事業7：【新規】食のまち・八戸事業（八戸フェア in 羽田空港）

事業内容	世界有数の乗降客数を誇る「羽田空港」で、八戸の魅力（特に食のまち・八戸、ふるさと寄付金返礼品）を発信するイベントを開催するもの。
担当課	観光課
取組詳細	市長によるトップセールス 現地での物産販売（ふるさと寄付金返礼品等 PR） レストラン及び羽田産直館での八戸食フェア 八戸観光 PR（ノベルティ配付、動画放映、パンフレット配布等） 郷土芸能披露 アンケート抽選会



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	はちのへフェア in 羽田空港 日程：R7.1.18（土）～R7.1.19 日（日） 内容：(1)八戸うまいもの市場（物産販売） (2)郷土芸能披露及びいかずきんずグリーティング (3)種差海岸・みちのく潮風トレイルのターポリン設置 (4)市の観光パンフレット等配付。 (5)市の観光関連アンケート及び抽選会を実施。 令和7年10月初旬の開催に向け準備中 R6 年度決算額 976 千円 R7 年度予算額 3,000 千円

事業8：【新規】「ハマる、ハチノヘ。」観光振興プラン

事業内容	アフターコロナの旅行スタイルの変化やインバウンドの増加などにより観光のトレンドやニーズが変化する中、持続可能で質の高い観光を実現するため、当市および官民連携による観光施策の基本的な取組方針を定め、観光を産業として地域に根づかせ、八戸市の観光再生と積極的に選ばれる都市を目指すことを目的として各種施策を実施するもの。
担当課	観光課
取組詳細	○3つの基本方針 (1) 地域の事業者が稼ぐ観光を目指し、観光消費額を拡大する。 (2) 持続可能な観光を確立し、地域経済の活性化、環境保護、地域文化の保存と継承を進める。 (3) 観光振興による市民の幸福度の向上 ○優先的に取り組む三本柱 (1) 食のまち・八戸の推進 (2) 種差海岸の魅力向上 (3) インバウンド対応の充実



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	8月中の観光振興審議会の開催に向けて委員の公募や派遣依頼など委嘱の準備を実施。 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 1,363 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	令和6年度中に6回、令和7年度5月に1回の観光振興審議会を開催し、令和7年5月に「ハマる、ハチノヘ。」観光振興プランを策定。 ・プランの中で優先的に取り組む3つの施策 ①食のまち・八戸の推進 ②三陸復興国立公園「種差海岸」の魅力向上 ③インバウンド対応の充実 令和7年9月中を目途に個別事業を掲載したアクションプランを策定する予定。 R6 年度決算額 1,097 千円 R7 年度予算額 1,171 千円

重点施策 2-4

デジタル関連産業や医療・介護・健康等の「ヘルスケア産業」など、成長産業の集積に向けた企業誘致や事業育成に取り組みます。

事業 1： I T 産業集積促進事業

事業内容	IT 産業の一層の集積を図るため、「八戸 I T・テレマーケティング未来創造協議会」に負担金を交付するとともに、A I 関連産業に参入する法人への補助金交付や I T 関連企業への各種助成、IT 技術を持つ企業と協働で地域課題解決に取り組む仕組みの構築を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	○「八戸 I T・テレマーケティング未来創造協議会」を支援（負担金交付等） ○AI アノテーション作業を行う事業者に対し専門人材養成に係る経費等を助成 ○市の誘致企業である IT 関連企業に対し、賃料補助金や雇用奨励金を交付 ○IT 技術を持つ企業が地域課題解決に取り組む仕組みを構築



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・八戸 I T・テレマーケティング未来創造協議会を支援 (令和 4 年度負担金：3,000,000 円) ・A I 関連産業参入支援事業補助金 交付決定 3 件、交付決定金額 1,110,000 円 R3 年度決算額 25,614 千円 R4 年度予算額 30,806 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・八戸 I T・テレマーケティング未来創造協議会を支援 (令和 5 年度負担金：3,000,000 円) ・令和 4 年度 A I 関連産業参入支援事業補助金 交付確定 3 件、交付確定金額 11,008,000 円 ・令和 4 年度八戸市 IT 関連企業立地促進事業補助金 交付確定 5 件、交付確定金額 6,583,000 円 R4 年度決算額 20,591 千円 R5 年度予算額 17,360 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	・八戸 I T・テレマーケティング未来創造協議会を支援 (令和 5 年度負担金：3,000,000 円) ・令和 5 年度八戸市 IT 関連企業立地促進事業補助金 交付確定 5 件、交付確定金額 6,796,000 円 R5 年度決算額 9,796 千円 R6 年度予算額 10,809 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	・八戸 I T・テレマーケティング未来創造協議会を支援 (令和 6 年度負担金：3,000,000 円) ・令和 6 年度八戸市 IT 関連企業立地促進事業補助金 交付確定 3 件、交付確定金額 4,647,000 円 ・令和 6 年度 Hachinohe X-Tech Innovation 事業 委託料 7,655,000 円 R6 年度決算額 15,302 千円 R7 年度予算額 12,930 千円

事業2：イノベティブ産業集積促進事業

事業内容	地域企業の成長ものづくり分野への参入を図るため、有識者を招聘し、最近の動向等について情報提供を行うとともに、企業の立地及び参入促進に向け、補助金を交付する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○関連企業訪問による課題抽出、支援策紹介 ○イノベティブ産業集積促進事業補助金の交付 ○航空機関連企業と地域内企業とのマッチング



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・航空機関連企業訪問：2件 R3 年度決算額 1,586 千円 R4 年度予算額 2,188 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・補助金活用意向有り：3件 （試作開発／医療福祉分野：2件、展示会出展／自動車分野：1件） ・航空機関連企業との情報交換：1件 【聞取り内容】 コロナ禍が落ち着き、航空機産業は回復傾向にある。各社の生産活動が回復している中、ますます求人倍率が高くなり、採用面で苦戦している。 R4 年度決算額 1,765 千円 R5 年度予算額 6,006 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・令和5年度イノベティブ産業集積促進事業補助金 交付確定1件、交付確定金額（試作開発/自動車分野） ・令和6年度イノベティブ産業集積促進事業補助金 交付決定1件（試作開発・拠点開設/医療福祉分野） R5 年度決算額 2,161 千円 R6 年度予算額 4,830 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・令和6年度イノベティブ産業集積促進事業補助金 試作開発事業：1件（医療福祉分野）、拠点開設事業：1件（医療福祉分野） R6 年度決算額 3,296 千円 R7 年度予算額 4,316 千円

事業３： 企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業

事業内容	産業構造の高度化と雇用の拡大を図るため、北インター工業団地等に立地する高度技術産業等の企業に対し各種奨励金を交付する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○立地企業に対し、土地購入や設備投資、地元雇用に要する経費に係る奨励金を交付



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・令和4年度交付件数（R4.4.1～R4.7.31） 立地奨励金1件、設備投資奨励金1件 R3年度決算額 296,382千円 R4年度予算額 206,670千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・令和4年度交付件数（R4.8.1～R5.3.31） 立地奨励金3件、操業奨励金4件 ・令和5年度交付件数（R5.4.1～R5.7.31） 立地奨励金2件、設備投資奨励金1件 R4年度決算額 252,141千円 R5年度予算額 201,410千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・令和5年度交付件数（R5.8.1～R6.3.31） 立地奨励金2件、操業奨励金7件、雇用奨励金2件 ・令和6年度交付件数（R6.4.1～R6.7.31）0件 R5年度決算額 201,110千円 R6年度予算額 38,500千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・令和6年度交付件数（R6.8.1～R7.5.31） 立地奨励金3件、操業奨励金6件、雇用奨励金1件 R6年度決算額 165,060千円 R7年度予算額 128,500千円

事業４：企業誘致促進事業

事業内容	地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図るため、当市の立地環境や支援制度等について総合的なPRを行うとともに、企業ニーズに関する情報収集を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	○企業セミナーの開催 ○企業訪問等を通じたトップセールスの実施 ○ガイドブックの更新及び企業ニーズに関する情報収集



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・八戸セミナー2022開催 (参加者数 7/26 名古屋：約70名、7/27 東京：約150名) ・二役によるトップセールスの実施（県内3社、県外4社） R3 年度決算額 5,910 千円 R4 年度予算額 14,372 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・産業立地ガイドブックの作成（1,000部） ・八戸セミナー2023開催（7/26 東京：305名、7/27 名古屋：71名） ・二役によるトップセールスの実施 (令和4年度：県内0社、県外3社、令和5年度：県内5社、県外3社) R4 年度決算額 10,027 千円 R5 年度予算額 15,402 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・八戸セミナー2024開催（7/23 名古屋：64名、7/24 東京：339名） ・二役によるトップセールスの実施 (令和5年度：県内2社、県外4社、令和6年度：県内1社、県外4社) R5 年度決算額 11,569 千円 R6 年度予算額 20,179 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・八戸セミナー2025開催予定（7/23 名古屋：100名、7/24 東京：350名を想定） ・二役によるトップセールスの実施 (令和6年度8月以降：市内1件、県外4件/令和7年度5月末まで：市内1件) R6 年度決算額 16,985 千円 R7 年度予算額 16,147 千円

事業5： 中小企業資金調達円滑化事業(低利融資制度・信用保証料補助)

事業内容	地元中小企業の経営強化を図るため、市内金融機関に対して原資を一部預託するほか、中小企業者に対する信用保証料の補助を行う。
担当課	商工課
取組詳細	○中小企業への信用保証料の補給 ○市融資の金融機関への預託



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○信用保証料補給（R3 第2四半期～R4 第1四半期の合計額） ①小口特別保証制度：24,690千円 ②小口零細企業保証制度：8,329千円 ③商工業設備投資資金：25,370千円 ④「選ばれる青森」への挑戦資金：4,531千円 ○預託総額（①～③＋事業活性化資金（信用保証料補給なし）） R3：810,000千円 R4：810,000千円 R3 年度決算額 875,404千円 R4 年度予算額 895,000千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○信用保証料補給（R4 第2四半期～R5 第1四半期の合計額） ①小口特別保証制度：31,796千円 ②小口零細企業保証制度：6,185千円 ③商工業設備投資資金：30,271千円 ④「選ばれる青森」への挑戦資金：5,393千円 ⑤伴走支援型借換資金：17,381千円 ○預託総額（①～③＋事業活性化資金（信用保証料補給なし）） R4：810,000千円 R5：810,000千円 R4 年度決算額 879,195千円 R5 年度予算額 945,000千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○信用保証料補給（R5 第2四半期～R6 第1四半期の合計額） ①小口特別保証制度：26,924千円 ②小口零細企業保証制度：5,813千円 ③商工業設備投資資金：35,729千円 ④「選ばれる青森」への挑戦資金：6,465千円 ※R6年度から「青森新時代」への架橋資金 ⑤伴走支援型借換資金：102,727千円 ※令和6年6月で終了 ○預託総額（①～③＋事業活性化資金（信用保証料補給なし）） R5：810,000千円 R6：810,000千円 R5 年度決算額 981,761千円 R6 年度予算額 895,000千円

	(中小企業特別保証制度保証料補助事業から事業名変更(令和7年4月～)) ○信用保証料補給 (R6 第2四半期～R6 第4四半期の合計額) ①小口特別保証制度：25,124 千円 ②小口零細企業保証制度：4,249 千円 ③商工業設備投資資金：31,044 千円 ④「青森新時代」への架け橋資金：5,457 千円 ○預託総額 (①～③+事業活性化資金 (信用保証料補給なし)) R6：810,000 千円 R7：810,000 千円 R6 年度決算額 944,893 千円 R7 年度予算額 900,000 千円
--	--

重点施策 2-5

経済のグローバル化に向けた北東北の物流拠点としての基盤の整備等、産業インフラをさらに充実させ企業誘致に努めます。

事業 1： ポートセールス事業

事業内容	地域経済を支える八戸港の一層の発展を図るため、国内外の企業訪問によるポートセールス活動や首都圏等でのポートセミナー等を開催する。
担当課	商工課
取組詳細	○企業訪問 ○海外ポートセールス（韓国） ○国内ポートセミナー（東京、名古屋） ○情報誌の発行 ○八戸港コンテナ定期航路開設促進事業費補助金の交付 ○八戸港コンテナ貨物利用促進事業費補助金の交付 ○はちとまネットワークへの対応



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点) 【実績（結果）】 ・企業訪問：R3…8 件 R4…29 件 ・海外ポートセールス：R3…中止 ・国内ポートセミナー：R3…中止 R4…名古屋 67 名（うち貿易関係 20 名） 東京 148 名（うち貿易関係 78 名） ・情報誌の発行：R3…八戸港情報誌「PoRt of Hachinohe」第 51 号発刊 R4…八戸港情報誌「PoRt of Hachinohe」第 52 号発刊 ・航路補助金：R3、R4：実績無し ・コンテナ補助金：R3：延べ 27 件 6,048 千円 ・はちとま対応：R3…共同広告、ポスター掲示 R4…共同広告、打合せ実施 【成果】 八戸港コンテナ取扱量について、令和 2 年度は 52,232TEU（空コンテナ込）であったのに対し、令和 3 年度は 55,129TEU（同）〈速報値〉となり、対前年比 5.5%増となった。 R3 年度決算額 12,271 千円 R4 年度予算額 30,077 千円
-------------	---

	2 年目 (R5.7 月 末時点)	【実績（結果）】 ・ 企業等訪問・来訪対応：R4…157 件 R5…31 件実施 ・ 海外ポートセールス：R4…中止 R5…R6.1 月実施予定 ・ 国内ポートセミナー：R5…東京 305 名（うち貿易関係 210 名） 名古屋 71 名（うち貿易関係 22 名） ・ 情報誌の発行：R4…八戸港情報誌「PoRt of Hachinohe」第 53 号発刊 R5…八戸港ガイドブック「GLOBAL PORT HACHINOHE」第 7 版発刊 ・ 航路補助金：R4、R5：実績無し ・ コンテナ補助金：R4：延べ 21 件 6,824 千円 ・ はちとま対応：R4…共同広告、打合せ実施 R5…共同広告、ポスター掲示 【成果】 八戸港コンテナ取扱量について、令和 3 年は 55,129TEU（空コンテナ込）であったのに対し、令和 4 年は 51,472TEU（同）〈速報値〉となり、対前年比 6.6%減となった。 R4 年度決算額 13,933 千円 R5 年度予算額 35,545 千円
	3 年目 (R6.7 月 末時点)	【実績（結果）】 ・ 企業等訪問・来訪対応：R5…166 件 R6…70 件実施 ・ 海外ポートセールス：R5…八戸港韓国ポートセールスミッション 2024 を実施 (R6.1.15～18) R6…八戸港台湾ポートセールスミッション 2024 を実施予定 (R6.11.11～14) ・ 国内ポートセミナー：R5…東京 305 名（うち貿易関係 210 名） 名古屋 71 名（うち貿易関係 22 名） R6…東京 339 名（うち貿易関係 247 名） 名古屋 64 名（うち貿易関係 19 名） ・ 情報誌の発行：R5…八戸港ガイドブック「GLOBAL PORT HACHINOHE」第 7 版発刊 R6…八戸港ガイドブック「GLOBAL PORT HACHINOHE」第 8 版発刊 八戸港情報誌「Port of Hachinohe」第 54 号発刊 ・ 航路補助金：R5：延べ 7 件 5,130 千円 ・ コンテナ補助金：R5：延べ 17 件 9,418 千円 ・ はちとま対応：R5…共同広告、打合せ実施 R6…共同広告、打合せ実施 【成果】 八戸港コンテナ取扱量について、令和 4 年は 51,472TEU（空コンテナ込）であったのに対し、令和 5 年は 41,043TEU（同）〈速報値〉となり、対前年比 21.2%減となった。 R5 年度決算額 24,413 千円 R6 年度予算額 31,683 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	・ 企業等訪問・来訪対応：R6…236 件 R7…61 件実施 ・ 海外ポートセールス：R6…八戸港台湾ポートセールスミッション 2024 を実施 (R6.11.11～14) R7…八戸港韓国ポートセールスミッション 2026 を実施予定 (R8.1.13～17) ・ 国内ポートセミナー： R6…東京 339 名（うち貿易関係 247 名） 名古屋 64 名（うち貿易関係 19 名） R7…東京 350 名を予定 名古屋 100 名を予定 ・ 情報誌の発行：R6…八戸港ガイドブック「GLOBAL PORT HACHINOHE」第 8 版発刊 八戸港情報誌「Port of Hachinohe」第 55 号発刊 R7…八戸港ガイドブック「GLOBAL PORT HACHINOHE」第 9 版発刊 予定 八戸港情報誌「Port of Hachinohe」第 56 号発刊予定 ・ 航路補助金：R6：実績なし ・ コンテナ補助金：R6：延べ 22 件 14,496 千円 ・ はちとま対応：R6…共同広告、打合せ実施 【成果】 八戸港コンテナ取扱量について、令和 5 年は 41,043TEU（空コンテナ込）であつたのに対し、令和 6 年は 40,242TEU（同）〈速報値〉となり、対前年比 1.95%減となった。 R6 年度決算額 14,174 千円 R7 年度予算額 32,654 千円
--	-------------------------	--

事業2：新産業団地整備・開発推進事業

事業内容	地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図るため、企業進出の受け皿となる八戸北インター第2工業団地の開発を進める。
担当課	産業労政課
取組詳細	○新産業団地の開発 ・造成工事の実施 ・公共施設等整備工事の実施(調整池・道路等) ・分譲受付開始(令和6年度)



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・埋蔵文化財発掘調査(実施中、～令和5年度前半まで) ・造成工事(実施中、令和3年度～令和5年度継続費) ・調整池工事の入札(令和4年7月) ・道路修正概略設計業務委託の契約締結(令和4年5月) ・支障物件等移設の補償契約締結(水道)(令和4年6月) R3年度決算額 579,235千円 R4年度予算額 2,481,718千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・埋蔵文化財発掘調査実施(6月まで、報告書作成は令和6年度まで予定) ・調整池工事(実施中、令和4年度～令和6年度継続費) ・防火水槽整備工事の契約締結(令和5年5月) ・(仮称)2号公園整備工事の契約締結(令和5年6月) ・道路整備工事の契約締結(計5工事、令和5年6～7月) ・水道布設工事の依頼(令和5年7月) ・道路修正概略設計業務委託の実施(令和4年9月) ・C B R調査業務委託の実施(令和5年1月) ・電気探査業務委託の契約締結(令和5年7月) ・支障物件等移設の実施(水道等計4件)(令和5年2～3月) R4年度決算額 506,121千円 R5年度予算額 4,535,718千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・防火水槽整備工事の実施(令和6年2月) ・(仮称)2号公園整備工事の実施(令和6年6月) ・道路整備工事の実施(1工事、令和6年4月) ・水道布設工事の実施(令和6年3月) ・水道布設工事の依頼(令和6年6月) ・電気探査業務委託の実施(令和5年10月) ・支障物件等移設の実施(電柱等計2件)(令和6年6月、7月) ・(仮称)2号公園整備工事(その2)の契約締結(令和6年7月) ・緑地園路整備工事の契約締結(令和6年7月) R5年度決算額 2,502,103千円 R6年度予算額 2,660,318千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	・発掘調査報告書印刷製本（令和 6 年 10 月完了） ・緑地園路整備工事の実施（令和 6 年 12 月完了） ・（仮称）2 号公園整備工事（その 2）の実施（令和 7 年 2 月完了） ・水道布設工事の実施（令和 7 年 3 月完了） ・水道布設工事の依頼（令和 7 年 4 月） ・造成工事工損事後調査業務委託の契約締結（令和 7 年 5 月） ・用地測量業務委託の実施（実施中、～令和 8 年 3 月まで） ・用地測量業務委託（その 2）の入札（令和 7 年 5 月） ・道路整備工事の実施（計 6 工事）（令和 6 年 8 月、9 月、令和 7 年 3 月完了） ・道路整備工事の実施（計 3 工事）（実施中、～令和 7 年度途中まで） ・調整池工事（実施中、令和 4 年度～令和 7 年度継続費） ・調整池等管理園路整備工事（実施中、～令和 7 年度途中まで） ・公共嘱託表示登記委託の実施（令和 7 年 7 月以降）※予定 ・事業排水施設整備工事の実施（令和 7 年 7 月以降）※予定 ・道路整備工事の実施（1 工事、令和 7 年 7 月以降）※予定 ・造成工事（その 2）の実施（令和 7 年 10 月以降）※予定 R6 年度決算額 3,317,664 千円 R7 年度予算額 651,313 千円
--	----------------------------------	---

事業３： 企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業（再掲）

事業内容	産業構造の高度化と雇用の拡大を図るため、北インター工業団地等に立地する高度技術産業等の企業に対し各種奨励金を交付する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○立地企業に対し、土地購入や設備投資、地元雇用に要する経費に係る奨励金を交付



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	令和4年度交付件数 (R4.4.1～R4.7.31) 立地奨励金1件、設備投資奨励金1件 R3年度決算額 296,382千円 R4年度予算額 253,243千円
	2年目 (R5.7月末時点)	- 令和4年度交付件数 (R4.8.1～R5.3.31) 立地奨励金3件、操業奨励金4件 - 令和5年度交付件数 (R5.4.1～R5.7.31) 立地奨励金2件、設備投資奨励金1件 R4年度決算額 252,141千円 R5年度予算額 201,410千円
	3年目 (R6.7月末時点)	- 令和5年度交付件数 (R5.8.1～R6.3.31) 立地奨励金2件、操業奨励金7件、雇用奨励金2件 - 令和6年度交付件数 (R6.4.1～R6.7.31) 0件 R5年度決算額 201,110千円 R6年度予算額 38,500千円
	4年目 (R7.5月末時点)	令和6年度交付件数 (R6.8.1～R7.5.31) 立地奨励金3件、操業奨励金6件、雇用奨励金1件 R6年度決算額 165,060千円 R7年度予算額 128,500千円

事業4：企業誘致促進事業（再掲）

事業内容	地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図るため、当市の立地環境や支援制度等について総合的なPRを行うとともに、企業ニーズに関する情報収集を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	○企業セミナーの開催 ○企業訪問等を通じたトップセールスの実施 ○ガイドブックの更新及び企業ニーズに関する情報収集



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・八戸セミナー2022 開催 (参加者数 7/26 名古屋：約70名、7/27 東京：約150名) ・二役によるトップセールスの実施（県内3社、県外4社） R3 年度決算額 5,910 千円 R4 年度予算額 14,372 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・産業立地ガイドブックの作成（1,000部） ・八戸セミナー2023 開催（7/26 東京：305名、7/27 名古屋：71名） ・二役によるトップセールスの実施 (令和4年度：県内0社、県外3社、令和5年度：県内5社、県外3社) R4 年度決算額 10,027 千円 R5 年度予算額 15,402 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・八戸セミナー2024 開催（7/23 名古屋：64名、7/24 東京：339名） ・二役によるトップセールスの実施 (令和5年度：県内2社、県外4社、令和6年度：県内1社、県外4社) R5 年度決算額 11,569 千円 R6 年度予算額 20,179 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・八戸セミナー2025 開催予定（7/23 名古屋：100名、7/24 東京：350名を想定） ・二役によるトップセールスの実施 (令和6年度8月以降：市内1件、県外4件/令和7年度5月末まで：市内1件) R6 年度決算額 16,985 千円 R7 年度予算額 16,147 千円

事業 5： 港湾整備促進事業

事業内容	地域経済を支える八戸港の一層の発展を図るため、国や県に対して、航路・泊地などの港湾施設の整備に係る事業費の一部を負担する。
担当課	港湾河川課
取組詳細	○国が実施する航路・泊地及び市川土砂処分場の整備費用の一部を負担 ○県が実施した八太郎地区 2 号埠頭のコンテナターミナル拡張事業費の償還金を一部負担



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	○直轄事業 ・市川土砂処分場整備（概成延長 1,834m／2,132m） R3 年度決算額 399,938 千円 R4 年度予算額 44,585 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	○直轄事業 ・市川土砂処分場整備（概成延長 2,062m／2,132m） ○県議会議員に対し、要望事項の説明（令和 4 年 8 月 25 日実施） R4 年度決算額 249,985 千円 R5 年度予算額 96,219 千円
	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	○直轄事業 ・市川土砂処分場整備（概成延長 2,132m／2,132m） R5 年度決算額 306,019 千円 R6 年度予算額 111,000 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	○直轄事業 ・市川土砂処分場整備（概成延長 2,132m／2,132m） R6 年度決算額 305,006 千円 R7 年度予算額 230,800 千円

事業 6： 都市計画道路 3・3・8 号白銀市川環状線整備促進事業

事業内容	地域経済の発展や防災力強化等のため、当市の主要な拠点間を結ぶ 3・3・8 号白銀市川環状線の整備促進を要望し、事業主体である県に対して事業費の一部を負担する。
担当課	道路建設課
取組詳細	○事業主体である県に対し、尻内工区（街路事業）整備事業費の一部を負担 ○事業主体である県に対し、重点事業（最重点）として要望 ＜事業中工区＞ 尻内工区 （街路事業）約 1.3 km 天久岱Ⅱ期工区 （道路事業）約 2.5 km 市川町Ⅱ期工区 （道路事業）約 0.9 km



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・事業主体である県に対し、街路整備事業負担金 381,984 千円の支出 (令和 4 年 3 月 31 日) R3 年度決算額 381,984 千円 R4 年度予算額 254,557 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・県議会議員に対し、要望事項の説明（令和 4 年 8 月 25 日実施） ・事業主体である県に対し、街路整備事業負担金 93,540 千円の支出 (令和 5 年 3 月 31 日) R4 年度決算額 93,540 千円 R5 年度予算額 261,087 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	・県議会議員に対し、要望事項の説明（令和 5 年 8 月 29 日実施） ・事業主体である県に対し、街路整備事業負担金 171,986 千円の支出 (令和 6 年 3 月 29 日) R5 年度決算額 171,986 千円 R6 年度予算額 100,308 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	・県議会議員に対し、要望事項の説明（令和 6 年 8 月 27 日実施） ・事業主体である県に対し、街路整備事業負担金 60,915 千円の支出 (令和 7 年 3 月 28 日) R6 年度決算額 60,915 千円 R7 年度予算額 355,950 千円

事業7：三陸沿岸道路利活用促進事業

事業内容	八戸・久慈自動車道の機能強化及び八戸港の物流拠点化の促進を図るため、国・県に対して要望活動を行うとともに、三陸沿岸道路の利用促進に向けた情報発信を行う。
担当課	道路建設課
取組詳細	○三陸沿岸道路等利活用懇談会への出席 ○八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会負担金の支出 ○八戸・苫小牧フェリー航路を活用した三陸沿岸道路の利活用促進(令和4年度から) ①川崎近海汽船㈱へのヒアリング調査 ②八戸・苫小牧フェリー利用者へのアンケート調査 ③広報はちのへ特集記事の掲載 ④チラシ・ポスターの作成及び配布



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会負担金 316 千円の支出 (令和4年6月) ○国会議員・国・県に対して要望活動を実施 (令和4年7月) R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 779 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○三陸沿岸道路(北部)・宮古盛岡横断道路利活用 WG (令和4年11月17日開催) ○八戸・苫小牧フェリー利用の事業者へヒアリング調査 (令和5年1月中旬実施) ○広報はちのへ3月号への特集記事掲載 ○三陸沿岸道路等利活用懇談会(令和5年3月15日開催) ○八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会負担金 316 千円の支出 (令和5年6月) ○国会議員・国に対して要望活動を実施 (令和5年7月) R4 年度決算額 598 千円 R5 年度予算額 800 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○三陸沿岸道路利用促進に係るチラシ・ポスターの作成及び配布 (令和5年12月～令和6年2月) ○三陸沿岸道路(北部)・宮古盛岡横断道路利活用 WG (令和5年12月25日開催) ○広報はちのへ3月号への特集記事掲載 ○三陸沿岸道路等利活用懇談会(令和6年3月25日開催) ○八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会負担金 316 千円の支出 (令和6年6月) ○国会議員・国に対して要望活動を実施 (令和6年7月) R5 年度決算額 470 千円 R6 年度予算額 629 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○三陸沿岸道路利用促進に係るチラシ・ポスターの作成及び配布 (令和 7 年 1 月～令和 7 年 3 月) ○三陸沿岸道路(北部)・宮古盛岡横断道路利活用 WG (令和 6 年 12 月 16 日開催) ○三陸沿岸道路等利活用懇談会(令和 7 年 3 月 24 日開催) ○八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会負担金 316 千円の支出予定 (令和 7 年 6 月頃) ○国会議員・国に対して要望活動を実施予定 R6 年度決算額 454 千円 R7 年度予算額 626 千円
--	----------------------------------	--

事業 8：【新規】物流問題対策事業

事業内容	物流問題に係る事業者支援と諸課題へ対応するため、補助金事業や講演会の開催等により物流関係企業を支援する。
担当課	商工課
取組詳細	○事業者支援の補助事業の実施 ○物流問題に係る講演会の開催 ○関係者による物流問題懇談会の開催



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	○貨物自動車運行支援金：燃料価格高騰や物流の 2024 年問題の影響で厳しい状況にある貨物自動車運送事業者を支援（283 事業者に支援） ○倉庫業支援金：国の電気料金激変緩和措置の縮小等により厳しい状況にある倉庫業者を支援（27 事業者に支援） ○港湾物流効率化支援補助金：市内の物流事業者及び荷主企業が行う物流の生産性向上に対する取組を支援（実施中） ○モーダルシフトトライアル輸送事業費補助金：陸送で他港に運んでいた貨物を、八戸港を利用した船舶輸送に切り替えるモーダルシフトを支援（実施中） ○八戸地域物流問題懇談会（9 月下旬第 1 回会議予定） ○物流問題講演会（12 月頃予定） R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 132,877 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	○物流効率化支援補助金：市内の物流事業者及び荷主企業が行う物流の生産性向上に対する取組を支援（R6：13 事業者に支援、R7：実施中） ○モーダルシフトトライアル輸送事業費補助金：陸送で他港に運んでいた貨物を、八戸港を利用した船舶輸送に切り替えるモーダルシフトを支援（R6：3 事業者に支援、R7：実施中） ○八戸地域物流問題懇談会（R6：第 1 回（R6/9/30）、第 2 回（R7/3/19）、R7：9 月、3 月開催予定） ○物流問題講演会（R6：R6/12/19） ○物流企業見学バスツアー（R7：R7/7/3 開催予定） R6 年度決算額 119,346 千円 R7 年度予算額 30,000 千円

重点施策 2-6

地域の雇用と経済を支える中小企業・小規模企業の振興条例を制定し、効果的な運用により地域経済の活性化を図ります。

事業 1：【新規】中小企業及び小規模企業振興基本条例推進事業

事業内容	地元中小企業の振興を図るため、条例の周知のほか、中小企業・小規模企業振興会議の効果的な運用により、中小企業・小規模企業の振興に向けた取組を推進する。
担当課	商工課
取組詳細	○「中小企業・小規模企業振興基本条例」の制定（令和 4 年 4 月 1 日施行） ○条例の周知（冊子配布、広報はちのへ記事掲載） ○中小企業・小規模企業振興会議の設置・運営



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	○八戸市中小企業・小規模企業振興基本条例：令和 4 年 4 月 1 日付け施行 ○条例の周知 ①市ホームページ：令和 4 年 5 月 30 日付け全文（PDF）掲載 ②広報はちのへ：令和 4 年 6 月号（5 月 20 日発行）に特集記事掲載 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 1,122 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	・八戸市中小企業・小規模企業振興会議 ①令和 4 年度に会議を 2 回開催（令和 4 年 9 月、10 月） ②令和 5 年 1 月 19 日に「市の中小企業・小規模企業振興施策に対する意見」を取りまとめた意見書を市長に提出 ③意見書の提出を受け、次年度事業に反映 例）はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業（拡充）、高校生による地元企業魅力発見体験事業（R5 新規）青森県伴走支援型借換資金融資制度保証料補給事業（R5 新規）など ・条例の周知 ①特集小冊子の作成：令和 5 年 2 月に完成（2,000 部） 【今後の予定】 ・八戸市中小企業・小規模企業振興会議 ①令和 5 年度に会議を 3 回開催予定（令和 5 年 7 月（開催済）、8 月、9 月） ②令和 5 年 10 月に「市の中小企業・小規模企業振興施策に対する意見」を取りまとめた意見書を市長に提出 ③意見書の提出を受け、必要に応じて次年度事業に反映 R4 年度決算額 584 千円 R5 年度予算額 498 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	・八戸市中小企業・小規模企業振興会議 ①令和5年度に会議を3回開催（令和5年7月、8月、9月） ②令和5年10月24日に「市の中小企業・小規模企業振興施策に対する意見」を取りまとめた意見書を市長に提出 ③意見書の提出を受け、次年度事業に反映 例）地域企業支援体制強化事業（拡充）、計画経営導入促進事業（R6新規）、中小企業振興条例の見直し（R6単年） 【今後の予定】 ・八戸市中小企業・小規模企業振興会議 ①令和6年度に会議を6回開催予定（令和6年4月、5月、7月（2回）（以上、開催済）、8月、9月） ②4月の第1回会議にて市から諮問を受けた「中小企業振興条例の見直し」に係る答申書を、10月に市長へ提出予定。 ③「市の中小企業・小規模企業振興施策」に対する意見を取りまとめた意見書を、10月に市長へ提出予定。（答申書と同時） ④市は答申を受けて条例の見直しを進めるほか、意見書に掲載された意見の内容を、必要に応じて次年度事業に反映 R5年度決算額 220千円 R6年度予算額 954千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・八戸市中小企業・小規模企業振興会議 ①令和6年度に会議を6回開催（令和6年4月、5月、7月（2回）、8月、9月） ②令和6年10月16日に、4月の第1回会議にて市から諮問を受けた「中小企業振興条例の見直し」に係る答申書を市長へ提出。 ③令和6年10月16日に「市の中小企業・小規模企業振興施策に対する意見」を取りまとめた意見書を市長に提出。 ④答申書及び意見書の提出を受け、次年度事業に反映 【今後の予定】 ・八戸市中小企業・小規模企業振興会議 ①令和7年度に会議を3回開催予定（令和7年7月、8月、9月） ②「市の中小企業・小規模企業振興施策」に対する意見を取りまとめた意見書を、10月に市長へ提出予定。 ③意見書の提出を受け、必要に応じて次年度事業に反映 R6年度決算額 377千円 R7年度予算額 515千円

重点施策 2-7

次代の経済活性化に向けて起業家を支援するプラットフォームを構築し、起業家同士の交流や起業を志す若者や女性に対する起業支援体制を拡充することで、「創業拠点都市・八戸」を目指します。

事業1： はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、創業及び事業承継の支援拠点として「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」を設置し、相談員等による相談対応を実施する。
担当課	商工課
取組詳細	○相談対応の実施 ○創業希望者の交流事業の実施 ○創業及び事業承継に関するセミナーの実施 ○若者や女性をはじめとした起業家を支援するためのプラットフォームの運営 ○ビジネスコンテストの開催（令和7年度）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点) ・新規相談者数：103人 ・相談件数：450件 ・創業者数：20人 ・事業承継成立件数：7件 ・「事業の未来を描くための『つなぐ』セミナー」開催（令和3年12月） →参加者数：18名 ・「第6回はちのへ女性創業スクール」開催（令和3年11月～12月） →参加者数：21名 ・「令和3年度はちのへ創業スクール」開催（令和4年1月） →参加者数：12名 R3 年度決算額 17,052 千円 R4 年度予算額 18,076 千円
-------------	--

	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	・新規相談者数：153 人 ・相談件数：617 件 ・創業者数：52 人 ・事業承継成立件数：7 件 ・「第 7 回はちのへ女性創業スクール プレセミナー」開催（令和 4 年 8 月） →参加者数：7 名 ・「はちのへ女性創業スクール リターンズ」開催（令和 4 年 8 月） →参加者数：8 名 ・「第 7 回はちのへ女性創業スクール」開催（令和 4 年 9 月～10 月） →参加者数：10 名 ・「今さら聞けない SNS 活用セミナー」開催（令和 4 年 10 月） →参加者数：28 名 ・「事業の未来を描くための『つなぐ』セミナー」開催（令和 4 年 11 月） →参加者数：17 名 ・「8 サポ創業クラブ 情報交換会&交流会」開催（令和 4 年 12 月） →参加者数：3 名 ・「8 サポ創業クラブ 情報交換会&交流会」開催（令和 5 年 1 月） →参加者数：9 名 ・「令和 4 年度はちのへ創業スクール」開催（令和 5 年 2 月～3 月） →参加者数：3 名 R4 年度決算額 17,537 千円 R5 年度予算額 23,209 千円												
	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	○相談窓口（8 サポ desk） ※R6.6 月末時点の実績 ・新規相談者数：165 人 ・相談件数：587 件 ・創業者数：51 人 ・事業承継成立件数：3 件 ・創業セミナー「効果的な広告活用術 応用編」開催（令和 5 年 10 月） →参加者数：10 名 ・「事業承継支援力向上セミナー」開催（令和 6 年 2 月） →参加者数：48 名 ・「令和 5 年度はちのへ創業スクール」開催（令和 6 年 2 月～3 月） →参加者数：7 名 ○起業支援プラットフォーム（8 サポ meets） ・コミュニティの運営 <table border="1" data-bbox="411 1518 1460 1675"> <thead> <tr> <th>コミュニティ名</th><th>メインターゲット</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生起業チャレンジコミュニティ</td><td>若者（高校生、大学生）</td><td>16 人</td></tr> <tr> <td>スモールビジネスコミュニティ</td><td>女性</td><td>10 人</td></tr> <tr> <td>新ビジネス創出コミュニティ</td><td>個人事業主、若手起業家</td><td>16 人</td></tr> </tbody> </table> ・キックオフイベント開催（令和 5 年 10 月） →参加者数：61 名 ・コミュニティ活動報告会開催（令和 6 年 3 月） →参加者数：51 名 R5 年度決算額 23,131 千円 R6 年度予算額 27,844 千円	コミュニティ名	メインターゲット	参加者数	学生起業チャレンジコミュニティ	若者（高校生、大学生）	16 人	スモールビジネスコミュニティ	女性	10 人	新ビジネス創出コミュニティ	個人事業主、若手起業家	16 人
コミュニティ名	メインターゲット	参加者数												
学生起業チャレンジコミュニティ	若者（高校生、大学生）	16 人												
スモールビジネスコミュニティ	女性	10 人												
新ビジネス創出コミュニティ	個人事業主、若手起業家	16 人												

4 年目 (R7.5月 末時点)	○相談窓口（8 サポ desk） ※R6.7 月～R7.4 月の実績 ・新規相談者数：96 人 ・相談件数：314 件 ・創業者数：44 人 ・事業承継成立件数：5 件 ・創業セミナー「初めて人を雇うときの雇用契約と社会保険のこと」開催（令和 6 年 8 月）→参加者数：26 名	
	○起業支援プラットフォーム（8 サポ meets） ・コミュニティの運営 <R6 年度（R7.3 月末時点）>	
	コミュニティ名	参加者数
	学生起業チャレンジコミュニティ	14 人
	スモールビジネスコミュニティ	11 人
	新ビジネス創出コミュニティ	18 人
	<R7 年度（R7.4 月末時点）>	
	コミュニティ名	参加者数
	学生起業チャレンジコミュニティ	2 人
	スモールビジネスコミュニティ	6 人
	創業者ステップアップコミュニティ	18 人
	・コミュニティ合同交流会開催（令和 6 年 9 月） →参加者数：15 名 ・コミュニティ活動報告会開催（令和 7 年 3 月） →参加者数：48 名	
	R6 年度決算額 26,617 千円 R7 年度予算額 29,024 千円	

事業2：【新規】新規会社設立補助事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、市内において新規に会社設立を行う事業者に対し、会社設立に係る登録免許税等の経費の一部を補助する。
担当課	商工課
取組詳細	○会社設立にかかる登録免許税等の経費の一部を補助 ①株式会社を設立する場合 ・登録免許税 75,000 円 ・定款認証手数料 30,000 円 ※令和5年度より補助対象経費拡充 ②合名・合資・合同会社を設立する場合 ・登録免許税 30,000 円



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・補助金交付要領制定（令和4年4月） →交付決定：合同会社 1件／30,000 円 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 900 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	<R4 年度（R4.8月～R5.3月）> ・交付決定：株式会社 3件／225,000 円 <R5 年度（R5.4月～R5.7月）> ・補助金交付要領制定（令和5年4月） ・交付決定：株式会社 1件／105,000 円 R4 年度決算額 255 千円 R5 年度予算額 975 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	<R5 年度（R5.8月～R6.3月）> ・交付決定：合同会社 1件／30,000 円 - 株式会社 8件／840,000 円 計 9 件／870,000 円 <R6 年度（R6.4月～R6.7月）> ・補助金交付要領制定（令和6年5月） ・交付決定：合同会社 3件／90,000 円 - 株式会社 4件／420,000 円 計 7 件／510,000 円 R5 年度決算額 975 千円 R6 年度予算額 900 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	<R6 年度（R6.8月～R7.3月）> ・補助金交付要領制定（令和6年5月） ・交付決定：合同会社 3件／90,000 円 - 株式会社 6件／615,000 円 計 9 件／705,000 円 <R7 年度（R7.4月～R7.5月）> ・補助金交付要領制定（令和7年4月） ・交付実績なし R6 年度決算額 1,215 千円 R7 年度予算額 1,350 千円

政策 3	持続可能なより良い社会の実現
------	----------------

重点施策 3-1

SDGs（持続可能な開発目標）に対する市民の理解と取り組みを推進するために、教育機関・企業・関係団体等への情報発信や啓発活動を行います。

事業 1：【新規】SDGs 情報発信・啓発事業

事業内容	市全体において SDGs 推進の意識の醸成を図るため、市職員向け研修や市民向け講演会を開催するとともに、市内企業等が取り組む SDGs に関する取組の情報を発信する。
担当課	政策推進課
取組詳細	○SDGs 研修（職員向け）の実施 ○SDGs 講演会（市民向け）の開催 ○SDGs に関する情報発信 ○高等教育機関との連携 ○SDGs 未来都市への応募の検討、検討結果に基づいた対応



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	・第 7 次総合計画に、施策との関連が深い SDGs のゴールのアイコンを掲載 ・八戸青年会議所と SDGs 普及啓発に関する協定を締結（令和 4 年 6 月） ・八戸市民大学講座「今後どうする？私たちの暮らし～SDGs と消費生活～」開催（令和 4 年 6 月）→受講者数：204 人／講演の満足度：89% ※受講者へのアンケートにおける「非常に満足」「満足」の合計 ・広報はちのへに SDGs の取組を紹介する連載記事を掲載（令和 4 年度から） R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 2,076 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	・合同会社 8 と連携した SDGs パネルディスカッションの開催（令和 4 年 8 月） ・株式会社青森テレビと SDGs 普及啓発に関する協定を締結（令和 4 年 9 月） ・市職員が講師を務める出前講座実施 （1 回目 令和 4 年 9 月八戸市立第一中学校 3 年生・教員、2 回目 令和 5 年 1 月市内児童館館長・職員） ・第 1 回 SDGs セミナー「笑って学ぶ SDGs」開催（令和 4 年 12 月） →講師 笑下村塾 代表 たかまつ なな氏 →受講者数：70 人／講演の満足度：100% ※受講者アンケートにおける「非常に満足」「満足」の合計 ・職員向け SDGs 研修会の開催（令和 5 年 2 月） →受講者数：70 人 R4 年度決算額 1,394 千円 R5 年度予算額 2,300 千円

	3 年目 (R6.7 月 末時点)	・第2回 SDGs セミナー「さかなクンと学ぶ SDGs」開催（令和5年12月） →講師 さかなクン（国立大学法人東京海洋大学 名誉博士/客員教授） →受講者数：300 人／講演の満足度：98％／SDGs への関心度が増した割合：92％ ・青年会議所との合同による職員向け SDGs 研修会の開催（令和6年1月） →講師：神田 純代 氏（三承工業株式会社 ダイバーシティ推進室 SDGs 担当） →受講者数：45 人（市職員：27 名 青年会議所会員：18 名） R5 年度決算額 2,091 千円 R6 年度予算額 1,949 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	・第3回 SDGs セミナー「SDGs を学べるエコサイエンスステージ」開催（令和6年12月） →講師 らんま先生（環境省認定 環境カウンセラー・環境パフォーマー） →受講者数：142 人／講演の満足度：96％／SDGs への関心度が増した割合：97％ ・職員向け SDGs 研修会の開催（令和6年11月） →受講者数：58 人 ・市職員が SDGs 公認ファシリテーター資格を取得（R7.5） 【R7 年度の取組】 ・SDGs 未来都市への申請に向け他都市の状況を調査 ・公認ファシリテーターによる研修会の開催 R6 年度決算額 923 千円 R7 年度予算額 452 千円

重点施策 3-2

再生可能エネルギーの導入など、脱炭素化への取り組みを通じて、経済・社会・環境のバランスの取れた、グリーン・循環型社会の実現を目指します。

事業 1： 【新規】脱炭素化推進事業

事業内容	脱炭素化の推進に関する普及啓発を図るため、環境に配慮した事業に取り組む企業を視察する見学会や出前講座、省エネルギーに関するセミナーを開催するとともに、全庁的に脱炭素化に取り組むため、庁内検討会を実施する。
担当課	環境政策課
取組詳細	○全庁的に脱炭素化に取り組むための庁内検討会を設置・運営 ○環境に配慮した事業に取り組む企業への見学会や環境出前講座、省エネセミナー等の開催 ○各種計画の策定。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月末時点)	・ 八戸市グリーン社会推進プロジェクト庁内検討会を設置・開催（令和 4 年 6 月） R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 137 千円
	2 年目 (R5. 7 月末時点)	・ 八戸市グリーン社会推進プロジェクト庁内検討会を開催（令和 4 年 8 月・10 月） ・ 環境出前講座を開催（令和 4 年 11 月・参加者 9 名） ・ 公共施設における再エネ設備の導入や国の補助事業実施の可能性等について検討中 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 132 千円
	3 年目 (R6. 7 月末時点)	・ 八戸市グリーン社会推進プロジェクト庁内検討会を開催（令和 5 年 9 月・令和 5 年 12 月・令和 6 年 3 月） ・ エコツアーを開催（令和 5 年 10 月）※東北経済産業局との共催 ・ 省エネ普及啓発イベントを開催（令和 5 年 9 月）※青森県との連携事業 ・ 市民向け省エネルギーセミナーを開催（令和 6 年 2 月） ・ 第 3 次八戸市環境基本計画を策定（令和 5 年 9 月） ・ 第 2 次八戸市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定（令和 5 年 9 月） ・ 環境出前講座を開催（令和 6 年 6 月・2 回開催・参加者 116 名） ・ 市民向け省エネルギーセミナーを開催予定（令和 6 年 8 月） R5 年度決算額 132 千円 R6 年度予算額 247 千円
	4 年目 (R7. 5 月末時点)	・ 八戸市グリーン社会推進プロジェクト庁内検討会を開催（令和 6 年 8 月・令和 7 年 3 月） ・ 市民向け省エネルギーセミナーを開催（令和 6 年 8 月） ・ エコツアーを開催（令和 6 年 11 月） ※令和 7 年度より重点施策 3-2 事業 2「地球温暖化対策理解促進事業」に統合し事業継続 R6 年度決算額 44 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業2：【新規】地球温暖化対策理解促進事業

事業内容	二酸化炭素の排出削減に関する理解促進を図るため、八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会と連携し市内企業との意見交換を実施するとともに、中小企業を対象とした省エネ相談会等を実施する。
担当課	環境政策課
取組詳細	○八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会との連携による市内企業との意見交換を実施 ○中小企業向け省エネ相談会等を開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会にオブザーバーとして参画 設立総会及び令和4年度第1回協議会出席（令和4年4月） R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会にオブザーバーとして参画 令和4年度第2回協議会出席（令和4年11月） 令和5年度総会及び第1回協議会出席（令和5年5月） ・八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会事務局との意見交換 （令和4年10月、令和5年4月に実施） R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 156 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会にオブザーバーとして参画 令和6年度総会及び第1回協議会出席（令和6年4月） 協議会オブザーバーとの意見交換（令和6年5月） ・八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会事務局との意見交換 （令和5年8月、9月に実施） ・中小企業向け省エネルギーセミナーを開催（令和6年2月） ・中小企業者等省エネルギー診断支援を実施（令和6年1月～3月） R5 年度決算額 1,910 千円 R6 年度予算額 218 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会にオブザーバーとして参画 令和6年度第2回協議会出席（令和6年11月） 協議会主催先進地視察(苫小牧市)参加（令和6年12月） ・中小企業向け省エネルギーセミナーを開催（令和7年2月） ・中小企業向け省エネルギーセミナーを開催予定（令和7年6月・7月・10月） ・気候変動ゼミを開催予定（令和7年7月、9月、11月） ・環境出前講座を開催予定（令和7年8月） ・脱炭素まちづくりカレッジを開催予定（令和7年8月） ・市民向け省エネルギーセミナーを開催予定（令和7年8月、12月） ・エコツアーを開催予定（令和7年9月、令和8年1月） R6 年度決算額 195 千円 R7 年度予算額 968 千円

事業3：【新規】省エネ設備導入等促進事業

事業内容	エネルギー価格高騰の影響を受ける家庭及び中小企業等のエネルギー費用の負担軽減を図るため、住宅や事業所への再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入に要する費用について補助金を交付する。
担当課	環境政策課
取組詳細	○市内の住宅又は事業所に設置する高効率空調機器の導入、及び既存住宅における高断熱窓への改修、並びに事業所における省エネ診断の受診に要する費用の一部を補助（R7 実施）



各期間の取組実績・成果

1 年目 (R4.7 月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円																														
2 年目 (R5.7 月 末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円																														
3 年目 (R6.7 月 末時点)	・太陽光発電設備及び蓄電池並びに高効率空調機器の購入・設置に要する費用を補助 ・令和 6 年 6 月から申請受付を開始 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 66,330 千円																														
4 年目 (R7.5 月 末時点)	・太陽光発電設備及び蓄電池並びに高効率空調機器の購入・設置に要する費用を補助 ・受付期間：令和 6 年 6 月 3 日～8 月 26 日 【令和 6 年度実績】 <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="3">交付件数（件）・金額（千円）</th></tr><tr><th>住宅(個人)</th><th>事業所</th><th>計</th></tr><tr><td rowspan="2">太陽光発電設備・蓄電池</td><td>51 件</td><td>2 件</td><td>53 件</td></tr><tr><td>35,777 千円</td><td>2,327 千円</td><td>38,104 千円</td></tr><tr><td rowspan="2">高効率空調機器</td><td>333 件</td><td>36 件</td><td>369 件</td></tr><tr><td>16,645 千円</td><td>7,049 千円</td><td>23,694 千円</td></tr><tr><td rowspan="2">合計</td><td>384 件</td><td>38 件</td><td>422 件</td></tr><tr><td>52,422 千円</td><td>9,376 千円</td><td>61,798 千円</td></tr></table> (再エネ・省エネ設備導入促進事業(R6 実施)から事業名変更(令和 7 年 4 月～) ・令和 7 年 6 月から、取組詳細記載の補助事業について、申請受付を開始予定 R6 年度決算額 63,120 千円 R7 年度予算額 47,600 千円			区分	交付件数（件）・金額（千円）			住宅(個人)	事業所	計	太陽光発電設備・蓄電池	51 件	2 件	53 件	35,777 千円	2,327 千円	38,104 千円	高効率空調機器	333 件	36 件	369 件	16,645 千円	7,049 千円	23,694 千円	合計	384 件	38 件	422 件	52,422 千円	9,376 千円	61,798 千円
区分	交付件数（件）・金額（千円）																														
	住宅(個人)	事業所	計																												
太陽光発電設備・蓄電池	51 件	2 件	53 件																												
	35,777 千円	2,327 千円	38,104 千円																												
高効率空調機器	333 件	36 件	369 件																												
	16,645 千円	7,049 千円	23,694 千円																												
合計	384 件	38 件	422 件																												
	52,422 千円	9,376 千円	61,798 千円																												

事業4：【新規】八戸市宅配ボックス設置補助金事業

事業内容	燃料価格高騰の影響を受ける物流事業者の負担を軽減するとともに、物流業界の人手不足が懸念される「2024 年問題」への対策として、留守中の宅配物の受取を可能とする宅配ボックスの設置に要する費用に補助金を交付する。
担当課	政策推進課
取組詳細	○宅配ボックス設置補助金の交付 宅配ボックス本体、付属品（鍵・盗難防止ワイヤー等）の購入及び設置に要する費用 【戸建住宅】 ・補助対象者：所有または居住する八戸市内の戸建住宅に宅配ボックスを設置する者 ・補助対象額：補助対象経費の3分の1（上限3万円） 【集合住宅】 ・補助対象者：所有または管理する八戸市内の集合住宅に宅配ボックスを設置する者 ・補助対象額：補助対象経費の3分の1（上限30万円）



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	【戸建住宅】 件数：137 件 交付額：1,609,000 円 【集合住宅】 件数：45 件 交付額：4,242,000 円 【合計】 件数：182 件 交付額：5,851,000 円 3 年目（令和6年3月）で一切の事務が完結したため、事業完了 R5 年度決算額 5,851 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	R6 年度決算額 千円 R7 年度予算額 千円

事業5：【新規】次世代エネルギー導入推進事業

事業内容	産業都市八戸の更なる発展と 2050 年カーボンニュートラルを両立するための取組として、温室効果ガスの排出削減に寄与する燃料である水素、アンモニア、合成メタン等の次世代エネルギーの地域への早期導入を目指し、次世代エネルギー導入推進室を新たに設置するとともに、中長期的ビジョンの策定を進めるもの。
担当課	次世代エネルギー導入推進室
取組詳細	▶ 地域企業へのヒアリング ▶ 先進地視察 ▶ 地域企業向け勉強会、市民向け普及啓発イベント等の実施 ▶ 次世代エネルギー導入に向けたビジョン（仮）の策定



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	R5 年度決算額 千円 R6 年度予算額 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	▶ 次世代エネルギー導入推進室設置 ▶ 福島県への先進地視察実施（5/12～5/13） ▶ 企業及び業界団体へのヒアリング実施 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 4,069 千円

事業 6： 【新規】 ゼロカーボンオフィス推進事業

事業内容	温室効果ガス排出量の削減による地球温暖化対策及びエネルギー費用の削減による将来的な財政負担の低減を目的として、公共施設における脱炭素化を推進する。
担当課	環境政策課
取組詳細	・ 公共施設 LED 照明器具導入に係る ESCO 事業可能性等調査 公共施設への LED 照明器具の導入に向けて実態調査を実施するとともに、段階的に導入。 ・ 公共施設太陽光発電設備導入可能性調査 公共施設及び公共用地への太陽光発電設備の導入に向けて導入可能性調査を実施。 ・ 既存公共施設の ZEB 化及び再エネ導入等に係る検討



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	R5 年度決算額 千円 R6 年度予算額 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	・ 公共施設 LED 照明器具導入に係る ESCO 事業可能性等調査を実施中（令和 7 年 5 月～9 月予定） ・ 公共施設太陽光発電設備導入可能性調査を実施予定（令和 7 年 8 月～令和 8 年 1 月予定） ・ 公共施設の ZEB 化及び再エネ導入等に係る先進地視察を実施予定（時期未定） R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 23,842 千円

重点施策 3-3

行政・市民生活のデジタル化を加速させ、効率的かつ安全・安心な行政サービスを提供するために、民間人材の登用も視野にデジタル推進室を設置します。

事業 1：【新規】行政のデジタル化体制強化事業

事業内容	行政のデジタル化を推進し、市民生活にも積極的に普及させるため、庁内に新たにデジタル推進部署を設置する。
担当課	人事課、情報政策課
取組詳細	○「デジタル推進室」を新設 ○八戸市デジタル推進計画の策定 ○デジタル推進専門員の配置 ○デジタル化に関する職員向け研修会を実施 ○はちのへ IT フォーラム等の開催 ○八戸市統合スマートフォン用アプリの導入 ○市庁舎や公共施設窓口におけるキャッシュレス決済の導入 ○本庁舎等におけるフリーWi-Fi エリアの拡大 ○行政手続きオンライン化の活用推進 ○RPA、AI-OCR 活用による業務効率化の推進



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	○行政管理課内に「デジタル推進室」を新設（令和 4 年 4 月） 人員体制：6 人（うち兼務職員 2 人） ○デジタル推進室における取組 ・八戸市デジタル推進本部、庁内連絡会議を設置・運営（令和 4 年 5 月～） ・デジタル推進計画策定に向けた基本方針を策定（令和 4 年 7 月） R3 年度決算額 2,389 千円 R4 年度予算額 35,464 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	○デジタル技術に関する専門的な知見を有する「情報システム調整監（課長級）」を新設 ○情報政策課内に「デジタル推進室」を移管（令和 5 年 4 月） 人員体制：8 人 ○デジタル推進室における取組 ・デジタル推進計画の策定（令和 5 年 2 月） ・デジタル推進専門員の配置（令和 4 年 10 月） ・デジタル化に関する職員向け研修会を実施（令和 4 年度延べ 160 名参加、令和 5 年度 26 名参加） ・行政手続きオンライン化の活用推進（県電子申請システム 11 手続、マイナポータル 33 手続） ・RPA、AI-OCR 活用による業務効率化の推進（6 課 6 業務） R4 年度決算額 28,250 千円 R5 年度予算額 84,604 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	○デジタル推進室における取組 ・はちのへ IT フォーラム等の開催（令和5年10月開催：223名参加 ・八戸市統合スマートフォン用アプリの導入（令和5年10月完了） ・市庁舎や公共施設窓口におけるキャッシュレス決済の導入（令和6年3月完了） ・本庁舎等におけるフリーWi-Fiエリアの拡大（令和6年2月完了） ・デジタル化に関する職員向け研修会を実施（令和6年9月実施、28名参加） ・行政手続きオンライン化の活用推進（県電子申請システム11手続、マイナポータル33手続） ・RPA、AI-OCR活用による業務効率化の推進（9課14業務） R5 年度決算額 62,017 千円 R6 年度予算額 18,994 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	○デジタル推進室における取組 ・はちのへ IT フォーラム等の開催（令和6年11月開催：205名参加、令和7年は9月開催予定） ・ワークショップの開催（令和6年9月～令和7年2月、中心街等を会場に4回開催、累計126名参加） ・行政手続きオンライン化の活用推進（県電子申請システム11手続、マイナポータル36手続） ・RPA、AI-OCR活用による業務効率化の推進（9課14業務） R6 年度決算額 18,645 千円 R7 年度予算額 21,177 千円

事業2：【新規】八戸市窓口業務改革事業

事業内容	住民利便性と業務効率化を図るため、書かない・待たない・行かない窓口サービスの導入や、申請手続きの約40%をデジタル化する。
担当課	情報政策課
取組詳細	○書かない・待たない・行かない窓口サービスの導入 ○市役所における申請手続きの約40%をデジタル化 ○各サービスセンター・事務所（計11カ所）にも本庁と同様のサービスを導入 ○年間約16,600時間・30,000千円のコスト削減 ○システム操作ログを活用したデータ分析とその見える化 ○窓口業務改革の検討とバックヤード業務の効率化・集約化 ○八戸市庁舎レイアウト最適化基本計画を策定 ○業務効率化と市民の利便性の向上を包括的に推進



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○庁内体制の整備 ・窓口業務改革プロジェクト会議の設置（旧窓口業務改革ワーキンググループ会議、若手デジタルイノベーションチーム等で組織） ・下部組織として業務毎のプロジェクトチームを編成（各課担当で構成、全7PT、17課、66名） ○プロジェクト会議の開催 ・窓口業務改革プロジェクト会議は3回、プロジェクトチーム会議は累計で7回実施 ○プロジェクトチームによる窓口DX先進地視察の実施 ○書かない・待たない・行かない窓口サービスの開始（令和6年11月） R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 99,824 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	○プロジェクト会議の開催 ・窓口業務改革プロジェクト会議（2回）及び各プロジェクトチーム会議実施 ○庁舎レイアウト最適化に向けた基本計画の策定 ○書かない・待たない・行かない窓口サービスの開始に伴う業務の実施 ・システム操作ログを活用したデータ分析やダッシュボードの作成 ・本館1階窓口案内係・おくやみコーナー等業務委託の実施 R6 年度決算額 98,708 千円 R7 年度予算額 16,602 千円

政策 4	スポーツ＆文化で地域と経済の活性化
------	-------------------

重点施策 4-1

スポーツを通じた人材の育成、健康寿命の延伸、スポーツ産業の振興による地域の活性化に向けて、「スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」を立ち上げます。

事業 1： 【新規】 八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進事業

事業内容	スポーツのもつ価値を活かしたまちづくりを推進するため、八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会を新たに設置し、八戸市スポーツ推進計画における事業進捗等の外部評価を行う。
担当課	スポーツ振興課
取組詳細	○八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会の設置・運営 ○スポーツの実施状況に関するアンケート調査 ○八戸市スポーツ推進計画進行管理報告書作成 ○八戸市スポーツ推進計画の見直しや改定等についての検討



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月末時点)	・スポーツの実施状況に関するアンケート調査実施(令和 4 年 3 月 22 日～4 月 27 日) →回答数：市民 284 人 ・八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会開催 →令和 4 年 5 月 24 日開催 →委嘱状交付、八戸市スポーツ推進計画の進捗状況等について審議 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 88 千円
	2 年目 (R5. 7 月末時点)	・スポーツの実施状況に関するアンケート調査実施(令和 5 年 3 月 22 日～4 月 21 日) →回答数：市民 184 人 ・八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会開催 →第 1 回協議会 八戸市スポーツ推進計画改定骨子(案)について(審議) 八戸市スポーツ推進計画の進捗状況等について(審議) →第 2 回協議会 八戸市スポーツ推進計画の改定(案)について(諮問・審議) R4 年度決算額 79 千円 R5 年度予算額 355 千円
	3 年目 (R6. 7 月末時点)	・スポーツ推進計画改定(案)へのパブリックコメント実施 (令和 5 年 7 月 21 日～8 月 25 日) → 意見なし ・八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会開催 →第 3 回協議会 八戸市スポーツ推進計画の改定(案)について(審議) →第 4 回協議会 八戸市スポーツ推進計画の改定(案)について(審議・答申) ・八戸市スポーツ推進計画の改定(令和 6 年 3 月) ・スポーツ活動に関するアンケート調査実施(令和 6 年 5 月 20 日～6 月 30 日) →回答数：市民 259 人 R5 年度決算額 229 千円 R6 年度予算額 702 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	・ 八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会開催 →第 1 回協議会 第 2 期委嘱状交付 - 八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について（審議） - スポーツ活動に関する市民アンケートの結果について（審議） - 八戸市体育施設整備に関する基本方針の改定について（審議） →第 2 回協議会 八戸市体育施設整備に関する基本方針の改定案について（諮問・審議） →第 3 回協議会 八戸市体育施設整備に関する基本方針の改定案について（審議） →第 4 回協議会 八戸市体育施設整備に関する基本方針の改定案について（答申） ・ 八戸市体育施設整備に関する基本方針の策定（令和 7 年 2 月） R6 年度決算額 416 千円 R7 年度予算額 235 千円
--	-------------------------	--

重点施策 4-2

八戸市体育館の建て替え構想に際し、従来のスポーツ競技や観戦のほか、避難所・各種コンベンションの開催など多目的利用が可能な施設を検討します。

事業1：新体育館整備事業

事業内容	スポーツのもつ価値を活かしたまちづくりを推進するため、スポーツ振興の拠点となる新たな八戸市体育館を整備するもの。
担当課	スポーツ振興課
取組詳細	○八戸市体育施設整備検討委員会の開催 ○八戸市体育館の建て替えに関する基本構想の策定 ○八戸市体育館の建て替えに関する基本計画の策定及び事業手法検討調査を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・八戸市体育施設整備検討委員会開催 →7月末現在：5回開催(全7回予定) →委嘱状交付、基本構想(案)等について審議 ・八戸市体育館の建て替えに関する基本構想(案)に対するパブリックコメント実施 (令和4年7月21日～8月31日) R3 年度決算額 255 千円 R4 年度予算額 352 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・八戸市体育施設整備検討委員会開催 →7月末現在：2回開催(1年目と併せて全7回完了、基本構想について答申) ・八戸市体育館の建て替えに関する基本構想策定(令和4年11月) ・八戸市体育館の建て替えに関する基本計画策定及び事業手法検討調査業務委託 →令和5年度内に基本計画策定予定 R4 年度決算額 352 千円 R5 年度予算額 26,335 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・八戸市体育館の建て替えに関する基本計画策定及び事業手法検討調査業務委託 → 委託期間：令和5年8月19日～令和6年2月22日 ・八戸市体育施設整備検討委員会開催 →第1回 八戸市体育館の建て替えに関する基本計画(案)について(審議) →第2回 八戸市体育館の建て替えに関する基本計画(案)について(諮問・審議) →第3回 八戸市体育館の建て替えに関する基本計画(案)について(審議) →第4回 八戸市体育館の建て替えに関する基本計画(案)について(審議・答申) ・八戸市体育館の建て替えに関する基本計画(案)へのパブリックコメント実施 (令和5年11月21日～12月22日) → 意見5件 ・八戸市体育館の建て替えに関する基本計画策定(令和6年2月) R5 年度決算額 26,294 千円 R6 年度予算額 13,706 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	・ 八戸市体育館の建て替えに関する事業者選定支援業務委託 → 委託期間：令和 6 年 11 月 7 日～令和 7 年 6 月 30 日 ・ 新八戸市体育館整備等事業 実施方針(案)公表（令和 7 年 3 月 28 日） ・ 新八戸市体育館整備等事業 要求水準書(案)公表（令和 7 年 4 月 11 日） ・ 実施方針(案)等に関する民間事業者への説明会実施（令和 7 年 4 月 30 日） R6 年度決算額 10,008 千円 R7 年度予算額 33,918 千円
--	-------------------------	--

重点施策 4-3

「北東北のコンベンションシティ八戸」を掲げ、イベントや会議などの誘致を積極的に進めると共に、八戸市の魅力を発信し経済波及効果を創出します。

事業1：VISIT はちのへ活動支援事業（再掲）

事業内容	観光物産振興を図るため、八戸圏域版DMO「（一財）VISIT はちのへ」が取り組む各種事業を支援する。
担当課	観光課
取組詳細	○（一財）VISIT はちのへが取り組む各種事業に補助金を交付 ・「食のまち・八戸」プロモーション事業 ・圏域物産紹介販売推進事業 ・物産展・商品見本市・商談会事業 ・MICE（会議・コンベンション等誘致）事業 ・誘客推進事業 ・物産振興事業 ・情報発信事業



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点) ○令和3年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 119,719,194 円（令和4年5月18日） ○令和4年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 140,531,000 円（令和4年5月27日） ・「食のまち・八戸」関連事業分 令和3年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 3,120,987 円 ・「MICE」実績 令和3年度 MICE 誘致実績（八戸市小規模 MICE 補助金交付実績） 3 件（金額 392,000 円） ・「情報発信」事業実績 令和3年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 19,243,442 円 取組内容：デジタルマーケティング事業、SNS・HP 関連事業、広報戦略プロモーション事業 R3 年度決算額 119,719 千円 R4 年度予算額 180,000 千円
-------------	---

	2 年目 (R5.7月 末時点)	○令和 4 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 126,505,498 円 (令和 5 年 5 月 18 日) ○令和 5 年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 185,000,000 円 (令和 5 年 5 月 26 日) ・「食のまち・八戸」関連事業分 令和 4 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 8,909,868 円 ※VISIT はちのへでは、令和 4 年から令和 7 年度の 4 か年事業として「食のまち八戸プロモーション事業」に取り組むもので、令和 4 年度は試食イベントやアンケート調査による需要分析を実施し、その結果を基に令和 5 年度以降は販路拡大のための販売促進活動を実施する予定。 ・「MICE」実績 令和 4 年度 MICE 誘致実績 (八戸市小規模 MICE 補助金交付実績) 6 件 (金額 882,000 円) ・MICE プロモーション ①令和 4 年度東北地区 MICE 誘致商談会 (主催：東北地区コンベンション推進協議会) 参加。 ②第 32 回国際 MICE エキスポ IME2023 (主催：一般社団法人日本コンGRES・コンベンション・ビューロー) に青森県ブースとして参加。 ・「情報発信」事業実績 令和 4 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 17,029,304 円 取組内容：デジタルマーケティング事業、SNS・HP 関連事業、広報戦略プロモーション事業 R4 年度決算額 126,506 千円 R5 年度予算額 185,000 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	○令和 5 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 175,090,471 円 (令和 6 年 5 月 15 日) ○令和 6 年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 180,300,000 円 (令和 6 年 5 月 27 日) ・「食のまち・八戸」関連事業分 令和 5 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 11,881,270 円 ※VISIT はちのへでは、令和 4 年から令和 7 年度の 4 か年事業として「食のまち八戸プロモーション事業」に取り組むもので、令和 4 年度は試食イベントやアンケート調査による需要分析を実施し、令和 5 年度は地域文化として根付いた食べ方に焦点をあてた PR を実施。 ①現地見分、②提供メニュー検討、③期間限定メニュー提供、④座談会等の実施 ・「MICE」実績 令和 5 年度 MICE 誘致実績 (八戸市小規模 MICE 補助金交付実績) 6 件 (金額 789,000 円) ・「情報発信」事業実績 令和 5 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 17,547,503 円 取組内容：デジタルマーケティング事業、SNS・HP 関連事業、 広報戦略プロモーション事業 R5 年度決算額 175,091 千円 R6 年度予算額 180,300 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○令和 6 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 174,463,310 円 (令和 7 年 5 月 21 日) ○令和 7 年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 175,300,000 円 (令和 7 年 5 月 21 日) ・「食のまち・八戸」関連事業分 令和 6 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 11,716,931 円 ※VISIT はちのへでは、令和 4 年から令和 7 年度の 4 か年事業として「食のまち八戸プロモーション事業」に取り組むもので、令和 6 年度は首都圏の旅行会社・メディアを招請しての FAM トリップや都内飲食店と連携したプロモーションを実施し、首都圏等での八戸エリアの認知度の向上を図った。 ①旅行会社を招請しての現地視察会、②東京・八戸グルメスタンプラリー ③「うまい森青いもりin弘前への出展、④メディアツアー実施 ・「MICE」実績 令和 6 年度 MICE 誘致実績 (八戸市小規模 MICE 補助金交付実績) 7 件 (金額 1,413,000 円) ・「情報発信」事業実績 令和 6 年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 14,594,234 円 取組内容：デジタルマーケティング事業、SNS・HP 関連事業、 広報戦略プロモーション事業 R6 年度決算額 174,464 千円 R7 年度予算額 175,300 千円
--	-------------------------	--

事業2：【新規】全国都市問題会議開催事業

事業内容	自治体関係者と学者、研究者が一堂に会し、理論と実際の両面から、都市問題、地方自治について討議するため、第85回全国都市問題会議を八戸で開催する。
担当課	政策推進課
取組詳細	○第85回全国都市問題会議運営委員会の事務及び予算管理 ○第85回全国都市問題会議の運営、資料作成、参加者管理 ○第85回全国都市問題会議おもてなし企画の実施 ○行政視察の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○第85回全国都市問題会議運営委員会の事務及び予算管理 ○会議案内書作成 ○おもてなし企画立案 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 26,467 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	第85回全国都市問題会議 開催日時：令和5年10月12日（木） 9：30～16：30 令和5年10月13日（金） 9：30～12：00 場 所：八戸市公会堂、公会堂文化ホール テ マ：「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」 参 加 者：会議参加者：約1,800人 行政視察参加者：185人（10月13日(金)午後）（6コース） <<内容>> 第1日目：基調講演、主報告、一般報告 第2日目：パネルディスカッション、行政視察（希望者のみ） 3年目（令和6年3月）で一歳の事務が完結したため、事業完了 R5 年度決算額 19,234 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	R6 年度決算額 千円 R7 年度予算額 千円

事業３：【新規】全国朝市サミット開催支援事業

事業内容	朝市間の交流を促進するとともに朝市の活性化と地域振興を図るため、全国朝市サミットを八戸で開催し、その開催に係る費用を支援する。
担当課	観光課
取組詳細	○開催に係る費用を支援する。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	・補助金交付要領制定（令和 6 年 4 月） →交付決定：1,000,000 円（令和 6 年 5 月） R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 1,000 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	4 年目（令和 7 年 3 月）で一切の業務が完結したため、事業完了 R6 年度決算額 1,000 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業4：スピードスケート国際大会誘致事業

事業内容	日本スケート連盟、青森県スケート連盟等と連携し、スピードスケート国際大会に関する情報収集に努め、国際大会の誘致活動を行う。
担当課	長根屋内スケート場
取組詳細	○他都市開催されているスピードスケート国際大会を視察し情報収集を行う。 ○日本スケート連盟に対し、当施設でのスピードスケート国際大会開催に関する要望を実施する



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・R4年5月 日本スケート連盟を訪問。 R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 1,194千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・R5年2月 世界ジュニアスピードスケート選手権大会（ドイツ）を視察 ・R5年4月 四大陸スピードスケート選手権大会の八戸市開催が内定。 ・R5年5月 日本スケート連盟を訪問 R4年度決算額 1,194千円 R5年度予算額 450千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・R5年11月 2023/24 ワールドカップ帯広大会を視察 ・R6年2月 2023/24 ジュニアワールドカップスピードスケート競技大会を開催 2024 世界ジュニアスピードスケート選手権大会を開催 ・R6年3月 日本スケート連盟を訪問 ・R6年7月 2025 四大陸スピードスケート選手権大会組織委員会(web会議)へ出席 R5年度決算額 26,224千円 R6年度予算額 447千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・R6年8月 2025 四大陸スピードスケート選手権大会実行委員会(web会議)へ出席 ・R6年11月 2025 四大陸スピードスケート選手権大会を開催 2024/25 ワールドカップスピードスケート競技大会長野大会を視察 R6年度決算額 10,248千円 R7年度予算額 349千円

重点施策 4-4

中心市街地において、商業機能や公共施設と文化事業(美術・文学・演劇・音楽)との連携によるエリアマネジメントに取り組み、市民のコミュニティ豊かな魅力ある街づくりを目指します。

事業1: 【新規】文化事業と商業機能との連携事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、中心市街地における文化・スポーツ施設が提供するプログラムを通じた交流人口の増加や中心商店街へ回遊する仕掛けづくりに取り組む。
担当課	八戸市美術館 八戸ポータルミュージアム 八戸ブックセンター 文化創造推進課
取組詳細	○八戸市美術館のイベントに関連した取組の実施(八戸市美術館) ○「酔っ払いに愛を〜横丁オンリーユーシアター〜」の開催(八戸ポータルミュージアム) ○八戸ブックセンター企画事業(八戸ブックセンター) ○更上閣ガーデンレストラン事業の実施(文化創造推進課)



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・「まるごと馬場のぼる展」に関連した取組の実施(令和4年7月〜)※美術館 ①中心商店街での「まるごと馬場のぼる展」フラッグ掲出 計18本 ②回遊マップの作成・配布(各店舗において、美術館のシールチケット提示による割引サービスや、展覧会関連グッズの販売等を実施) 15,000枚作成 / 配付先:参加店舗(市中心街38店舗、三戸町8店舗) ③回遊マップを活用した、まち歩きイベントの開催(令和4年8月11日) 参加者:7名 ・八戸ブックセンター企画事業 ※ブックセンター ① パワープッシュ作家「山のふもとのブレイクタイム」「柊先生の小さなキッチン〜雨のち晴れの林檎コンポート〜」刊行記念関連企画(令和3年12月12日) 再現料理の販売:7店舗(はっち館内テナント、中心街飲食店)(会場:はっちひろば) トークイベント参加者:18名(会場:はっちひろば) ② 新春記念「暁斎と蕭白」W屏風特別公開(帆風美術館〜デジタル光筆画で見る屏風の世界〜)(令和3年12月24日〜27日、令和4年1月2日〜24日) (会場:八戸ブックセンター)※令和3、4年成人式の撮影スポットとして設置 ③ アカデミックトーク「北村益の演武映像と北村小松」(令和4年4月23日) 参加者:26名(会場:はっちシアター2) ④ パワープッシュ作家「羊毛フェルトの比重」刊行記念イベント(令和4年6月5日) 参加者:第1部(ワークショップ)8名、第2部(トークイベント)13名 (会場:カフェ&バー「パトリ」(六日町いわとくパルコ本館4階)) R3 年度決算額 3,349 千円 (ブックセンター 3,349) R4 年度予算額 6,765 千円 (美術館 395・ブックセンター 6,370)
-------------	-------------------	--

	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	・「美しいHUG！」展に関連した取り組みの実施 ※美術館 陶芸家・美術館のきむらとしろうじんじんが、八戸で野点を行うプロジェクト、「きむらとしろうじんじん野点 in 八戸」の開催にあたり、スタッフとして参加するボランティアや興味がある方がじんじんさんと一緒に野点開催地探す「おさんぽ会」を、令和 5 年 6 月 9 日（土）、6 月 10 日（日）、7 月 16 日（日）7 月 17 に中心街で実施。 ・横丁の路地やお店を会場としたパフォーマンスを行う「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター2022～」を令和 4 年 10 月 8 日と 10 月 9 日に開催 ※はっち 主催：酔っ払いに愛を実行委員会 場所：中心街の 7 会場（屋外 1 会場含む）で出演アーティスト 7 組による公演を実施（来場者数 481 名） ・八戸ブックセンター事業 ※ブックセンター ①「いつもだれかが見ている」刊行記念展示「見えるものとかたるもの」 ・物語・写真展（令和 4 年 8 月 3 日～29 日）（会場：美術館） ・トークイベント 参加者 9 名（令和 4 年 8 月 3 日）（会場：美術館） ・ワークショップ 参加者 9 名（令和 4 年 8 月 6 日）（会場：美術館） ②パワープッシュ作家・呉勝浩 ・トークイベント 参加者 80 名（令和 4 年 9 月 11 日）（会場：はっち） ③本のまち八戸ブックフェス ・一箱古本市、書店・古書店・出版社・飲食店ブース、移動図書館車展示、学校図書館ブックリサイクル等（令和 4 年 9 月 25 日）（会場：はっち、マチニワ、ブックセンター） ④ギャラリー展「紙から本ができるまで展」 ・美術館の企画展「佐藤時啓-八戸マジックランタン-」と連携した企画展（令和 4 年 10 月 29 日～令和 5 年 1 月 9 日） ⑤執筆出版ワークショップ・超ショートショート講座 ・高校生向けワークショップ 参加者 23 名（令和 5 年 3 月 25 日～26 日）（会場：ばんらぼ） ⑥ギャラリー展「仲條正義名作展」 ・美術館の企画展と連携した企画（令和 5 年 3 月 25 日～5 月 21 日） ⑦「贈ること／贈られること ～ZINE『PlaygRound』ができるまで～」 ・ファッションデザイナー、ミュージシャンによるクロスステッチ刺繍ワークショップ、トークイベント、ミニライブ 参加者延べ 105 名（令和 5 年 5 月 6 日）（会場：パトリ） ⑧アカデミックトーク「ペンと私 竹内修司さん大いに語る」 ・トークイベント 参加者 120 名（令和 5 年 6 月 24 日）（会場：はっち） ・更上閣ガーデンレストランライアル事業 ※文化創造 国の登録有形文化財である更上閣及び更上閣にぎわい広場を市民に広く知ってもらい、日常的な利用促進につなげることを目的に、キッチンカー等を活用した実証実験を実施。 令和 4 年度 (1)日 時 令和 4 年 10 月 15 日（土）～24 日（月）11 時～14 時（3 時間） ※10 月 23 日（日）を除いた 9 日間。 (2)出店回数 8 事業者 延べ 39 回 (3)来場者数 約 1,050 人 ※更上閣見学者数：28 組 71 人 令和 5 年度 (1)日 時 令和 5 年 6 月 8 日（木）～11 日（日）11 時～14 時（3 時間） (2)出店回数 12 事業者 延べ 23 回 (3)来場者数 約 870 人 ※更上閣見学者数：31 組 67 人 ○令和 4 年度の内容に加え、期間中に、中心街の回遊と賑わい創出を目的として、美術館及び八戸ポータルミュージアムと連携し、音楽演奏を聴きながら飲食を楽しむ夜のイベント「ヨルニワ」を開催。
--	--------------------------	--

ヨルニワ（夜の音楽イベント）

(1)日 時 令和5年6月10日（土） 18時～20時（2時間）

(2)出店者・出演者

更上閣・更上閣にぎわい広場	3店舗・3組
美術館マエニワ	4店舗・1組
はっち1階 カフェバルRit.	2店舗・2組

(3)来場者

更上閣・更上閣にぎわい広場	約360人
美術館マエニワ	約440人
はっち1階 カフェバルRit.	約160人

※令和5年10月に、今年度2回目の開催

R4 年度決算額 7,276 千円（はっち 1,500、ブックセンター5,631、文化創造 145）

R5 年度予算額 9,009 千円（はっち 1,500、ブックセンター6,344、文化創造 1,165）

	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	・「美しい HUG！」展に関連した取り組みの実施 ※美術館 陶芸家・美術家のきむらとしろうじんじんが、八戸で野点を行うプロジェクト、「きむらとしろうじんじん八戸野点」を開催。 令和 5 年 10 月 1 日（日） 旧三春屋前 来場者 260 人 10 月 7 日（土） 八戸市美術館マエニワ 来場者 380 人 ・『音楽のタベ』開催 ※美術館 令和 5 年度 全国都市問題会議の開催にあわせ、音楽イベントを開催。 令和 5 年 10 月 12 日（土） 17：00～19：00 八戸市美術館マエニワ 来場者 430 人 出店者・出演者 3 店舗・1 組 令和 6 年度 令和 6 年 7 月 20 日（土） 17：00～20：00 八戸市美術館マエニワ 来場者 497 人 出店者・出演者 3 店舗・1 組 ・横丁の路地やお店を会場にパフォーマンスを行う「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター2023～」を令和 5 年 10 月 13 日と 10 月 14 日に開催 ※はっち 主催：酔っ払いに愛を実行委員会 場所：中心街の 7 会場（屋外 3 会場含む）で出演アーティスト 6 組による公演を実施（来場者数：屋内のみ 461 名、屋外含む：約 1,800 名） ・八戸ブックセンター事業 ※ブックセンター ①「バカ塗りの娘」公開記念・パワープッシュ作家・高森美由紀 ・パネル展（令和 5 年 9 月 24 日）（会場：はっち） ・トークイベント 参加者 20 名（令和 5 年 9 月 24 日）（会場：はっち） ②本のまち八戸ブックフェス ・一箱古本市、書店・古書店・出版社・飲食店ブース、移動図書館車展示、学校図書館ブックリサイクル、さがしっこイベント等 （令和 5 年 9 月 24 日）（会場：はっち、マチニワ、ブックセンター） ③『窓／埋葬』刊行記念イベント ・演劇ワークショップ 参加者 6 名（令和 5 年 12 月 16 日）（会場：はっち） ④「生誕 320 年・没後 260 年記念 安藤昌益フェスティバル」 ・シンポジウム「安藤昌益の 21 世紀」 参加者 80 名 （令和 6 年 1 月 7 日）（会場：はっち） ・榎谷伸夫 一人芝居「出立つ日」 参加者 380 名 （令和 6 年 1 月 8 日）（会場：公民館ホール） ⑤『荒木悠 LONELY PLANETS』刊行記念上映・トークイベント 参加者 28 名 （令和 6 年 2 月 11 日）（会場：美術館） ⑥書評家・杉江松恋ミステリートーク 2days ・トークイベント「ミステリーって何？そこから広がる読書の世界」 参加者 44 名（令和 6 年 3 月 16 日）（会場：はっち） ・トークイベント「小中高生必見！杉江松恋さんと探す！ 「まずはこの 1 冊から読んでみてほしいミステリー」 参加者 34 名 （令和 6 年 3 月 17 日）（会場：はっち） ・杉江松恋さんと読む！「アガサ・クリスティ深読み読書会」参加者 20 名 （令和 6 年 3 月 17 日）（会場：はっち） ⑦伊藤ゴロー×能町みね子 全青森ツアー 参加者 100 名 （令和 6 年 5 月 4 日）（会場：はっち） ⑧HACHINOHE ZINE CLUB 展示発表会（令和 6 年 5 月 18 日）（会場：美術館） ⑨ギャラリー展「かおてん. の裏側展」 ・美術館の企画展と連携した企画（令和 6 年 7 月 6 日～9 月 1 日） ⑩アカデミックトーク／アートを読む 山上新平・町口覚ギャラリートーク （令和 6 年 7 月 27 日）（会場：美術館）
--	-----------------------------------	---

・更上閣ガーデンレストラン事業 ※文化創造
 国の登録有形文化財である更上閣及び更上閣にぎわい広場を市民に広く知ってもらい、日常的な利用促進につなげること、また中心街の回遊と賑わい創出を目的に、昨年度に引き続きキッチンカー等を活用した「更上閣ガーデンレストラン」を開催した。
 また、期間中の週末は、音楽演奏を聴きながら飲食を楽しむ夜のイベント「ヨルニワ」を、美術館と連携して実施した。

(1)更上閣ガーデンレストラン

令和5年度

①日 時 令和5年10月11日(水)～14日(土) 11時～14時
 ②出店回数 11事業者 延べ32回
 ③来場者数 約767人(1日平均 約190人)
 ※更上閣見学者数：24組 42名

令和6年度

①日 時 令和6年6月5日(水)～8日(土) 11時～15時
 ②出店回数 10事業者 延べ30回
 ③来場者数 約777人(1日平均約194人)
 ※更上閣見学者数：40組 83人

(2)ヨルニワ(夜の音楽イベント)

令和5年度

①日 時 令和5年10月14日(土) 17時～20時
 ②出店者・出演者

更上閣・更上閣にぎわい広場	6店舗・3組
はっち1階 カフェバル Rit	2店舗・2組
美術館マエニワ	2店舗・1組

③来場者

更上閣・更上閣にぎわい広場	317人
はっち1階 カフェバル Rit	50人
美術館マエニワ	538人

令和6年度

①日 時 令和6年6月8日(土) 17時～19時(2時間)
 ②出店者・出演者

更上閣・更上閣にぎわい広場	7店舗・2組
美術館マエニワ	3店舗・1組

③来場者

更上閣・更上閣にぎわい広場	405人
美術館マエニワ	822人

R5 年度決算額 9,949 千円 (美術館 2,318、はっち 1,500、
 ブックセンター 5,462、文化創造 669)
 R6 年度予算額 16,852 千円 (美術館 4,465、はっち 1,500、
 ブックセンター 9,917、文化創造 970)

4 年目
(R7.5 月
末時点)

・音楽のタベ（夜の音楽イベント） ※美術館

(1) 8 月 (Aomori GENKI-R0 Trip at 八戸市美術館)

①日時 令和 6 年 8 月 18 日(日) 19 時～21 時

②出店者・出演者

美術館（スタジオ、マエニワ）	4 店舗・2 組
----------------	----------

③来場者

美術館内（スタジオ、マエニワ）	140 人
-----------------	-------

(2) 9 月

①日時 令和 6 年 9 月 20 日(金) 17 時～20 時

②出店者・出演者

美術館マエニワ	3 店舗・1 組
---------	----------

③来場者

美術館マエニワ	204 人
---------	-------

・ヨルニワ（夜の音楽イベント） ※美術館

①日時 令和 6 年 10 月 5 日(土) 17 時～20 時

②出店者・出演者

美術館マエニワ	3 店舗・1 組
---------	----------

③来場者

美術館マエニワ	305 人
---------	-------

・企画店「浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化」(R7 年 4 月～) 開催 ※美術館

①本展で、共創パートナーであり、近隣に位置する「八戸クリニック街かどミュージアム」と共同企画した。

②「共創企画」として、八戸クリニック街かどミュージアム及び帆風美術館が主催となった企画が開催された。(企画数 7 件)

・横丁の路地やお店を会場にパフォーマンスを行う「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター2024～」を令和 6 年 10 月 4 日と 10 月 5 日に開催 ※はっち

主催：酔っ払いに愛を実行委員会

場所：中心街の 8 会場（屋外 3 会場含む）で出演アーティスト 9 組による公演を実施（来場者数：屋内のみ 647 名、屋外含む：約 2,130 名）

・横丁の路地やお店を会場としたパフォーマンスを行う「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター2025～」を令和 7 年 10 月 10 日から 11 日に開催予定 ※はっち

主催：酔っ払いに愛を実行委員会

場所：中心街の 6 会場（屋外 2 会場含む）で出演アーティスト 6 組による公演を実施予定。

・八戸ブックセンター事業 ※ブックセンター

(1) 本のまち八戸ブックフェス 2024

- ① 日 時 令和6年9月29日(日) 10時30分～15時30分
- ② 会 場 はっち、マチニワ、ブックセンター
- ③ 内 容 ・哲学者 朱喜哲×100分 de 名著プロデューサー 秋満吉彦
スペシャルトーク
参加者 65 名
・さがしっこイベント「ねずみくんはめいたんてい！」
参加者 195 名
・本を作ろう講座(紙の本〈ZINE〉編) 参加者 17 名
本を作ろう講座(電子書籍編) 5 回開催、参加者 25 名
・一箱古本市、書店・古書店・出版社・飲食店ブース、移動
図書館車展示、学校図書館ブックリサイクル

(2) ギャラリー展「ブックデザイナーの仕様書展 2024」関連トークイベント

- ① 日 時 令和6年10月26日(日) 14時～
- ② 会 場 八戸市美術館
- ③ 参加者数 44 名

(3) アカデミック・トーク「公共哲学者 山脇直司さんとの哲学対話 2024『分断と共生』」

- ① 日 時 令和6年11月2日(土) 14時～16時
- ② 会 場 はっち
- ③ 参加者数 29 名

(4) 八戸ブックセンター開設8周年記念トークイベント 木村友祐×ますむらひろし「猫はぼくの先生——動物たちの命をめぐって」

- ① 日 時 令和6年12月7日(土) 14時～16時
- ② 会 場 南部会館
- ③ 参加者数 100 名

(5) 「読書へのとびら」本のまち八戸魅力創出イベント

- ① 日 時 令和7年2月9日(日) 10時～16時
- ② 会 場 SG GROUP ホールはちのへ(八戸市公会堂)
- ③ 内 容 ・スペシャルトーク 池上彰さんが語る「本のちから」
トーク 13時30分～14時30分
LINDEAL による質問コーナー 14時30分～15時
来場者数 1,184 名
・おはなし会
3 回開催、参加者数 38 名
・図書館 150 周年記念「本のまち八戸」紹介パネル展
・書籍・図書館オリジナルグッズ販売コーナー
・本と雑誌のリサイクルフェア

・更上閣ガーデンレストラン事業 ※文化創造

国の登録有形文化財である更上閣及び更上閣にぎわい広場を市民に広く知ってもらい、日常的な利用促進につなげること、また中心街の回遊と賑わい創出を目的に、昨年度に引き続きキッチンカー等を活用した「更上閣ガーデンレストラン」を開催した。

また、期間中の週末は、音楽演奏を聴きながら飲食を楽しむ夜のイベント「ヨルニワ」を、美術館と連携して実施した。

(1)更上閣ガーデンレストラン

令和6年度

- ①日 時 令和6年10月2日(水)～5日(土) 11時～14時
 ②出店回数 13事業者 延べ34回
 ③来場者数 約579人(1日平均 約145人)
 ※更上閣見学者数：16名

令和7年度

【6月開催】

- ①日 時 令和7年6月4日(水)～7日(土) 11時～14時
 ②出店回数 13事業者 延べ31回
 ③来場者数 約550人(1日平均約137人)
 ※更上閣見学者数：10人

【10月開催(予定)】

- 日 時 令和7年10月1日(水)～4日(土) 11時～14時

(2)ヨルニワ(夜の音楽イベント)

令和6年度

- ①日 時 令和6年10月5日(土) 17時～20時
 ②会場別実績

会場	開催時間	出店・出演者数	来場者数
更上閣・更上閣にぎわい広場	17:00～19:00	6店舗・2組	200人
はっち2階 CHEESE DAY	17:00～20:00	1店舗・1組	50人
美術館マエニワ	18:00～19:30	3店舗・1組	305人

令和7年度

- ①日 時 令和7年6月7日(土) 15時～20時
 ②会場別実績

会場	開催時間	出店・出演者数	来場者数
更上閣・更上閣にぎわい広場	15:00～17:00	8店舗・3組	240人
はっち2階 CHEESE DAY	16:00～20:00	1店舗・1組	120人
美術館マエニワ	18:00～19:30	3店舗・1組	350人

※令和7年10月4日に、今年度2回目の開催を予定。

R6 年度決算額 19,475 千円 (美術館 8,920 はっち 1,500
 ブックセンター 7,945 文化創造推進課 1,110)

R7 年度予算額 16,652 千円 (美術館 7,361 はっち 1,500
 ブックセンター 6,389、文化創造推進課 1,402)

事業2：【新規】「はちのへアート広場」事業

事業内容	多様な主体が自主的に参加でき、対等な立場でゆるやかに連携や協働ができるアートプラットフォームづくりを推進する。
担当課	文化創造推進課
取組詳細	○文化芸術を取り巻く環境変化や、市内外の先進的・特徴的な取組事例などを学び合うことを通じて、既存の取組のブラッシュアップや新たな取組について参加者が自ら考える機会とするため、八戸版プラットフォーム「はちのへアート広場」のセミナー型「ひろば交流会」を開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○はちのへアート広場「ひろば交流会」キックオフミーティング (1)開催日時・場所 令和5年3月25日(土) 10:00~12:00 八戸ポータルミュージアム2階 シアター2 (2)参加者数 36人 (3)内 容 イントロダクション:「はちのへ文化のまちづくりプラン」と「はちのへアート広場」の概要説明 トークセッション:テーマ「地域に求められる文化芸術振興の取組」 コーディネーター:はちのへ文化のまちづくりアドバイザーボード委員長 太下 義之 氏 パネリスト:日本舞踊泉流師範 泉 彩菜 氏 アートコーディネーター 今川 和佳子 氏 俊文書道会主宰 西里 俊文 氏 帆風美術館館長 吉田 章恵 氏 R4 年度決算額 127 千円 R5 年度予算額 510 千円

3年目 (R6.7月 末時点)	令和5年度 ○第1回はちのへアート広場「ひろば交流会」 (1)開催日時・場所 令和5年8月18日(金) 14:00～16:00 八戸市美術館1階 スタジオ (2)参加者数 29人 (3)内 容 イン트로ダクション:「文化芸術基本法の概要」「24条の改正の概要や経緯」の説明 事例発表:テーマ「学校教育における文化芸術の鑑賞や活動の充実について考える」 コーディネーター:はちのへ文化のまちづくりアドバイザー 太下 義之氏 パネリスト:八戸ポータルミュージアム コーディネーター 櫛部 晃代氏 インフィニートコラルコ弦楽合奏団代表 高橋 めぐみ氏 八戸市公民館 館長 柗谷 伸夫氏 八戸市美術館学校連携プロジェクトチームアドバイザー 三澤 一実氏 トークセッション ○第2回はちのへアート広場「ひろば交流会」 (1)開催日時・場所 令和5年12月15日(金) 17:00～19:00 柏木旅館 (2)参加者数 24人 (3)内 容 イン트로ダクション:パネリスト、コーディネーター、柏木旅館の紹介 事例発表:テーマ「オルタナティブな文化拠点・活動とその可能性」 コーディネーター:はちのへ文化のまちづくりアドバイザー 太下 義之氏 パネリスト:街かどミュージアム館長 小倉 学氏 建築デザイナー 高砂 充希子氏 Space BEN 主宰 田中 勉氏 (株)八戸彩画堂代表取締役社長 松田 和幸氏 トークセッション ○第3回はちのへアート広場「ひろば交流会」 (1)開催日時・場所 令和6年2月23日(金祝) 10:00～12:00 八戸ポータルミュージアム1階 シアター1 (2)参加者数 25人 (3)内 容 イン트로ダクション:八戸市美術館の取組について事例紹介 事例発表:テーマ「誰もが文化芸術を創造し享受することができる環境整備を巡って」 パネリスト:青森県障害者芸術文化活動支援センター実施団体 社会福祉法人あーんど代表 大橋 一之氏 NPO 法人はちのへ未来ネット代表理事 平間 恵美氏 コーディネーター:はちのへ文化のまちづくりアドバイザー 太下 義之氏 トークセッション
-----------------------	--

	令和 6 年度 ○第 1 回はちのへアート広場「ひろば交流会」 (1)開催日時・場所 令和 6 年 7 月 19 日 (金) 13:30~15:30 八戸ポータルミュージアム 2 階 シアター2 (2)参加者数 25 人 (3)内 容 事例発表：テーマ「クリエイティブビジネスの振興について」 コーディネーター：はちのへ文化のまちづくりアドバイザーボード委員長 太下 義之氏 パネリスト：株式会社金入代表取締役社長 金入 健雄氏 株式会社ニューモア/想造楽工 代表 宮島 依子氏 グループワーク：参加者を 2 グループに分けて、パネリスト毎のテーマについて 意見交換を行った。 全体ディスカッション：グループワークで出た内容を基に、コーディネーター 進行によるディスカッションを行った。 R5 年度決算額 515 千円 R6 年度予算額 637 千円
--	---

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	令和 6 年度 ○第 2 回はちのへアート広場「ひろば交流会」 (1) 開催日時・場所 令和 6 年 12 月 8 日 (日) 14:00~16:00 南部会館 (2) 参加者数 20 人 (3) 内容 活動発表：テーマ「地域に根付く郷土芸能について」 コーディネーター：はちのへ文化のまちづくりアドバイザーリーボード委員長 太下 義之氏 パネリスト：三陸国際芸術祭八戸ディレクター 今川 和佳子氏 三陸国際芸術祭国内団体サポーター 本間 理子氏 階上町平内鶏舞組代表 引敷林 安幸氏 トークセッション ○第 3 回はちのへアート広場「ひろば交流会」 (1) 開催日時・場所 令和 7 年 2 月 21 日 (金) 13:30~15:30 八戸ポータルミュージアム 2 階 シアター2 (2) 参加者数 18 人 (3) 内容 活動紹介：テーマ「はちのへアート広場」から派生した取り組みについて コーディネーター：はちのへ文化のまちづくりアドバイザーリーボード委員長 太下 義之氏 パネリスト：建築家・アーティスト 高砂 充希子氏 インフィニートコラルコ弦楽合奏団代表 高橋 めぐみ氏 A0 代表 長塚 佳子氏 令和 7 年度 (予定) ○第 1 回はちのへアート広場「ひろば交流会」 (1) 開催日時・場所 令和 7 年 7 月 11 日 (金) 13:30~15:30 八戸ポータルミュージアム 2 階 シアター2 (2) テーマ：部活動の地域連携・地域展開について ○第 2 回はちのへアート広場「ひろば交流会」 (1) 開催日時・場所 令和 7 年 10 月 10 日 (金) 13:30~15:30 八戸市美術館スタジオ (2) テーマ：(仮称) 食文化の継承について R6 年度決算額 365 千円 R7 年度予算額 1,944 千円
--	----------------------------------	--

事業3：【新規】中心街ストリートデザイン事業

事業内容	三日町・十三日町の街路をひと中心の空間へ転換することを目指し、関係者との合意を形成するほか、ストリートデザインビジョンを策定し、ビジョンに沿った街路空間の再編や街路空間での商業活動を推進する。
担当課	まちづくり推進課
取組詳細	○市民参加型の勉強会の開催 ○県と連携したまちなかウォークアブル推進事業の実施に向けた都市再生整備計画（まちなかウォークアブル推進事業）を作成（令和5年3月6日策定） ○国道340号三日町・十三日町区間で実証試験の実施（令和5年8月～9月予定） ○八戸市中心街ストリートデザインビジョンの策定（令和6年3月予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・ストリートデザイン勉強会を2回開催 令和4年 4月30日 → 46人参加 令和4年 6月26日 → 40人参加 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 3,751 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・ストリートデザイン勉強会を5回開催 令和4年 8月27日 → 30人参加 令和4年 10月26日 → 17人参加（沿道関係者限定） 令和4年 12月21日 → 14人参加（ // ） 令和5年 2月16日 → 24人参加（ // ） 令和5年 5月15日 → 32人参加（ // ） ・都市再生整備計画（まちなかウォークアブル推進事業）を作成（令和5年3月6日） R4 年度決算額 3,733 千円 R5 年度予算額 25,457 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・ストリートデザイン勉強会を3回開催 令和5年 11月15日 → 24人参加（沿道関係者限定） 令和6年 1月11日 → 27人参加（ // ） 令和6年 5月08日 → 28人参加（ // ） ・まちなかストリートデザイン実証試験「みちニワ」の実施 期間：令和5年8月31日～9月11日（12日間） 場所：廿三日町交差点～三日町交差点 内容：車線の減少に伴う車両交通への影響を調査 拡幅した歩道と軒先で多様な活動に挑戦し効果を検証 → 平日の歩行者通行量が1～2割増加、アンケート129件回収、13事業者と3団体が参加（出店等） ・八戸市中心街ストリートデザインビジョンの策定（令和6年7月） → パブリックコメント実施結果：8名から24件の意見あり R5 年度決算額 20,436 千円 R6 年度予算額 1,234 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	・ まちなかマーケットラボを 2 回開催 令和 6 年 9 月 18 日 → 35 人参加 (マーケット出店者、中心街関係者) 令和 6 年 11 月 28 日 → 22 人参加 (//) ・ マチニワナイトマーケットを 3 回実施 令和 6 年 10 月 19 日 → 12 店舗出店、客数 786 人、売上約 52 万円 令和 6 年 10 月 25 日 → 13 店舗出店、客数 898 人、売上約 73 万円 令和 6 年 11 月 1 日 → 12 店舗出店、客数 827 人、売上約 76 万円 ・ 八戸市中心街ストリートデザイン検討会議の開催 令和 7 年 4 月 23 日 → 17 機関出席 R6 年度決算額 934 千円 R7 年度予算額 1,041 千円
--	-------------------------	---

事業4：【新規】十三日町・十六日町地区再整備支援事業

事業内容	長らく市民に親しまれてきた商業施設から、住宅・宿泊機能を加えた形での複合的な民間再開発に対して補助金支援することで、新たに人の活動や交流を生み出し、暮らしやすく過ごしやすい魅力的な都市環境や機能の充実を図る。
担当課	まちづくり推進課
取組詳細	○十三日町・十六日町再整備事業補助金の交付 国の優良建築物等整備事業の制度を活用した補助金を再開発事業者に対して交付し、分譲マンション2棟・店舗棟（ホテル、商業）・立体駐車場を整備 ○メインストリートにふさわしい市民の歩行や滞在を意識した、街路空間と一体となった公開空地（不特定多数の方が利用できるスペース）の提供



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・ R4 補助金交付決定（令和4年9月28日） ・ 調査設計及び既存建物解体工事の実施 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 1,646,850 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・ R5 補助金交付決定（令和6年2月7日） ・ 分譲マンションA棟建設工事着工（令和6年5月15日） R5 年度決算額 1,261,791 千円 R6 年度予算額 796,219 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・ R6 補助金交付決定（令和7年3月14日） ・ 複合施設棟建設工事着工（令和7年3月） ・ 駐車場棟建設工事着工（令和7年5月） R6 年度決算額 315,309 千円 R7 年度予算額 795,050 千円

事業5：【新規】共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業

事業内容	「アートのまちづくり」の具現化に向けて、文化的視点で街の良さや楽しみ方を市民に再認識してもらうことで市街地活性化につなげることを目的として、歴史・文化・芸術などの活動団体・個人を市が「共創パートナー」として登録し、文化的な財産・スポットとして広く発信する。
担当課	美術館
取組詳細	・LINE 公式アカウント「ヨッテミッテ」によるイベント情報の発信 ・街なかアートマップの作成 ・パートナー・ミーティングの開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	・街なかアートマップの作成 ①配付時期 令和5年10月～ ②作成部数 5,000部 (B3) ・LINE 公式アカウント「ヨッテミッテ」によるイベント情報配信 ①運用開始日 令和6年7月5日～ R5 年度決算額 96 千円 R6 年度予算額 2,891 千円
	4年目 (R7.5 月末時 点)	・街なかアートマップの作成 ①配付時期 令和7年3月～ ②作成部数 20,000部 (B3) ・パートナー・ミーティングの開催 共創パートナー同士が交流し情報交換を行った。 ①開催日 令和7年3月24日(月) ②開催場所 八戸市美術館 スタジオ ③参加者 18名(民間13名、行政5名) ・LINE 公式アカウント「ヨッテミッテ」によるイベント情報配信 (R6より継続) R6 年度決算額 2,891 千円 R7 年度予算額 1,373 千円

政策 5	安心・安全な市民の暮らしを守る
------	-----------------

重点施策 5-1

超高齢社会に向けて、医療・介護・予防等の生活支援を総合的に推進するために、デジタルシステムを活用した「地域共生社会」の実現を目指します。

事業 1： 在宅医療介護 ICT 連携推進事業

事業内容	医療と介護の両方を必要とする高齢者（看取りケア対象者含む）に対し、切れ目なく在宅医療と介護を提供するため、ICTツールを活用した連携体制を構築する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○ ICTツール活用推進 ○ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 ○ 連携における課題の抽出 ○ 市民への普及啓発



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	○ ICTツール（mell+community）登録 262 事業所、登録利用者数 10,468 人 ○ Connect8 事例検討会の実施（8 回、令和 3 年 11 月～令和 4 年 7 月分） ○ 八戸市医療と介護の多職種連携意見交換会開催（令和 4 年 2 月 16 日） ○ ICTツールを活用したワーキンググループの立ち上げ及び意見聴取実施（令和 4 年 5～7 月） ○ ICTツール活用促進を目的とした研修（包括的支援事業研修会）を実施 R3 年度決算額 4,642 千円 R4 年度予算額 5,273 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	○ ICTツール（mell+community）登録 293 事業所、登録利用者数 12,242 人（R5.6） ○ Connect8 事例検討会の実施 12 回 R4 年度決算額 5,258 千円 R5 年度予算額 5,273 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	○ ICTツール（mell+community）登録 315 事業所、登録利用者数 12,744 人（R6.6） ○ Connect8 事例検討会の実施 12 回 R5 年度決算額 5,269 千円 R6 年度予算額 5,273 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	※重点施策 5-1 事業 2「包括的・継続的マネジメント支援事業」に事業を統合 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業2： 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、介護予防やケアマネジメント等（看取りケア等を含む）に関する包括的支援事業研修会を開催する。
担当課	高齢福祉課
取組状況	○研修会（医療・介護関係者向け）の開催 ○市民向け啓発：マイライフノート作成協力・配布、パンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（8月予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○研修会の開催 ・R3.12.1、八戸市医療と介護の多職種連携研修会を開催。 ※R4年度も12月開催予定 対象者：医療・介護関係者（参加者 96名） テーマ：アドバンス・ケア・プランニングとは「何？」&「どのように？」 講師：岩手保健医療大学臨床倫理研究センター長 清水 哲郎氏 ・R4年度、包括的支援事業研修会を年3回企画・開催予定（ZOOM ミーティング） 対象者：介護支援専門員 他関係機関 テーマ：8/24「入退院支援の実際」、9/14「望む医療の選択について」、開催時期未定「ICT連携ツールの活用」 ○市民向け啓発 ・マイライフノート紹介・配布 ・パンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（8月） R3 年度決算額 27 千円 R4 年度予算額 128 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○研修会の開催 ・全3回 包括的支援事業研修会を開催 対象者：介護支援専門員 他関係機関 参加者 計 212名 テーマ：R4.8.24「入退院支援の実際」、R4.9.14「望む医療の選択について」 R5.1.18「ICT連携ツールの活用」 ・R4.12.21 八戸市医療と介護の多職種連携研修会を開催 対象者：医療・介護関係者（参加者 46名） テーマ：「ACPを疑似体験を通して考える」 講師：福)中央福祉会 特別養護老人ホーム三思園 高橋 進一 氏 ※R5年度も「ACP」をテーマに12月開催予定 ○市民向け啓発 ・マイライフノート紹介・配布（イベントでの展示配付） ・R4年8月リーフレット「最後の医療について考えてみませんか」作成・配布 ※R5年度もパンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（9月） R4 年度決算額 100 千円 R5 年度予算額 210 千円

3 年目 (R6.7 月 末時点)	○研修会の開催 ・全 3 回 包括的支援事業研修会を開催 対象者：介護支援専門員 他関係機関 参加者 計 172 名 テーマ：R5.7.18「基礎から学び支援につなげよう～栄養・口腔ケアマネジメント」、 R5.10.16「作業療法士が考える自立支援～地域ケア会議の発展に向けて～」 R6.1.18「認知症の方を早期に支援するために」 ・R5.12.20 八戸市医療と介護の多職種連携研修会を開催 対象者：医療・介護関係者(参加者 74 名) テーマ：「人生の最終段階を地域で支える」 実践報告・「施設」特別養護老人ホーム瑞光園 沢尾 和香 氏 ・「有料老人ホーム」ホームホスピスもりの家 中里 藤枝 氏 ・「訪問介護事業所」瑞光園ホームヘルプサービス 山口 幸人 氏 ・「介護保険外サービス」保険外サービス あかいいと 福田 愛美 氏 ○市民向け啓発 ・マイライフノート、ACP リーフレット紹介・配布(イベントでの展示配付) ・R6 年 2 月リーフレット「大切な人に伝えてみませんか」作成・配布 ・市民向け講話実施 R6.6.21 鷗盟大学「人生会議について」 R6.8.19(実施予定) 家族介護教室 「どうする?『もしも』の時の医療・ケア」 R5 年度決算額 110 千円 R6 年度予算額 120 千円								
4 年目 (R7.5 月 末時点)	○関係者向け研修会の開催 ・包括的支援事業研修会 (R6.10.23) 「困難ケースへの対応について」 八戸地域虐待等困難事例ネットワーク研究会 代表 安田 真 氏 ・八戸市医療と介護の多職種連携研修会 (R6.11.20) (1) 高齢者の救急搬送の現状と消防本部の ICT ツール活用について 八戸地域広域市町村圏域事務組合消防本部 司令救急課副参事兼救急管理班長 辻井 信二 氏 (2) ICT ツールの機能と救急医療連携運用に向けて 特定非営利活動法人 Reconnect 朽内 悠 氏 (3) ACP 情報の取扱いについて 特定非営利活動法人 Reconnect 理事長 小倉 和也 氏 ○市民向け啓発 ・マイライフノート、ACP リーフレットの紹介・配布 (イベント開催時) ・リーフレット「八戸市在宅医療・介護あんしんガイド」作成・配布 ・市民向け講話実施 家族介護教室「どうする?『もしも』の時の医療・ケア」(R6.8.19) ○ICT ツール (mell+community) による医療介護関係者の連携支援 ・登録 322 事業所、登録利用者数 13,095 人 (R7.3) ・Connect8 事例検討会の実施 9 回 テーマ：「施設・高齢者住宅での看取りについて」 ほか <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">R6 年度決算額 5,362 千円</td> <td style="width: 50%;">啓発研修関連 93 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ICT ツール関連 5,269 千円</td> </tr> <tr> <td>R7 年度予算額 5,475 千円</td> <td>啓発研修関連 202 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ICT ツール関連 5,273 千円</td> </tr> </table>	R6 年度決算額 5,362 千円	啓発研修関連 93 千円		ICT ツール関連 5,269 千円	R7 年度予算額 5,475 千円	啓発研修関連 202 千円		ICT ツール関連 5,273 千円
R6 年度決算額 5,362 千円	啓発研修関連 93 千円								
	ICT ツール関連 5,269 千円								
R7 年度予算額 5,475 千円	啓発研修関連 202 千円								
	ICT ツール関連 5,273 千円								

事業3：【新規】介護テクノロジー導入支援・ICT化推進事業

事業内容	障害福祉サービス事業所等の従業者の介護業務の負担軽減、労働環境の改善、業務負担効率化を図り、働きやすい職場環境の整備や安全・安心な障害福祉サービスの提供等を推進するため、障害福祉サービス事業者等に対し、介護ロボットやICTの導入に要する経費の一部を補助する。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	○介護ロボットやICTを導入した市内の障害福祉サービス事業者等に補助金を交付する。 ○補助対象機器 ・介護ロボット導入支援 移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション支援、入浴支援、機能訓練支援、食事・栄養管理支援に使用する機器 ・ICT導入支援 情報端末（タブレット端末・スマートフォン等ハードウェア、インカム）、ソフトウェア（開発の際の開発基盤のみは対象外）、通信環境機器等（Wi-Fiルーターなど）、保守経費等（クラウドサービス、保守・サポート費、導入設定、導入研修、セキュリティ対策など）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	R5 年度決算額 千円 R6 年度予算額 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	現在、本事業の実施に係る国庫補助について協議中。 国庫補助の内示を得た後、事業着手予定。 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 15,000 千円

重点施策 5-2

介護人材を確保するため、資格取得支援、人材育成、町内会単位での支援体制の整備、市独自のヘルパー制度（軽度者に対するサービス提供）の創設などに取り組みます。

事業 1： 介護の仕事理解促進事業

事業内容	介護人材の確保や若年層の介護職に対するイメージアップを図るため、中学校・高等学校での出前講座の開催や、PR 冊子・市 HP を活用した情報発信を行う。
担当課	介護保険課
取組詳細	○市 HP を活用した情報発信（介護人材確保・定着応援・魅力発信関連リンク） ○PR 冊子の配付 ○出前講座の実施 ○PR 動画の配信



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月末時点)	・ PR 動画（出前講座のダイジェスト）の限定配信（R3 年 12 月から） →中学校 26 校、高等学校 17 校 ・ 出前講座の実施 高等学校 1 校（R4 年 7 月） 内容：介護職の魅力・誇りについての講話、介護ロボット体験により介護職への関心を高めた。 →参加生徒数 26 人 ・ 出前講座で PR 冊子を配付（26 冊） R3 年度決算額 405 千円 R4 年度予算額 475 千円
	2 年目 (R5. 7 月末時点)	・ 出前講座の実施 高等学校 1 校（令和 5 年 7 月 28 日） ・ 内容：施設での仕事内容についてスライドで紹介、仕事と家庭の両立など疑問に回答、高齢者疑似体験、介護ロボット体験により介護職への理解関心を高めた。 →参加生徒 14 人 ・ 出前講座で PR 冊子を配付（14 冊） R4 年度決算額 290 千円 R5 年度予算額 429 千円
	3 年目 (R6. 7 月末時点)	○出前講座の実施 ・ 中学校 令和 5 年 9 月 21 日 参加生徒 12 名 内容：介護従事者の講習、介護ロボット体験 ・ 中学校 令和 5 年 10 月 4 日 参加生徒 16 名 内容：介護従事者の講習、介護ロボット体験、介護食の試食 ・ 高等学校 令和 6 年 7 月 25 日 参加生徒 26 名 内容：介護従事者の講習、介護ロボット体験、高齢者疑似体験 ○出前講座で PR 冊子を配付 R5 年度決算額 296 千円 R6 年度予算額 429 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○出前講座の実施（予定） ・ 中学校 令和 7 年 6 月 20 日 参加生徒 141 名 内容：介護従事者の講習、車いす体験、高齢者疑似体験、 介護ロボットの体験 ・ 中学校 令和 7 年 6 月 30 日 参加生徒 21 名 内容：介護従事者の講習、車いす体験、高齢者疑似体験、 介護用ベッドを中心とした移乗介助等の体験 ・ 高等学校 令和 7 年 7 月 3 日 参加生徒 20 名 内容：介護従事者の講習、介護ロボット体験 R6 年度決算額 197 千円 R7 年度予算額 407 千円
--	-------------------------	--

事業2：地域包括支援センター運営事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、市内に委託型地域包括支援センター（高齢者支援センター）を設置し、介護予防支援事業や包括的支援事業を実施する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○地域包括支援センターの運営 ○包括的支援業務（総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援）の実施 ○介護予防支援（介護予防ケアマネジメント等）の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 5,877件 ・地域ケア会議個別会議 32回、地域ケア会議圏域会議 9回 ・認知症地域支援推進員の配置 25人 ○介護予防支援の実施 ・介護予防把握事業（実態把握） 2,233件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 137件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 117回 ○町内見守りネットワーク 38町内 R3年度決算額 206,316千円 R4年度予算額 214,374千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 8,663件 ・地域ケア会議個別会議 47回、地域ケア会議圏域会議 13回 ・認知症地域支援推進員の配置 28人 ○介護予防支援の実施 ・介護予防把握事業（実態把握） 3,209件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 279件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 221回 ○町内見守りネットワーク 43町内 ※R4.8月～R5.6月までの実績。 R4年度決算額 200,758千円 R5年度予算額 238,750千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 7,723件 ・地域ケア会議個別会議 51回、地域ケア会議圏域会議 15回 ・認知症地域支援推進員の配置 25人 ○介護予防支援の実施 ・介護予防把握事業（実態把握） 3,021件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 324件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 216回 ○町内見守りネットワーク 43町内 ※R5.8月～R6.6月までの実績。 R5年度決算額 224,865千円 R6年度予算額 238,344千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 6,141件 ・地域ケア会議個別会議 45回、地域ケア会議圏域会議 16回 ・認知症地域支援推進員の配置 30人 ○介護予防支援の実施 ・介護予防把握事業（実態把握） 2,715件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 304件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 180回 ○町内見守りネットワーク 49町内 ※R6.8月～R7.4月までの実績。 R6年度決算額 214,082千円 R7年度予算額 238,344千円

事業3：介護予防・日常生活支援総合事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、各種介護サービスの提供や支援員の養成を行う。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○介護予防訪問介護相当サービス、訪問型サービスAを提供 ○介護予防通所介護相当サービス、通所型サービスCを提供 ○訪問型サービスAにおいて、生活援助サービスを提供する訪問支援員を養成



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○介護予防訪問介護相当サービス 3,427件 ○訪問型サービスA 29件 ○介護予防通所介護相当サービス 7,933件 ○通所型サービスC 161件※ (内訳：運動機能向上 155件、認知症予防 6件) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため R4.1.21～4月末まで休止 認知症予防は R4 年度休止中 R3 年度決算額 425,956 千円 R4 年度予算額 439,010 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○介護予防訪問介護相当サービス 4,534件 (R5.6 まで) ○訪問型サービスA 34件 (R5.6 まで) ○介護予防通所介護相当サービス 11,165件 (R5.6 まで) ○通所型サービスC 262件 (R5.6 まで) ※ (内訳：運動機能向上 216件、口腔 3件、運動・認知複合型 43件) ※認知症予防は R4 年度休止 R5 年度から運動機能向上と認知症予防は運動・認知複合型プログラムへ見直し ○訪問支援員養成研修(開催日 R5.2.16 参加者 9名) R4 年度決算額 415,059 千円 R5 年度予算額 425,334 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○介護予防訪問介護相当サービス 3,966件 (R6.6 まで) ○訪問型サービスA 30件 (R6.6 まで) ○介護予防通所介護相当サービス 11,933件 (R6.6 まで) ○通所型サービスA開始 ○通所型サービスC 89件 (R6.6 まで) (内訳：運動・認知複合型 89件、口腔 0件) ○訪問支援員養成研修 (開催日 R5.10.3 参加者 25名、開催日 R6.2.16 参加者 15名) R5 年度決算額 432,567 千円 R6 年度予算額 422,624 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○介護予防訪問介護相当サービス 3,252 件 (R7.4 まで 審査月ベース) ○訪問型サービスA 55 件 (R7.4 まで 提供月ベース) ○介護予防通所介護相当サービス 10,123 件 (R7.4 まで 審査月ベース) ○通所型サービスA 72 件 (R7.4 まで 審査月ベース) ○通所型サービスC 173 件 (R7.4 まで 提供月ベース) (内訳：運動・認知複合型 173 件、口腔 0 件) ○訪問支援員養成研修 (開催日 R6.10.10 参加者 12 名、開催日 R7.2.6 参加者 11 名) R6 年度決算額 451,351 千円 R7 年度予算額 432,627 千円
--	-------------------------	---

事業４：【新規】介護業務の革新・業務効率化事業

事業内容	介護従事者の負担を軽減するため、介護ロボットや ICT 機器の導入を促進するとともに、モデル事務所による講義を行う。
担当課	介護保険課
取組詳細	○研修会の開催 ○介護ロボットや ICT 機器を導入するための支援（相談） ○市ホームページを活用した情報発信（介護ロボットや ICT 機器の導入の補助事業）



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 102 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	○令和 5 年 10 月 10 日 研修会開催 内容：ノーリフティングケアの必要性について（講習・デモンストレーション） 講師：一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク 社会福祉法人スプリング 参加人数：集合 11 人 Web40 人 R5 年度決算額 81 千円 R6 年度予算額 100 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	○令和 7 年 2 月 12 日 研修会開催 内容：ケアプランデータ連携システムについて 講師：厚生労働省・国民健康保険中央会 参加人数：141 人（集合形式） R6 年度決算額 98 千円 R7 年度予算額 100 千円

事業 5： 【新規】外国人介護人材受入施設等環境整備事業

事業内容	外国人介護人材を受け入れる施設の負担軽減を図るため、コミュニケーションを促進する取組や生活支援に要する経費を補助する他、交流会等を実施する。
担当課	介護保険課
取組詳細	○市内で外国人介護人材を受け入れている事業者に対して、受入れにかかる費用の一部を補助する ○外国人材や介護事業所の不安軽減を図るため研修や情報交換の機会を提供する ○外国人介護人材ヘルプデスクを設置する



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	○外国人介護人材受入れにかかる費用の一部の補助 ○研修・交流会 ○外国人介護人材ヘルプデスク ※上記事業については令和 6 年 8 月以降に実施のため 4 年目に記載。 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 2,400 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○外国人人材定着支援事業 コミュニケーションを促進する取組（介護業務のマニュアルの翻訳の委託経費や日本語学習の講習料等）、生活支援に要する経費（施設内や地元住民との交流会、入国当初にかかる諸経費等）を補助 ・申請件数：10 事業所 ・交付額：1,842,000 円 ○研修・交流会 外国人介護人材を受け入れている事業所・受入れを検討している事業所・外国人の情報交換、交流できる機会として研修会・交流会を実施 ・委託先：八戸学院地域連携研究センター ・研修会：令和 6 年 11 月 15 日（金） 内容：パネルディスカッション 参加人数：26 名 ・交流会：令和 6 年 12 月 8 日（日） 内容：外国人介護人材や留学生による現状報告、レクリエーションなど 参加人数：28 名 ○外国人介護人材ヘルプデスク ・相談件数 2 件 R6 年度決算額 2,239 千円 R7 年度予算額 3,400 千円
--	----------------------------------	--

事業 6： 【新規】介護支援専門員資格取得・定着支援事業

事業内容	介護人材の確保・定着を図るため、介護支援専門員が減少する要因の一つである研修費用について支援を行う。
担当課	介護保険課
取組詳細	○市内の事業所に従事すし、ケアプランを作成している介護支援専門員及び主任介護支援専門員の研修受講料（5 年毎に更新の法定研修）の半額分を、事業所を通して介護支援専門員に対して補助する。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	・ 交付要綱、交付に当たっての Q & A、広報用のチラシの作成 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 2,000 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	交付事業所：47 事業所 交付額：922,000 円 R6 年度決算額 922 千円 R7 年度予算額 2,000 千円

重点施策 5-3

医療・介護の連携をより一層推進させ、住み慣れた地域で安心して在宅医療を受けることができる仕組みづくりを目指すと共に、終末期医療体制の整備に取り組みます。

事業1：在宅医療介護ICT連携推進事業（再掲）

事業内容	医療と介護の両方を必要とする高齢者（看取りケア対象者含む）に対し、切れ目なく在宅医療と介護を提供するため、ICTツールを活用した連携体制を構築する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○ICTツール活用推進 ○切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 ○連携における課題の抽出 ○市民への普及啓発



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	○ICTツール（mell+community）登録262事業所、登録利用者数10,468人 ○Connect8事例検討会の実施（8回、令和3年11月～令和4年7月分） ○八戸市医療と介護の多職種連携意見交換会開催（令和4年2月16日） ○ICTツールを活用したワーキンググループの立ち上げ及び意見聴取実施（令和4年5～7月） ○ICTツール活用促進を目的とした研修（包括的支援事業研修会）を実施 R3 年度決算額 4,642 千円 R4 年度予算額 5,273 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	○ICTツール（mell+community）登録293事業所、登録利用者数12,242人（R5.6） ○Connect8事例検討会の実施12回 R4 年度決算額 5,258 千円 R5 年度予算額 5,273 千円
	3年目 (R5.8月 末時点)	○ICTツール（mell+community）登録315事業所、登録利用者数12,744人（R6.6） ○Connect8事例検討会の実施12回 R5 年度決算額 5,269 千円 R6 年度予算額 5,273 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	※重点施策5-3 事業2「包括的・継続的マネジメント支援事業」に事業を統合 R6 年度決算額 千円 R7 年度予算額 千円

事業2： 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（再掲）

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、介護予防やケアマネジメント等（看取りケア等を含む）に関する包括的支援事業研修会を開催する。
担当課	高齢福祉課
取組状況	○研修会（医療・介護関係者向け）の開催 ○市民向け啓発：マイライフノート作成協力・配布、パンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（8月予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○研修会の開催 ・R3.12.1、八戸市医療と介護の多職種連携研修会を開催。 ※R4年度も12月開催予定 対象者：医療・介護関係者（参加者 96名） テーマ：アドバンス・ケア・プランニングとは「何？」&「どのように？」 講師：岩手保健医療大学臨床倫理研究センター長 清水 哲郎氏 ・R4年度、包括的支援事業研修会を年3回企画・開催予定（ZOOM ミーティング） 対象者：介護支援専門員 他関係機関 テーマ：8/24「入退院支援の実際」、9/14「望む医療の選択について」、開催時期未定「ICT連携ツールの活用」 ○市民向け啓発 ・マイライフノート紹介・配布 ・パンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（8月） R3年度決算額 27千円 R4年度予算額 128千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○研修会の開催 ・全3回 包括的支援事業研修会を開催 対象者：介護支援専門員 他関係機関 参加者 計 212名 テーマ：R4.8.24「入退院支援の実際」、R4.9.14「望む医療の選択について」 R5.1.18「ICT連携ツールの活用」 ・R4.12.21 八戸市医療と介護の多職種連携研修会を開催 対象者：医療・介護関係者（参加者 46名） テーマ：「ACPを疑似体験を通して考える」 講師：福)中央福祉会 特別養護老人ホーム三思園 高橋 進一 氏 ※R5年度も「ACP」をテーマに12月開催予定 ○市民向け啓発 ・マイライフノート紹介・配布（イベントでの展示配付） ・R4年8月リーフレット「最後の医療について考えてみませんか」作成・配布 ※R5年度もパンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（9月） R4年度決算額 100千円 R5年度予算額 210千円

	3 年目 (R6.7 月 末時点)	○研修会の開催 ・全 3 回 包括的支援事業研修会を開催 対象者：介護支援専門員 他関係機関 参加者 計 172 名 テーマ：R5.7.18「基礎から学び支援につなげよう～栄養・口腔ケアマネジメント」、 R5.10.16「作業療法士が考える自立支援～地域ケア会議の発展に向けて～」 R6.1.18「認知症の方を早期に支援するために」 ・R5.12.20 八戸市医療と介護の多職種連携研修会を開催 対象者：医療・介護関係者(参加者 74 名) テーマ：「人生の最終段階を地域で支える」 実践報告・「施設」特別養護老人ホーム瑞光園 沢尾 和香 氏 ・「有料老人ホーム」ホームホスピスもりの家 中里 藤枝 氏 ・「訪問介護事業所」瑞光園ホームヘルプサービス 山口 幸人 氏 ・「介護保険外サービス」保険外サービス あかいいと 福田 愛美 氏 ○市民向け啓発 ・マイライフノート、ACP リーフレット紹介・配布(イベントでの展示配付) ・R6 年 2 月リーフレット「大切な人に伝えてみませんか」作成・配布 ・市民向け講話実施 R6.6.21 鷗盟大学「人生会議について」 R6.8.19(実施予定) 家族介護教室 「どうする?『もしも』の時の医療・ケア」 R5 年度決算額 110 千円 R6 年度予算額 210 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○関係者向け研修会の開催 ・包括的支援事業研修会 (R6.10.23) 「困難ケースへの対応について」 八戸地域虐待等困難事例ネットワーク研究会 代表 安田 真 氏 ・八戸市医療と介護の多職種連携研修会 (R6.11.20) (1) 高齢者の救急搬送の現状と消防本部の ICT ツール活用について 八戸地域広域市町村圏域事務組合消防本部 司令救急課副参事兼救急管理班長 辻井 信二 氏 (2) ICT ツールの機能と救急医療連携運用に向けて 特定非営利活動法人 Reconnect 朽内 悠 氏 (3) ACP 情報の取扱いについて 特定非営利活動法人 Reconnect 理事長 小倉 和也 氏 ○市民向け啓発 ・マイライフノート、ACP リーフレットの紹介・配布 (イベント開催時) ・リーフレット「八戸市在宅医療・介護あんしんガイド」作成・配布 ・市民向け講話実施 家族介護教室「どうする?『もしも』の時の医療・ケア」(R6.8.19) ○ICT ツール (mell+community) による医療介護関係者の連携支援 ・登録 322 事業所、登録利用者数 13,095 人 (R7.3) ・Connect8 事例検討会の実施 9 テーマ：「施設・高齢者住宅での看取りについて」 ほか R6 年度決算額 5,362 千円 啓発研修関連 93 千円 ICT ツール関連 5,269 千円 R7 年度予算額 5,475 千円 啓発研修関連 202 千円 ICT ツール関連 5,273 千円

事業3：地域包括支援センター運営事業（再掲）

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、市内に委託型地域包括支援センター（高齢者支援センター）を設置し、介護予防支援事業や包括的支援事業を実施する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○地域包括支援センターの運営 ○包括的支援業務（総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援）の実施 ○介護予防支援（介護予防ケアマネジメント等）の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 5,877件 ・地域ケア会議個別会議 32回、地域ケア会議圏域会議 9回 ・認知症地域支援推進員の配置 25人 ○介護予防支援の実施 ・介護予防把握事業（実態把握） 2,233件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 137件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 117回 ○町内見守りネットワーク 38町内 R3年度決算額 206,316千円 R4年度予算額 214,374千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 8,663件 ・地域ケア会議個別会議 47回、地域ケア会議圏域会議 13回 ・認知症地域支援推進員の配置 28人 ○介護予防支援の実施 ・介護予防把握事業（実態把握） 3,209件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 279件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 221回 ○町内見守りネットワーク 43町内 ※R4.8月～R5.6月までの実績。 R4年度決算額 200,758千円 R5年度予算額 238,750千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 7,723件 ・地域ケア会議個別会議 51回、地域ケア会議圏域会議 15回 ・認知症地域支援推進員の配置 25人 ○介護予防支援の実施 ・介護予防把握事業（実態把握） 3,021件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 324件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 216回 ○町内見守りネットワーク 43町内 ※R5.8月～R6.6月までの実績。 R5年度決算額 224,865千円 R6年度予算額 238,344千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 6,141件 ・地域ケア会議個別会議 45回、地域ケア会議圏域会議 16回 ・認知症地域支援推進員の配置 30人 ○介護予防支援の実施 ・介護予防把握事業（実態把握） 2,715件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 304件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 180回 ○町内見守りネットワーク 49町内 ※R6.8月～R7.4月までの実績。 R6年度決算額 214,082千円 R7年度予算額 238,344千円

事業4：高齢者福祉に関する理解促進事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、高齢者福祉に携わる行政職員や介護・福祉サービス事業に携わる関係者、介護・福祉に関心のある住民等を対象として、看取りケア等に関する研修会を開催する。
担当課	高齢福祉課
取組状況	○研修会の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	(参考) 令和3年11月10日実施 高齢者福祉合同研修会（連携事業） ・対象者 高齢福祉関係事業所の職員 ・場 所 ハイブリッド形式（各市町村会場及びオンライン配信） ・テーマ グリーフケア・看取りについて（基礎編） ～支える・つながるチームケア～ ・講 師 西片医療福祉研究会 代表 山田 美代子 氏 R3 年度決算額 41 千円 R4 年度予算額 171 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	令和4年11月7日実施 高齢者福祉合同研修会（連携事業） ・対象者 高齢福祉関係事業所の職員 ・場 所 ハイブリッド形式（各市町村会場及びオンライン配信） ・テーマ グリーフケア・看取りについて（応用編） ～支える・つながるチームケア～ ・講 師 西片医療福祉研究会 代表 山田 美代子 氏 一部事務組合下北医療センターむつ総合病院 認知症看護認定看護師 橋本 琢磨 氏 令和5年11月2日予定 高齢者福祉合同研修会（連携事業） ・対象者 高齢福祉関係事業所の職員 ・場 所 八戸市総合保健センター大ホール（集合形式） ・テーマ ぴんぴんころりの秘訣～お看取りを地域で支えるために必要なこと～ ・講 師 中部上北広域事業組合 公立七戸病院 院長 小野 正人氏 社会福祉法人美土里会 特別養護老人ホーム美土里荘 副園長 盛田 一栄氏 R4 年度決算額 26 千円 R5 年度予算額 170 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	令和5年11月2日実施 高齢者福祉合同研修会（連携事業） ・対象者 高齢福祉関係事業所の職員 ・場 所 八戸市総合保健センター大ホール（集合形式） ・テーマ ぴんぴんころりの秘訣～お看取りを地域で支えるために必要なこと～ ・講 師 中部上北広域事業組合 公立七戸病院 院長 小野 正人 氏 社会福祉法人美土里会 特別養護老人ホーム美土里荘 副園長 盛田 一栄 氏 令和6年10月1日実施予定 高齢者福祉合同研修会（連携事業） ・対象者 高齢福祉関係事業所の職員 ・場 所 八戸市総合保健センター大ホール ・方 法 ハイブリッド形式（集合形式とZoomによるオンライン形式） ・テーマ 死にゆく人の心に寄りそう ～スピリチュアルケアとは～ ・講 師 非営利一般社団法人 大慈学苑 代表 玉置 妙憂 氏 R5年度決算額 46千円 R6年度予算額 178千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	令和6年10月1日実施 高齢者福祉合同研修会（連携事業） ・対象者 高齢福祉関係事業所の職員 ・場 所 八戸市総合保健センター大ホール ・方 法 ハイブリッド形式（集合形式とZoomによるオンライン形式） ・テーマ 死にゆく人の心に寄りそう ～スピリチュアルケアとは～ ・講 師 非営利一般社団法人 大慈学苑 代表 玉置 妙憂 氏 令和7年10月15日実施予定 高齢者福祉合同研修会（連携事業） ・対象者 高齢福祉関係事業所の職員 ・方 法 オンライン形式 ・テーマ 看取り ・講 師 医療法人 はちのへファミリークリニック 理事長・院長 小倉 和也 氏 株式会社 絵夢プランニング 代表取締役 丸山 康子 氏 R6年度決算額 102千円 R7年度予算額 178千円

事業5：総合的ながん対策事業

事業内容	総合的ながん対策の充実を図るため、専門的ながん医療の提供や地域のがん診療の連携協力体制の構築に取り組むとともに、がん患者に関する相談支援及び情報提供を行う。
担当課	市民病院
取組詳細	○診療体制の整備 ○地域のかかりつけ医を対象とした研修の実施 ○患者に対する相談支援及び情報提供



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	・多職種がんサボードの定期実施 ・緩和ケア病棟の実入院患者数 110 人 ・がん診療に関する講演会（緩和ケア）の実施と地域へ向けた配信 ・がん相談支援センターでの相談支援・情報提供の実施 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	・毎月1回多職種がんサボードを実施 ・緩和ケア病棟の実入院患者数 117 人 ・がん診療に関する講演会を2回実施した（11月24日・12月12日） ・がん相談支援センターでの相談支援・情報提供の実施 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	・毎月1回多職種がんサボードを実施 ・緩和ケア病棟の実入院患者数 237 人 ・がん診療に関する講演会を3回実施した（9月7日・10月5日・11月16日） ・がん相談支援センターでの相談支援・情報提供の実施 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・毎月1回多職種がんサボードを実施 ・緩和ケア病棟の実入院患者数 129 人 ・がん診療に関する講演会を2回実施した（9月5日・11月14日） ・がん相談支援センターでの相談支援・情報提供の実施 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

重点施策 5-4

障がい者の就業定着と就業機会の選択が広がるよう、事業者の理解促進に努めると共に就業支援の相談機能の充実を図ります。

事業1：障がい者就労支援団体ネットワーク事業

事業内容	障がい者の就労を促進するため、障がい者就労支援関係団体による情報共有のための会議を開催するとともに、障がい者の就労についての理解を深めるための研修会を開催する。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	○ネットワーク会議の開催 ○市民を含めた研修会の開催 ○障がい者就労に関する情報の提供・共有



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	【令和3年度】 ・ネットワーク会議（2回）、研修会（1回）開催 → 参加人数：計 106 人 【令和4年度】 ・ネットワーク会議（1回）開催 → 参加人数：計 29 人 R3 年度決算額 357 千円 R4 年度予算額 357 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	【令和4年度】 ・ネットワーク会議（4回）、研修会（1回）開催 → 参加人数：計 128 人 【令和5年度】 ・ネットワーク会議（2回）開催 → 参加人数：計 64 人 R4 年度決算額 357 千円 R5 年度予算額 357 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	【令和5年度】 ・ネットワーク会議（3回）、研修会（1回）開催 → 参加人数：計 112 人 【令和6年度】 ・ネットワーク会議（1回）開催 → 参加人数：計 43 人 R5 年度決算額 357 千円 R6 年度予算額 427 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	【令和6年度】 ・ネットワーク会議（4回）、研修会（1回）開催 → 参加人数：計 213 人 【令和7年度】 ・ネットワーク会議（5回）、研修会（1回）開催予定 R6 年度決算額 427 千円 R7 年度予算額 427 千円

事業 2： 障がい者就労サポーター養成事業

事業内容	障がい者の就労を促進するため、障がい者雇用（予定）企業や就労継続支援サービス事業所の関係者、さらには市民等を対象として、障がい者就労サポーター養成講座を開催する。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	○障がい者就労サポーター養成講座の開催



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	【令和 3 年度】 ・講義（5 回）開催[令和 4 年 2 月] → 参加人数：計 115 人 R3 年度決算額 326 千円 R4 年度予算額 326 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	【令和 4 年度】 ・講義（5 回）開催[令和 4 年 8 月実施] → 参加人数：計 122 人 R4 年度決算額 326 千円 R5 年度予算額 326 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	【令和 5 年度】 ・講義（5 回）開催[令和 5 年 8 月実施] → 参加人数：計 149 人 【令和 6 年度】 ・講義（5 回）、見学会（2 回）開催[令和 6 年 7 月] → 参加人数：計 146 人 R5 年度決算額 326 千円 R6 年度予算額 391 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	【令和 7 年度】 ・講義（5 回）、見学会（2 回）開催[令和 7 年 7 月予定] R6 年度決算額 391 千円 R7 年度予算額 391 千円

事業3：障がい者就業支援事業

事業内容	障がい者の就労を促進するため、障がい者の就労に関する関係機関との連携強化を図るとともに、障害者就労施設の利用に向けた相談支援を行う。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	○特別支援学校に通う障がい児の保護者への就労に関する説明及び相談支援 ○雇用促進セミナーにおける相談支援



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	【令和4年度】 福祉サービス説明会の開催及び相談支援の実施（令和4年5月） → 場所：青森県立八戸高等支援学校 参加人数：28名 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	【令和4年度】 - 雇用促進セミナーにおける相談支援（令和4年10月） → 実施無し（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため規模を縮小して開催） 【令和5年度】 - 福祉サービス説明会の開催及び相談支援の実施（令和5年5月） → 場所：青森県立八戸高等支援学校 参加人数：32名 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	【令和6年度】 福祉サービス説明会の開催及び相談支援の実施（令和6年6月） → 場所：青森県立八戸高等支援学校 参加人数：25名 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	【令和6年度】 - 雇用促進セミナーにおける相談支援の実施（令和6年10月） → 場所：八戸プラザアーバンホール 【令和7年度】 - 福祉サービス説明会の開催及び相談支援の実施（令和7年6月予定） → 場所：青森県立八戸高等支援学校 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

重点施策 5-5

多発する異常気象や、将来発生が予想される巨大地震とそれに伴う津波など、大規模災害から市民の生命と財産を守るため、防災・危機管理部門を強化します。

事業1：【新規】防災・危機管理体制強化事業

事業内容	大規模災害から市民の生命と財産を守るため、庁内の防災・危機管理体制の強化を図る。
担当課	危機管理課、災害対策課
取組詳細	○防災危機管理課の体制強化 ○体制強化に向けた検討・協議を行う



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・新型コロナウイルス感染症対策本部の事務局を防災危機管理課に移し、全庁横断的な危機管理体制を強化（令和4年2月から） ・防災危機管理課を2グループ体制に強化（令和4年4月） ・津波避難ハザードマップの改訂（令和4年4月） R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・危機管理や災害対策を一元的に所管する「危機管理部」を新設し、新たな津波対策に関する計画策定のほか、新型コロナウイルス感染症対策等の危機管理に対する中枢機能の強化を担う「危機管理課」と、住民と共に地域の防災対策強化のための各種事業を担う「災害対策課」を新たに設置することにより、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震及びそれに伴う大津波等の大規模災害や、激甚化・多発化している風水害等の自然災害時のほか、新型インフルエンザ感染症等の流行時などの危機的状況における司令塔機能を強化 ・津波避難計画の改定（令和4年11月） ・災害時初動体制マニュアルの改定（令和5年6月） R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・八戸市災害対策本部設置・運営マニュアルの改定（令和5年8月） ・八戸市地域防災計画の修正（令和6年2月） ・災害時初動体制マニュアルの改定（令和6年4月） ・避難情報の発令に係る内部運用マニュアルの改定（令和6年5月） R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・八戸市クマ対策連絡会議の開催（令和7年2月） ・クマ対策に係る庁内連絡体制の構築（令和7年5月） ・八戸圏域8市町村国土強靱化地域計画の改定（令和7年3月） ・八戸市地域防災計画の修正（令和7年4月） ・災害時初動体制マニュアルの改定（令和7年4月） ・八戸市津波避難施設の整備等に関する基本方針作成（令和7年3月） R6 年度決算額 千円 R7 年度予算額 千円

